

阿南市立新図書館基本計画
資料編

令和5年 10 月
阿南市教育委員会

目次

資料1 阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録	1
1 第1回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)	1
2 第2回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)	13
3 第3回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)	25
4 第4回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)	37
5 第5回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)	51
資料2 阿南駅周辺まちづくり基本計画アンケート調査結果	65
1 アンケート調査概要	65
(1) 実施概要	65
(2) 調査項目	66
2 アンケート調査結果	67
(1) 調査結果の見方	67
(2) アンケート調査結果	68
資料3 阿南市立図書館市民ワークショップ開催結果	123
1 第1回開催結果(令和4年11月19日開催)	123
2 第2回開催結果(令和5年1月21日開催)	127
3 第3回開催結果(令和5年3月18日開催)	130
資料4 阿南市立図書館 高専生ワークショップ開催結果(令和4年12月21日開催)	136
資料5 関係団体ヒアリング結果	137
1 地域おこし協力隊(8名)ヒアリング結果概要(令和4年12月7日実施)	137
2 ぴよちゃんくらぶ(9名)ヒアリング結果概要(令和4年12月22日実施)	139

資料1 阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録

1 第1回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)

■開催概要

開催日時：令和4年10月28日（金）15：00～17：00

場 所：阿南市役所3階 303会議室

■出席者

- ・阿南市長
- ・阿南市教育長
- ・阿南市教育部長
- ・検討会議構成員 10名
- ・事務局（阿南市立図書館 5名）
- ・基本計画策定支援事業者（株式会社図書館総合研究所 2名）
- ・関係課（まちづくり推進課 1名）

■議事

1 開会

- ・阿南市長より挨拶

2 構成員紹介

- ・各自自己紹介

3 座長及び副座長の選任について

- ・構成員の互選により稲村構成員を座長として選任
- ・稲村座長の指名により小西構成員を副座長として決定

4 議題

(1) 阿南市立新図書館基本計画策定に至る経緯について

- ・事務局より説明

(2) 阿南市立新図書館基本計画の策定に向けて

①阿南市立図書館の現状について

- ・事務局より説明
- ・質疑

②課題整理

- ・事務局より説明
- ・質疑

(3) 今後のスケジュールについて

- ・事務局より説明
- ・質疑

(4) その他

・事務局より説明

5 閉会

- ・阿南市長より挨拶
- ・事務局より次回（第2回）の日時等を案内し、閉会

■質疑内容

議題(2) 阿南市立新図書館基本計画の策定に向けて

①阿南市立図書館の現状について

【構成員】

現状説明の中で登録率の話があったが、市内全館で、利用者カードは3年間で切替えになるということか。

【事務局】

3年の有効期限が経ったら、住所確認を行う更新という手順を経ることになる。3館とも同様である。

【構成員】

カードを全部作り直すのではないということか。

【事務局】

そのとおりである。3年間経った時点で貸出ができなくなる。

【構成員】

承知した。登録率はなかなか扱いが難しい値で、さきほどの事務局説明では実際に（利用している人）はもう少し少ないのではないかということだったが、私たちの研究では成人男性はあまり本を借りないという結果が出ている。

他には学生もだが、図書館に来てはいるものの、彼らはあまり本を借りないので数字に上がってこない。しかし利用者層としてはおそらくいるだろうから、そのあたりは安心していただいてよいのではないか。そこまで低くはないと思う。

資料を見ると現図書館は貸出密度が人口1人あたり7冊を超えているので、非常によく健闘されている、頑張っておられると思う。皆さんよく利用されているのだろう。

【構成員】

那賀川図書館のイベントについて、例えばクリスマスおはなし会ではどのような周知をし、どのような方が何人ほど来られたのかなど、そういったデータがあれば教えてほしい。

【事務局】

コロナ禍のため利用制限や入場制限をしているが、令和3年度は52人に参加いただいた。周知は基本的に図書館内でのチラシの配付や広報への掲載、ホームページへの掲載などを行い、図書館に申し込んでいただく形にしている。おはなし会に

関しては副座長が直接運営していらっしゃるの、よろしければ一言いただきたい。

【副座長】

令和3年度はコロナ禍のため皆で歌ったり、声を出して掛け合いをしたりすることができなかったので、クリスマスおはなし会ではピアノでくるみ割り人形を弾きながら、スライドショーでくるみ割り人形の絵本を映した。定員は40名だったが、家族を入れて52人になったのだろうと思う。

【構成員】

他のおはなし会などはおおむね図書館内で周知しているという認識でよいか。

【事務局】

そのとおりである。定期行事として定着しているため、広報やホームページでは周知しているが、特に改まって別のどこかでは行っていない。

【構成員】

那賀川図書館の利用が非常に減少しているという説明があった。私自身も那賀川町に住まいがあり、開館当初は非常に画期的な印象でたくさん利用があったように思うが、段々ところようになってきたのは、事務局が説明したように利便性だけが理由なのだろうか。古びてきてはいるがとてもよい施設であり、これだけ多く行事もされているので、利用減少について何か他に考えられることがあれば教えてほしい。

【副座長】

それに関して発言したい。ネットでの貸出予約が可能になり、60%がネット経由になったことで、おそらく蔵書冊数が非常に多い那賀川図書館の蔵書が阿南図書館や羽ノ浦図書館で借りられているのではないかと。貸出冊数はそういった計算でカウントされているのではないかと。

【事務局】

貸出冊数はその館で本のバーコードを読んで貸出処理した回数であり、副座長のご指摘どおりである。これは現場でもずいぶん悩んだことで、当時は図書館のAmazon化現象などと言われたが、ネット上でクリックするとその本が手に入るということで、新刊が入るとすぐに予約をかけ、自分の生活圏で一番受け取りやすい阿南図書館で受け取るという動きが見られた。これはなかなか統計では取りにくいですが、土日に子どもと一緒にゆっくり本を見ようとなると利用者はやはり那賀川図書館を選ぶ。絶対に阿南図書館しか行かない、あるいは那賀川図書館しか行かないという方もいるが、両方使いの方もいる。

使い方の問題で、日常的な利用、特に女性は料理の本などが新刊として入ると予約されてぱっと借りていくが、そのとき利用されるのは圧倒的に阿南図書館の窓口が多かった。そういった利用のされ方が要因の1つであり、もう1つは、実はさきほどのご説明でも申し上げたとおり、以前は利用者制限に関して、今のように市内在住在勤在学の方に限っていなかった部分がある。

その後、他市町村の方々の利用、特にリクエストがかなり運営を圧迫する部分が出てきたため、一旦市外の方の新規利用を止め、既存の市外利用者については経過措置の後、平成24、25年ごろに利用を中止した。那賀川図書館は小松島市民の利用が多かったところもあり、この時点を境に打撃があったかと思う。

ただ、同じく市外、小松島市とも隣接する羽ノ浦図書館も似た状況であるにも関わらず一定数を維持しているところを見ると、やはりそれだけではなく、さきほどの利用形態や人の動き方の話になるが、日常的には阿南の窓口に行き、土日ゆっくり時間があるときには那賀川に行く、返却はいつでも阿南に返せばよい、そういった利用をされているのではないかと推察する。

【構成員】

電子図書館サービスについて。さきほどの事務局説明では、利用が低迷していたが小学6年生にタブレットを配付したら増えてきたということだったが、私も一度は登録したが、正直に言うとコンテンツがまだ十分ではないと思った。予算の制約もあろうかと思うが、具体的にコンテンツ充実のためにどういうことをされているのか伺いたい。

【事務局】

電子図書館のコンテンツ購入費が少ないため、市内の小学6年生にパスワードを発行したことから児童コンテンツを重点的に購入している。

電子図書館で貸出できるコンテンツのラインナップは、書店に並ぶリアルの本とは多少異なる。そういった中から厳選してはいるが、もの足りないというご指摘については承った。

【構成員】

イベントの土曜日、日曜日の利用者数はどの程度か。平日利用される世代で言えば、子どもと一緒に利用する30代、40代の女性は、仕事をしている方もおられるので、仕事が終わった5時過ぎなどの利用になるのではと思う。

やはり土曜日、日曜日の利用が多いのだろうと思うが、平均して平日と土日の利用者数はどうか。

【事務局】

小学校の見学などの際に伝える数字としては、平日の利用者が300人から400人程度、土日がその1.5倍程度である。30代、40代の利用者がどの程度土日に集中するのかを一度調べたことがあり、これもしっかりした数値を持って来ていないが、平日の午前と、それから午後に、正午と夕方を除いて集中する時間があったと記憶している。

平日に子どもを連れての利用は少なく、かといって子どもの本を借りないわけでもなく、母親が来て借りて行くことはある。しかしやはり土日に集中する。

【構成員】

阿南市立図書館の本を那賀川図書館と羽ノ浦図書館に移動したという説明がさきほどあったが、阿南市立図書館3階にあった市史編纂室の資料などはどうなっているか。

【事務局】

市史編纂室の資料は所管が文化振興課にある。今はまだ阿南図書館にそのままあるが、いずれ文化振興課がしかるべき処置をすることになっている。

【構成員】

保管などか。

【事務局】

そのとおりである。

【構成員】

実は私は阿南市文化会館夢ホールが建ったときに、その事務所に勤めていた。そのときに館長が市史編纂室に行ったり、古文なども読んだりして、そういった郷土的なもの、文化的なものをととても大切にしていたのを思い出して、質問した。

【座長】

那賀川図書館が夏場に行ったカブトムシ牧場は、非常に話題性があったで大盛り上がりしたと聞いた。

【事務局】

これも市民の発案で、カブトムシの幼虫が市内の竹パウダーを作っているところにたくさんいるので、図書館の前の平島こどもセンターの子どもたちに見せたい、触らせたい、だから図書館で飼って見ないか、というお話をいただいた。そこで那賀川図書館で5月から7月頭までカブトムシの幼虫を飼育した。

大きな四角いカブトムシ牧場を作り、そこに平島こどもセンターの子どもたちが三令幼虫を一匹一匹入れるイベントを行った。図書館でこれを放牧と呼び、それから2ヶ月弱、図書館で一生懸命育てた。幼虫が蛹室を作れず外に出てしまうので紙コップで蛹室の代わりを作って並べたところ、蛹になる状況などが全部見えるようになったので、放牧した平島こどもセンターの子ども以外にも、カブトムシの幼虫や蛹が見られるということで、土日はもうそこを見せるのが大変なほど子どもが来ていた。生き物を扱うのは図書館では珍しいかもしれないが、これも市民の発案で子どもたちに素敵なイベントを提供できたかと思っている。

【座長】

科学センターのイベントかと思ったくらいだが、非常に盛り上がったと聞いた。斬新なイベントだったと思う。

【構成員】

那賀川、羽ノ浦と図書館カウンター合わせて、全体の年間貸出数の中で、絵本、児童書、図鑑などの子ども向けのものは何%程度を占めるか。

【事務局】

令和3年度の数字だが、学校などへの団体貸出を除いた個人貸出の冊数が、一般書が220,168冊、児童書が282,177冊で、児童書の割合はかなり高い。(※この数値は、児童書の中にコミックの貸出冊数76,140冊が含まれており、本来は一般書に含まれるべきであるため、正しくは、一般書が296,308冊、児童書が206,037冊である。)

【構成員】

さきほど成年男性や学生などはなかなか本を借りないとお聞きしたが、何かしら

の理由はあるのか。

【構成員】

図書館利用は子どもがきっかけになることが多い。先日の図書館フォーラムで少しお話ししたが、子ども連れで来館し、図書館をよいと思った父親が、次は家族連れではなく1人で来る。男性がその図書館を選ぶ理由は本の多さや新刊の有無、よい家具があること、何か新しい設備があることなどさまざまだが、そういったものに触れ、何かしら気に入って利用する。そして、本を借りないこともないが、男性のほうが主婦層よりも圧倒的に滞在時間が長い。

母親たちは子どもと本を選ぶとすぐ帰り、滞在時間が非常に短い。男性は非常に長い。定年退職した後、行き場のない父親たちが利用している。

だから図書館利用者のうち高齢者は圧倒的に男性が多い。それもみんな1人で来ていて、お互い毎日来ているのに彼らは全く会話しな。顔を合わせているのに一言も話さない。要はそういう場所として使っている。だから彼らはあまり本を借りない。しかし毎日来ている。そういう居場所になってもよいと思う。図書館では貸出冊数はやはり非常に大事だが、それだけでもないだろうし、やはりさまざまな人たちが多く来てくれることが大事だ。

図書館が出す統計項目は貸出者数や貸出冊数なので、どうしても借りた人に関する項目しかカウントされない。私たちが全国で60館ほど調べた結果では、土曜日の調査結果だが、一般の男性は(来館者の)25%ほどに上る。そのため、利用者の主要なメンバーとしてカウントしてよいだろう。

【構成員】

基本的な質問になってしまうかもしれないが、さきほどレファレンスの受付件数が1日約1、2件と少ないと説明があった。レファレンスとは、図書館で司書にこのテーマでこういったことを調べたいと相談して、関連する本を紹介してもらったり書庫などから持ってきてもらったりする意味合いでよいか。であれば、子どもたちには本当は調べたいことがあって、中学生でも今やはり理科や社会の自由研究が課題として出されている。子どもたちはネットでも調べるが、やはり図書室や図書館に行って調べたい、デジタルではなく紙の書籍で調べたいという子もいる。そういった子たちに、図書館のレファレンスに行けばよいのだということを私たちも広報できていないし、図書館からの広報もおそらく受け取っていないので、実はニーズはあるのにそこに結びついていない現状があるのではないか。この1日1、2件というのは非常にもったいない。

レファレンスが調べることを助ける意味合いなのであれば、中学校などは本当にそういったサービスを、特に夏休みなどには望んでいると思う。もう少し広報的なことがあるとありがたい。

【事務局】

レファレンスにはいわゆる読書案内と、それから参考業務という調べものの業務の2通りがある。読みたい本についておおまかなジャンルや作者を聞き、ではこんな本がありますよと勧めるのが読書案内で、これも常々行っている。

それから、ご指摘のとおり、夏休みは子どもたちが宿題を持って大勢来るので、

さまざまな調べたいこと、「なぜ水の上に石をばっと投げたらトントントンと行くのか調べたい」といった、なかなか高度な言葉で調べに来るのに対して、それがわかるような本をこちらで1冊ずつ探して渡す。あるいは大人の方から、最近1人レファレンスを受けた例がある。

【事務局】

横浜で明治の時代にフランス人を斬り殺したことが原因で11名が切腹した横浜事件だったかがある、その中の志士の1人の辞世の句が知りたい、という方がいた。私もその事件をあまり知らなかったため難儀したが、探すと載っていた。そこでその本を提供すると、非常に感動してその本を借りて帰られた。

【事務局】

そういった高度なレファレンスも、本当に多種多様な問合せがある。子どもから高齢者まで多くあり、この1、2件というのはこちらもなぜと思うほどである。日々仕事に追われる中でこういったレファレンスがあったという記録ができていない。していないのではなく、記録ができていないというのが実情である。

また、ご指摘のとおり子どもたちが図書館見学などに来たら必ずなんでも相談してほしいとは伝えているが、そのレファレンス専用の窓口もなかなか図書館の設営上、設定が難しく、職員が貸出返却業務に忙しくしていると利用者は相談しにくい雰囲気になってしまう。これも1つの課題かと思っている。

【構成員】

私も仕事でそういったマニアックなことを調べたくなる、調べないといけないことがよくある。明治時代、大正時代の最初の電燈やガス燈がどういった感じだったのか、農村のほうではどのような服を着ていたのかなど、そういった細かいことをピンポイントで知りたくて、図書館の本をたくさん借りる。

普段はAmazonやネットでひとまずさまざまな検索ワードを打って行って、引っかかる本が出てきたら図書館に所蔵されているかどうか調べ、運良くあったら借りる、なかったら諦める、といった程度である。司書にどういった能力があって普段どのような仕事をされているのか全く存じ上げないので、なかなかレファレンスでどこまで細かいことを聞けるのかがわからない。やはりすぐに答えがほしいとか、2、3日ほどで答えがほしいといったときがある。そういった問合せにも専門知識で答えられるのだという雰囲気を表に出してもらえると、利用の敷居が大きく下がる。そのことを実はかなり前から個人的に考えていて、司書はおそらくそれぞれに専門、得意分野があるのではないかと、何かそういったものも少しずつ見えるようにしてもらえると、調べ物をするときには図書館を利用しようという気持ちが強くなるのではないかと話を聞いていて感じた。

議題(2) 阿南市立新図書館基本計画の策定に向けて

②課題整理

【構成員】

資料に子ども向けのイベントは多い一方、成年向けのイベントは展示等に限られ

ているとあるが、具体的にどんな展示をされているのか教えてほしい。

【事務局】

直近だと、10月は「秋」のつく本を集めて一般書を展示している。来月は「いい夫婦の日」があるため夫婦に関する本を展示予定である。他には、瀬戸内寂聴氏や稲盛和夫氏が亡くなった際にはその方の特集を組む、それからSDGsを市民に周知したいときにはSDGsの本を集めるといった、そのときどきのトピックスが主である。

【構成員】

さきほど、せっかく成人男性が来ているのにあまり借りないだとか、滞在時間が長いのにお互い喋らないというご説明もあったので、そういった成人男性向けのイベントを開催すると、お互いに会話してボケ防止などにもなるのではないかと。喋らないとどうしてもボケていく、早く衰えていってしまうから、図書館中心で男性が話せるようなイベントができればよい。

【構成員】

非常にさまざまなイベントをされていて、子ども向けのイベントが多い一方で、成人男性は家族で来てまた後日1人で来るというご説明もあった。

現在も数多くの本や絵本、成人向けの本などがあると思うが、イベントと紐付けた本の紹介であったり、カブトムシのイベントがあればそのときにカブトムシの本などをギュッと凝縮したり、例えば移動水族館などがあつた際、そこで大人が興味のあるさかなクンの本など紹介してもよいのではないかと。せっかくだからそのイベントでさまざまな本を知りたいという要望はあるだろうから、ぜひ何かそういったイベントを開催してもらえると家族で楽しめるのではないかと。

【構成員】

障害者向けサービスについて、現時点では郵送貸出に限られるということだが、視覚に障害をお持ちの方などに音声での対応はされているのか。

【事務局】

来館してもらえば読み上げ機はある。

【構成員】

ただし来館するのが前提ということか。

【事務局】

そのとおりである。

【構成員】

現時点ではサピエの活用やそういったサービスの案内などはしていないということか。

【事務局】

現時点ではできていない。

【構成員】

他の方々の話とも重複するが、さきほどのレファレンスサービスが少ないといっ

たことなどにも絡む話として、地域課題の解決やまちづくりとレファレンスなどがもう少し絡めないかと考えている。結局さまざまな活動を図書館で行ってもらえればよいのではないか。

さきほどのカブトムシの幼虫の話だとか、あるいは高齢男性や成人男性が、1人でいたい人たちはそれでよいが、ひょっとしたら何か活動してもよいと思っている方々がいるのであれば、そういった方々にもお声がけして、彼らが主役になれるような、講師や何か教える立場になれる講座だとか、何かそういったものに関わってもらえる取組みがあればよいと思う。

レファレンスについても、コロナ禍の影響もあり小中学校ではもうタブレットが1人1台ずついきわたっていると思う。そうするとものの調べ方がだいぶ変わってきていると思うので、であれば本を使って調べることや深く学ぶことがどういったことなのかを体験できるようなイベントなどが開催できるとよい。

レファレンスは市民が育てると言われている。市民が質問しないと職員のレファレンススキルは上がっていかない。だからそのためにも小さなことからどんどん質問して、一緒に何か考えて調べていくことが非常に大事であり、声をかけやすい雰囲気やそこで行われている内容がわかるような取組みや作り方ができるとよいだろう。

何でも図書館で受け入れると大変だという意見もわかるが、図書館は入りやすくてみんなが来やすい施設なのだから、窓口として大変であれば他に振ればよい。そういった市民の活動などをまずは受け止める立場として図書館があってくれれば非常によいと思う。そこがこれからの新しい図書館づくりの肝ではないかと感じる。ぜひそういった形に向けて考えていただきたい。

【構成員】

資料に「移動手段が限られる児童には、居住地によっては自主的な利用が難しい」とある。本当に阿南駅のところに図書館ができると、私の学校のある福井町からだと子どもたちだけでは来られない。今思ったことだが、牟岐線が今後も存続するという前提だが、福井駅まで子どもたちが自転車で行き、そこから汽車に乗って阿南駅で降り、そして歩ける範囲の図書館で1日過ごして、今話されていたさまざまな図書館の利用の仕方などを学んで帰っていくという、いわば図書館デーのような取組みを市内のさまざまな学校が行えるとよい。義務教育のあいだに図書館に馴染む感覚を培っていくと、子どもたちも図書館でこういったことができるかと理解でき、ひまわり号が来たときにも利用するようになる。

ひまわり号は私の中学校にも来てくれており、大変ありがたく助かっている。それから図書館サポーター制度も非常にありがたい。今日も読み聞かせをしてもらった。そういった活動が結びついて、図書館と子どもたちを結びつけて生涯の読書人を作っていくのではないかと思う。だから、今のサポーターやひまわり号にプラスして、図書館行こうデーなどをつくってもらえると子どもたちには本当によいと思う。

【構成員】

表原市長にお聞きしたいが、まちづくりの中で今回の新図書館にこれから期待する役割と課題をどのように考えているか。

【市長】

これを語ると想いがありすぎて時間が大幅にはみ出てしまうため、よければ以前中井構成員にも協力いただいた図書館フォーラムというイベントのアーカイブをご覧ください。その中で私も多くのことを語ったが、要は地域課題の解決や、これからメタバースなども含めてデジタルがさまざまな今のリアルを凌駕していくときにそれでも必要とされる図書サービスはどうあるべきなのかなどといったことである。

例えば長野県に小布施町というところがあり、まちじゅう図書館という取組みを進めている。全てを図書館で受け入れるのではなくて、例えばその図書サービスの一部を、街中のコーヒーショップや医療品販売店などが、自らが提供しているサービスと関連する図書をそれぞれ店舗に少し置くなどして、人の流れがそこにできていく、それによっていわゆる空洞化した商店街が再び息を吹き返すといったことがある。

図書や図書サービスは、人と街、人と人、物とサービスなどを繋ぎ合わせるハブの役割をしていく可能性が非常に高いと思っており、まちづくりにおけるコア機能として図書館、図書サービスというものが非常に大きなポテンシャルを有している。だから、この図書サービスのことを図書館の中、枠組みの中だけで考えるのではなく、さきほど JR の話も出たが、地域公共交通の件であったり、多様な世代の課題解決ということで今の地域共生推進課が進めているような子どもたちの居場所づくりであったり、それから今日の徳島新聞の一面で子どもの不登校や自殺の件数が増えている話があった。

例えばこういったことに関しても、子ども食堂や子ども宅食などのサービスと図書サービスを併合することによって、相乗効果をもたらすことができるのではないかな。そういったさまざまな課題解決の中で、阿南市としてどこにしっかりリソースを割いていくのか、限られた予算と限られた場所面積、そういった経営資源の何に優先順位を置き、どこに投資していくのかということこれから議論していく必要がある、今日はその第一歩だと思っている。

拙い話になったが、想いがありすぎて簡単には語れないというのが結論である。

【構成員】

アーカイブもあるということなので後ほどしっかり見ておきたい。

【市長】

もう1点、今日の毎日新聞に、恐縮だが私のシリーズが取り上げられている。1ページ貸し切りで表原市政のこれまでとこれからという特集が組まれており、そのメインとしてこの図書館サービスも含めた阿南の中心市街地のまちづくりについて想いを語っているので、よろしければお読みいただきたい。

【構成員】

Twitter でこんな新刊が入ったとつぶやいている図書館が結構ある。阿南の図書

館でも活用してみてもどうか。そのとき話題になっている本、オリンピックのときならハッシュタグで「#オリンピック」と入れるなどしてもよい。

図書館でこういったイベントを行うという情報を、自分で図書館に行ってみたり本を意識的に見たりしている人であればすぐ気づくと思うが、それだと限界がある。Twitter などでの発信といった取組みも1つの案かと思う。Twitter 上であれば自由な部分が多いので、例えばあななんがつぶやくだとか、あななんを名誉館長にするとか、勝手な意見として言うのだが、遊び心がある、あるいはさまざまな人の興味を引くような仕掛けがTwitterなどのSNSならできるのではないかと思う。

議題(3) 今後のスケジュールについて

【構成員】

1月に予定している市民アンケートは、QRコードを経由してWebで答えられるものと紙ベースで答えるものの両方を用意するのか。

【事務局】

その方向で考えている。

【構成員】

承知した。そのほうが回答率がよいと思う。

【構成員】

市民ワークショップもZoomでつなげてもらうことは可能か。

【事務局】

インターネット環境の問題があるため、確認したい。

【構成員】

であれば、インターネットでつながなくてもよいが、アーカイブか何かで後から見られるようになっているとありがたい。

【構成員】

来年6月のパブコメでは何を発表するのか。

【事務局】

阿南市立新図書館基本計画の素案をお出しし、それに対するパブリックコメントをいただく予定である。

【構成員】

素案はいつ作成予定か。

【事務局】

来年度、第4回検討会議で示す予定である。

【構成員】

第4回にそのたたき台が出てくるということか。

【事務局】

そのとおりである。

【座長】

まちづくりと連動しているため図書館だけの単体計画にならないところが大きなポイントではあるが、資料に示した予定に基づき進めていくようだ。

議題(4) その他

【座長】

全体を通じて、ご意見、ご質問、ご感想などはあるか。

【構成員】

子育て支援の仕事をしている立場として、やはり子どもはこれから育つ上で本当に図書館にはお世話になるし、今も子どもと通っていてお世話になっている。

子育て世代にはとても大事な場であり、親子での居場所にもなる。私の子がまだ乳児だったころ、急に貸出コーナーで泣かれたことがあった。阿南図書館だったので新聞の閲覧席が非常に近く、そのとき「子どもを泣かせるな」と背中からバサッと言われ、非常に傷ついてしばらく行けないことがあった。

その方が完全に悪いとか、私が正しいと言いたいわけではなく、どの世代にとっても行きやすい場にしていければよいと思う。

【副座長】

今のお話に関連して、今回行われる市民ワークショップについて、私も来てくれたらよいなという年代の方にチラシをお渡ししているが、やはり3回連続というのはハードルが高いし、土曜日子どもがいるときには参加しにくい。子ども連れでも参加できるような形であるとか、そういった文言が一文あれば、もしかすると一番よく図書館を利用している年代の方が声を出す機会になるのに、とこのチラシを見たときに感じた。受付は30日までだが、これからそういった問合せがあれば、ぜひ寛容に、子ども連れでもお入りくださいと答えてもらうようお願いしたい。

【事務局】

実は、1回目は行けないのだが、希望者がおられ、それでもどうぞと返事をしている。子どもたちについても司書のファシリテーターがついており適宜対応するので、これからそういったお声がけができるようにこちらもスタッフを整えておきたい。

2 第2回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)

■開催概要

開催日時：令和4年12月21日（水）13：30～15：30

場 所：阿南市役所3階303会議室

■出席者

- ・阿南市長
- ・阿南市教育長
- ・阿南市教育部長
- ・検討会議構成員 8名
- ・事務局（阿南市立図書館 5名）
- ・基本計画策定支援事業者（株式会社図書館総合研究所 2名）
- ・関係課（まちづくり推進課 1名）

■議事

1 開会

- ・事務局により開会

2 議題

- (1) 第1回阿南市立図書館市民ワークショップ開催報告
 - ・事務局より説明
- (2) ヒアリング結果（阿南市地域おこし協力隊・図書館職員）報告
 - ・事務局より説明
 - ・質疑
- (3) 阿南市立図書館の現状及び課題の整理について
 - ・事務局より説明
 - ・質疑
- (4) 新図書館の位置づけと方向性について
 - ・事務局より説明
 - ・質疑
- (5) その他
 - ・事務局より説明
 - ・質疑及び自由意見の発言

3 閉会

- ・事務局により次回（第3回）の日時等を案内し、閉会

■ 質疑内容

議事(1) 第1回阿南市立図書館市民ワークショップ開催報告

(2) ヒアリング結果（阿南市地域おこし協力隊・図書館職員）報告

【構成員】

さまざまなかたちでヒアリングされており非常に勉強になった。ワークショップでの、さまざまなイベントをもう少し図書館で開催するとよいのではないかという意見や、地域おこし協力隊の方が着任当初なかなか地域の古い建物のことがわからなかったという意見等は、本当はこういったことを図書館で調べていただけるととてもよいのだが、そこになかなかつながらないのだろうと思う。事務局説明を聞き、おそらく阿南市の中で皆さんさまざまな活動をされているのに、それとつながっていないようであることが非常にもったいないと感じた。例えば新図書館の整備をきっかけに、市民が行っていることを図書館が知っていれば、他の市民等から聞かれたときにそこにつなげることができる。それは図書館がしなくてもよいという話もあるかもしれないが、愛知県田原市の図書館は（おおきな）かぶ会議という会を長く続けている。さまざまなボランティアの方々と館長が年に数回集まって意見交換する会議で、それぞれ個別に活動しているが、困っていることやこれから取り組もうとしていること等を情報共有している。そういった場所が市の中のどこかにあればよい。館長が（資料説明の中で）言ったように、これから図書館には人と人をつなぐ役割が求められるように思う。今回新しく図書館ができることでそういった活動の場が生じるのであれば、活動のバンクというか、何かそういった情報を図書館が集約したり知っていたりすると、非常によい展開ができるのではないかと。

【構成員】

資料4、職員のヒアリング結果では、内部からの要望や課題等がまとめられていて大変わかりやすかった。ちなみに職員のうち、プライベートで他の図書館等に行っている方はどれくらいいるのか。

【事務局】

司書資格を持つ職員が10名いる。おそらく一番多く行っているのは私（館長）だと思う。他の者もそれぞれ、そのときの訪問先の館だとか、話題の図書館が開館したときには寄ってみようという気持ちはあると思うが、詳細は把握していない。

【構成員】

海外の図書館等では、IC タグはもちろん、IoT や AR 等も使っている図書館があり、日本の身近な図書館で今回の資料に記載されていることを実現しているところはあるか。あれば見に行ってみたい。

また、各図書館の事情について、資料の「②新図書館で特に重視すべきサービス・機能」に記載の内容についてはどうか。

【構成員】

音については、最近は基本的には静粛さを求めず、一方で静かに本を読みたい人のための空間も合わせてつくる流れだと思っている。そういった意味で、ほとんど

の新しい図書館で音のゾーニングを行っている。それから、紙とデジタル、両方の資料が充実している館はまだないかもしれない。横断検索サービスを提供しているカーリルというところが、埼玉県飯能市で本にスマホをかざすとその本の書誌データを呼び出せるサービスを提供しているとは聞いたことがある。ただ、本の内容のデータにまでは至っておらず、作家(名)等の簡単な項目までしか対応していない。紙とデジタルをミックスしようという取組みは今さまざまなプロポーザルが行われており、これから進むのだろうと思う。カフェについては、スターバックス等のブランド力のあるカフェであれば続けられるし、地域のカフェが多少の赤字覚悟で出店しているところは頑張っているが、やはり図書館の利用者だけでは十分な利益を上げられないようで、どこも苦戦している。それからボランティア専用のスペースは、最も大きなところとして佐賀県の伊万里市立図書館では、図書館友の会のコーナーが館内にある。田原市図書館にもボランティアの活動場所があるし、新潟の聖籠町立図書館でも同様の場所があり、さまざまな活動のための道具を入れるロッカーが用意されている。なかなか予算がなく職員が大変な思いをしていることが最も大きな要因だとは思いますが、これからはそういったかたちで、上手く市民と協働し、助けてもらうところは助けてもらい、みんなで一緒に進めていくというやり方があるのではないかと。ボランティアの方やさまざまに活動されている方たちをいかに味方につけてさまざまな活動を行っていくかが1つのポイントではないかと思う。

【構成員】

自動貸出機や IC タグ等の導入状況についてはどうか。

【構成員】

相当入っている。今年図書館建築賞を獲った(長浜市立)長浜図書館は返却を全て自動返却機経由にし、カウンターでは受け付けない。自動返却機への投入時に返却処理をするので、利用者はそのまま手ぶらで館内に入ることができる。自動返却機はタグを上手く読み取らないときがあるらしく、そのため本を入れたときに書名か書影かが表示される仕組みがあり、そこでもう一度確認してから入館するようになっている。あとは今 BDS (※ブックディテクションシステム。図書の持ち出し防止装置)も衝立型ではなく無線を遠くから飛ばすものがあり、少し誤作動が多いという話もあるものの、IC タグを入れると相当さまざまなことが可能になる。このあたりも腹の括り方だと思うが、新しく図書館をつくった全ての自治体が導入しているわけではない。うちのまちは本を盗っていく人なんていないから、そこに何千万もお金をかけるよりそのぶん本を買おう、という自治体もある。小さな町などであればそういった発想もありうると思うが、30 万冊、40 万冊にまで蔵書が増えてくるとなかなかそうもいかないのではないかと。やはりどこかで考えたほうがよい。それから自動書庫は、県立図書館クラスの大きな市では導入館が多いが、そうでなくとも導入例はある。これはスペースの問題等にもよる。レファレンスをスムーズに行うためには、カウンター後ろの事務室から閉架書庫に直接アクセスできることが肝だろう。そして利用者が使う開架スペースに意識が行きがちだが、実は職員の動線が悪い図書館が多い。そこをコンパクトにして効率よく仕事できることが意外と大事だと思う。そういった意味では、IC タグを入れればそれだけ貸出等の手続きを減らせるため、本の相談やレファレンスにかかる時間がつくれる。上手に職員の仕事

業を減らし、かつ利用者とのふれあいをきちんと確保できるとよい。利用者も本を探しているときにわざわざカウンターに来て聞くより、配架を整理している職員に聞くほうが圧倒的に多い。電器屋等でもそうで、誰に聞くかとなるといちいちレジまで行かずにそこにいる店員に聞く。だから職員になるべくフロアに出てもらうほうがよいし、そういった意味で、お金があればどんどん IT 化は進められてもよいのではないかと。

【構成員】

ヒアリングや市民ワークショップの結果がこうして整理されており、非常にわかりやすい。図書館で日々働く職員による意見やその視点からの問題点が出されており、ワークショップ結果も整理されていて、第2、3回も大変楽しみである。ワークショップで学校図書館支援のことまで意見が上がったことも非常に興味深し、図書館への希望や図書館の持つ可能性がこうしたところに改めて現れていると感じた。

【構成員】

資料4の1②、自習席に関する「レファレンスなどにあまりつなげられていない」という記述について、自習席の位置づけとしては、レファレンスや貸出につなげるためにつくっているという認識か。

【事務局】

必ずしもつなげなければいけないわけではないが、職員としては、せっかく来館されているのだから、何かの利用をしてもらい関わっていきたいという気持ちがあってこういった意見になっているのだと思う。

【構成員】

GIGA スクール構想もはじまっており、子どもたちが主体的、対話的な深い学びに取り組みはじめているところだと思う。また、先程ボランティアの方が集まる場所の話もあったが、他市の方から阿南市ではボランティアが非常に盛んだとお褒めいただいたことがある。自習に加えて、グループで討論等ができるような設備があり、そしてレファレンスにつながって、情報の探し方や資料の使い方等も相談できるようなスペースができれば大変よいと思う。

【構成員】

関連して、先程言い忘れていたことを補足説明したい。浦安市立中央図書館はレファレンスサービス等に関して日本の公共図書館でトップの図書館だが、そこが1年間休館し改修を行った。何をつくったかというところ、本棚を減らして閲覧席を増やし、そして開架閲覧室にガラスのスクリーンで区切ったラーニングコモンズという喋ってもよいスペースをつくった。今まで図書館は1人で、個人で利用する場所だったが、今、大学でアクティブラーニングといって、ホワイトボード等を使いながらグループで討論させようという動きがある。そういった場所がそこがあればよいのではないかと。それを浦安の中央図書館が改修で具体化したので、全国に波及するだろう。また、塩尻のえんぱーくでは、学習室は設置されていないが、共用部のロビー空間に椅子やテーブルが数多く置かれており、ボランティアがそこで自由にミ

ーティングしている。自治会や子ども会、母親どうし等のグループも利用している。図書館と共用部に曖昧さを持たせたつくり方として抜群に上手い。そういった曖昧な空間を上手につくっていくこともこれからは大事ではないか。

議事(3) 阿南市立図書館の現状及び課題の整理について

【構成員】

資料5の現状3の貸出・返却処理のところで、海外の事例等を調べてみたところ、今返却処理の最先端といわれるものでは、借りた人がそのまま棚に返すようになっているらしい。(本に) IC タグをつけ、スマートフォンで返却・貸出処理が全てできるようになっており、自分で取って自分で借りていき、返すときも自分で棚に返す。最後にデジタルチェックアウトという処理を行うと、図書館側に返却したことがわかる。そういった事例等も視野に入れておくと、先進的な図書館といったイメージになるのではないか。

【構成員】

現状4のまちづくりにつながる活動への関わりについて発言したい。阿南まちゼミという活動を10年前から開催しており、図書館にはまちゼミのテーマに関する図書を集めてもらい、まちゼミの開催期間中にそれを展示してもらっている。そうすることでお客さんも関心のある本を読んだり、店主ももう一度勉強し直そうとしたりなどしている。また、マルシェを5年前から開催しているが、去年は図書館とコラボして集客にもつながった。図書館の蔵書が多様であるように、やはり市民の興味関心もさまざまなので、新しい図書館をつくるとなるとそういった多種多様な方々が集まれる場所や研修会を行える場所等があればよい。岡崎市立図書館に行って驚いたが、小さな音楽ホール等、さまざまな方々の趣味や興味関心を実現できるような場所があった。そういった、本と同時に生活者の居場所のような場があるとよいのではないか。

【構成員】

先程の海外の図書館の事例というのは、IC タグ等により、借りた本が棚のどこにあるのか利用者がすぐにわかるといった仕組みか。

【構成員】

スマートフォンで(本のタグを)読み取ると、どこに返さなければいけないかが表示される。そこに行って(タグを)読んでチェックアウトを行うと貸出や返却の処理が完了するというアプリケーションがあり、それを導入されているようだ。

【構成員】

図書館内で複数の本を選んで読み、借りずに戻そうとすると、この本は元々どこにあったかと迷うときがある。職員も忙しそうで尋ねづらく、また戻すよう頼むのも失礼に感じるので、細かい話だが、この本がどこにあったのか一瞬でわかるよう

になると非常に便利である。また、他の機関とのネットワークについて、県立図書館の本はネットではリクエストできないのか。

【構成員】

ネットではできないと思う。普段は横断検索で県立にあるのを確認してから市立図書館に予約をかけている。

【構成員】

私も FAX を手書きして送っているが、ものすごく面倒である。なぜインターネットで阿南図書館のホームページを通じて借りることができないのか、ずっと不便に感じている。県立図書館のほうが蔵書が多く、検索して阿南市立図書館にない資料が 10 冊あれば、うち 7 冊ほどが県立にはあるイメージである。阿南市立図書館の蔵書が増えていくことも非常に嬉しいが、予算の限界もあるため、県立図書館の蔵書とスムーズに連携できるようになると便利である。また、特殊な使い方かもしれないが、同じ資料を何度も借りることがある。今は役に立った本の貸出レシートに印をつけてずっと保管しているのだが、例えばシステム上で過去借りたものを確認でき、そしてその中でもお気に入りの本を整理できる機能があると、仕事や学術等で利用する人は非常に使いやすくなる。勉強や仕事で利用する本は、専門書であれば高額なものもあり、利用頻度が高いと意を決して買うのだが、やはり限界がある。そのあたりが充実すると非常に便利だと思う。

【構成員】

私も同様の経験があり、利用の履歴は残していないと回答されたことがある。阿南図書館の 2 階には調査・研究・調べ物ができるように、百科事典や辞書、年鑑、1981 年以降の新聞等、多くの資料や専門書があったと記憶している。そういった資料をもっと使いやすくなるためにも、履歴が残れば便利ではないか。それから、生涯学習に関するものは、所管は生涯学習課だと思うが、他方で企画政策課が写真等のデジタルアーカイブを所管していることなどもある。やはりこれからは複数の課がもっと連携できると図書館が使いやすくなるように思う。

【構成員】

ワークショップや職員ヒアリングの結果にも挙がっていたイベントや場のことに関して、12 月 3 日に羽ノ浦図書館でビブリオバトルを行った。高専で去年から続けている取組みで、校内にあるラーニングコモンズで年 5 回ほど開催している。今回初めて学外で開催し、学生のバトラーが 3 人、羽ノ浦図書館の読書会のメンバーが 3 名参加し、一番若い方から 60 代、70 代、80 代と参加され、意図せず世代間交流となった。高専の学生は普段あまり年配の方と接する機会がなく、年配の方も普段 10 代と喋る機会がないことから大変喜んでおられた。やはりそういった場が必要だと思う。今回は羽ノ浦図書館で開催し、図書館のほかにホールやイベント向けのスペース等がありよい施設だと思ったが、そうした場が阿南の駅前にあればもっとよいだろう。特に若者等はああいった機会になかなか自分からは参加しない人もおり、そういった場づくりが重要だと実際にイベントを開催して感じた。

【構成員】

新図書館ができるこの機会に最先端のデジタル化として IC タグをつけること等は非常に魅力的ではあるが、阿南の図書館は今まで市に3館あることが優れた点だったと思う。今回の新図書館整備にあたり、それが中央図書館になるのであれば、同じ公立図書館である他の2館との連携のことも考えながら進めてほしい。新館だけが最先端になり、他2館の蔵書には IC タグを付けず、互いに本を借りたり返却されたりできないとなってしまうのは、非常に大きな負担や使いづらさが出てしまうのではないか。公共図書館として1館だけならばそれでもよいが、那賀川図書館であれば庭があって少し憩えたり、羽ノ浦図書館であれば複合施設であることを活かしてイベントが行えたりとそれぞれに特徴があって、それは阿南市の財産として残してほしい。それから細かい点かもしれないが、資料の現状整理の中で「公民館や地域の読み聞かせグループ・読書グループとのつながりが無い」とされているが、そう断言はできないのではないか。私も地域の読み聞かせグループに所属する立場だが、図書館から協力はしてもらっている。読み聞かせグループは阿南市ボランティアネットワーク勉強会というものを立ち上げており、阿南市内の読み聞かせグループを集めて2ヶ月に1回勉強会をしているが、会則で事務局は那賀川図書館に置くことになっており、部屋も積極的に貸してもらっている。また、読書グループについても各図書館で開催している読書会については、県立図書館に本を準備してもらっていると聞いていることから、文言を「さらに拡大していく」「図書館側からより積極的に働きかける」等に変更してはどうか。

【事務局】

確かにはないと言い切ってしまうのは適切でないため、修正し、計画に反映したい。

議事(4) 新図書館の位置づけと方向性について

【構成員】

課題の2、図書館サービスのネットワークについて、広い市域をカバーする図書館サービスネットワークの構築が課題とされており、また先程、新しい図書館だけがにぎわっても仕方がないというご意見もあった。当然阿南市という広い市域の中で図書館ネットワークをつくり、今の3館体制プラス学校図書館や他の施設とつながっていくこと、これが非常に大事である。先程、移動図書館車が巡回してもなかなか利用者が来られないという説明があったので、ひょっとするとサービスポイントを減らそうといった話があるのかもしれないが、それはおそらく、そのときに行かないと借りられないからだろう。そこにずっと本が置いてあれば借りられるし見に行ける。そういった意味では、集約する考え方もあるが、やはりその「点」が数多くあり、新しくこの図書館ができることによって、点と点が密につながりはじめるということが非常に大事ではないか。考え方はさまざまあると思うが、図書館フォーラムのときにも話した滋賀県の東近江市は元々7館体制で、かたちは変わりつつも、それぞれがサービスの特色を持って残っている。それから先程お話しした長浜図書館は、中央館として成立したため、市に1冊しかない本は全てそこに集

約してしまった。そうするとその本を使っていた方々も元の所蔵館ではなくそちらに来てしまうことになった。ハブとして輝くためにも、点がそれぞれ輝いていないとやはりつながらない。私は図書館だけでなく学校図書館や公民館図書室といったところにも本がきちり置いてあって、可能であれば図書館職員が管理してくれることが最高だと思っているが、それが大変だということもわかる。事例として、これは島だが、島根県海士町の島まるごと図書館構想では、フェリー乗り場や保育園、福祉施設等に本棚を置いて分館と称している。設置してしばらくは放置しているが、月1回程度職員が訪れて本を入れ替え、利用者は全てセルフで借りていく。借りたい人が（氏名、書名等を）紙に書いて箱に入れておくだけだが、司書がきちんと目配せしている。私たちの調査時は15館だったが、それから5年から7年経って今は25館に増えている。どんどんそういった拠点が増えている面白い事例である。そういった意味で、今は新しい図書館をつくと同時に、ネットワーク、システムとしてはさまざまなところを含む体制で阿南市全体にサービスをするという考え方が非常に大事だと思う。

【構成員】

私は阿南らしさ、それから未来について話したい。図書館は地元の人たちが郷土の特色やよさを感じ学ぶ場であり、郷土への誇りを持つことにつながる土台、基礎だと思う。表面上のにぎわいや他の場所でもできることより、阿南市の特色というところで、少し前に徳島新聞に載った若杉山の辰砂採掘遺跡等、そういった素晴らしいものがあるという特色を活かして文化レベルの高いまちとしてPRしていくのもよいのではないか。郷土に誇りを持つことは、若者も留まる、あるいは戻ってくるきっかけにもなる。文化的なことは文化振興課の所管になると思うが、やはり図書館にそういった歴史的な資料や古文書等を温湿度管理や防虫対策をしながら保管できる部屋を一室でも作ってもらえるとありがたい。

【構成員】

基本方針の1の「レファレンスサービスのさらなる充実」だが、レファレンスサービスが充実している状態とはどういったイメージか。評価されている事例等があれば教えていただきたい。

【構成員】

今のところ、先程も言ったように日本一レファレンスサービスがよいと言われているのは浦安市の中央図書館と、県立では鳥取県立図書館である。鳥取県立図書館のレファレンスはビジネス支援にかなり特化していて、東京からも問合せがあると聞いている。普通あまり所蔵されていないような非常に専門的な雑誌や白書等の資料を幅広く集めており、全国どこからのレファレンスにも対応してくれる。浦安の中央図書館のレファレンスは、地域の歴史を調べたい人たちによく利用されてきたことで、調べもののストックが残っている。浦安の方が言うには、利用者がレファレンサーを鍛える。訊いてもらえないとレファレンサーが育たない。どんな些細なことでもよいので訊いてもらえれば、そこからさまざまな話ができる。そういった意味では、今レファレンスというとビジネス支援だとかに行きがちだが、浦安のよ

うに地域のことだとか、そういったことを調べていくことがきっかけで十分始まっていく。だから子どもたちが相手でも全然構わない。子どもたちの宿題での調べものの相談を受けることも立派なレファレンスである。要は、何か困ったことがあったら図書館職員に聞こうという（雰囲気がある）。そういった意味で非常に鍛えられているのだと話していた。

【構成員】

鳥取の図書館に東京から問合せがあるというのは、東京の人に本を貸し出すということか。

【構成員】

資料のコピー等を届けたりはしているし、もし渡せないのであれば来館してもらうのだろうと思う。実際にどういったレファレンスが行われているのかまではわからないが、おそらく全ページではなく、一部だけを渡す等しているのではないか。

【構成員】

居住者しか借りられない決まり等があるのかと思っていた。

【構成員】

それは図書館の設置条例による。公共図書館でも、日本全国どこでも借りられると謳えば可能である。

【構成員】

ワークショップのグループワークでの意見に「県外からも探してくれる」とあり、つまり他県の図書を阿南の図書館で借りられるということか。

【事務局】

図書館法に図書館どうしが助け合おうという趣旨の条項があることから、阿南市立図書館が所蔵しておらず絶版等で入手不可能な本であれば、近くの図書館から順に探している。まずは県内、四国島内、中国・四国、それから広く日本全国、どうしてもなければ国立国会図書館まで調べる。図書館の設置条例としては市民の方にしか貸さないとなっているが、図書館法の当該条項を踏まえ、他館から本を借り受け、市民に貸し出すことは日常的に行っている。

【構成員】

その依頼は今カウンターでしかできないのか。

【事務局】

リクエストサービスはメールでも受け付けている。我々は市民の方が求める資料を必ず届けることを務めとしており、その本がどうしてもなければ、司書が判断して他県等に依頼する。どの図書館に依頼するかは司書に一任いただいている。

【構成員】

未所蔵のタイトルを記入して送るようなフォームを見たことがないが、そういったものがあるのか。

【事務局】

今年4月からの新しいホームページにリクエストフォームを用意している。そちらに書名、著者名等をわかる範囲で書いてもらえれば対応する。

【構成員】

基本理念は非常に素晴らしい内容で、阿南らしさというか徳島県らしさを感じた。徳島で生まれたオオゲツヒメは五穀豊穡の神、稲の神とされており、その徳島の神様が日本全国に五穀豊穡、食べ物を配っている、そういった言い伝えがある。一番代表的なのはお米で、君が代の「苔のむすまで」の「むす」は育むの意であり、むすこは男でむすめは女、その言葉を合わせた「こめ」が日本の子どもたちを育む、とされている。そういったある意味日本の古くからの考え方を感じるような基本理念だと思った。また、基本方針の中的那賀川・羽ノ浦図書館との連携に関して、ITについて他の2館がどうなるかという先程のご指摘ももっともで、実は日本がデジタル競争力ランキングで世界 25 位以下と遅れを取っている理由が、連携をしていないことである。未来を考えて連携をしておらず失敗している事例が非常に多く、やはりこれを考える中では那賀川図書館・羽ノ浦図書館の IT も考えた上で設計しないとイケない。自治体において全体的にシステムが連携していないことが世界で評点を落としている一番の要因であり、同様に、3つの図書館が連携していないと将来 IT が円滑に使えない事態が生じるだろう。

【構成員】

市民ワークショップの参加対象が高校生以上であることから、中学生がどのようなことを思っているかが気になり、スタディスペースを使いに来られた学生やまちづくりについて研究していた方にお話を聞いた。ワークショップで出ていなかった内容の意見として、体育室のような少し体を動かせる場所があると嬉しいという意見がいくつかあった。この場を借りて報告したい。

議事(5) その他

【教育部長】

市民ワークショップの中で、高校生の意見で特筆するようなこと、またどのような雰囲気だったかを教えてほしい。

【事務局】

高校生の参加者5名は、図書館から仕掛けたわけではなく、いずれも自発的に参加いただいた。いま画面に映しているのは当日の高校生グループのワークシートで、とても几帳面にまとめられている。最初は図書館員もいたため話しにくい面もあったようだが、時間が経つにつれ和気あいあいと楽しそうに作業されていた。高校生らしいと感じた意見は図書館アプリに関するもので、スマホを使って簡単に貸出処理ができたり、自分が借りた本をアプリで管理できたりといったことを話していた。徳島県立図書館でも似たような機能が提供されているが、借りた本を記録できるアプリは既にある。ただこの高校生たちはおそらくそれを知らない中でそういった話をしており、そもそも貸出カードや記録のレシートといったものが、彼らにとっては異質なものになりつつあるのだろうといった印象を受けた。それから施設に関して、私たちは最初から新しい複合施設をつくることを前提に考えているが、子ども

たちは自分が駅を利用しているからか、駅に図書館をつくってしまうといった意見を出しており斬新に感じた。また、自分たちのための本の特設コーナーがほしいといった意見もあった。那賀川図書館にはYA（ヤングアダルト）コーナーを設けているが、実は利用はさほど多くないのではと思っていた。しかし実際によいと言ってくれる方がいて、高校生は私たちが知らないところで図書館をよく見ており、希望も数多く持っていることがわかった。ワークショップの最後にはアンケートを配付し感想を記入してもらった。高校生のグループからは、「思っていたよりも話しやすかった」「意見交換がスムーズにできた」「他の人の意見を否定したりしないので意見をいうときも怖くなかった」といった意見をいただく等、雰囲気は非常によかった。「図書館がもっと身近なものになればいいなと思います」といった意見もいただいた。本当に楽しそうに参加されているように見えた。

【教育部長】

本日の高専生ワークショップも非常に楽しみである。また詳細を教えてください。

【構成員】

今の話にあった意見はこれからの世代のスタンダードな考え方になるのではないか。今いわゆるZ世代を研究しなければいけないとよく言われており、さらにその後の世代である現在の高校生についても研究が進められている。最近スターバックスがシステム開発で失敗した事例がある。事前に注文ができるアプリを開発したのだが、若い人に使われなかった。何故かという、並ぶことを軽減するために事前に買うアプリを導入したのだが、今の若い人たちは並ぶ間もずっとインスタグラムやTikTok、YouTubeを見ていて、並ぶのが苦ではない。資料にある理念にも未来とあるが、そういったことをよく研究せず見逃してしまうと、本当に使い勝手の悪いもの、ずれたものができてしまうだろう。

【構成員】

11月の市役所1階でのまちづくりシンポジウムに私も参加したが、図書館の横に公園を作ったり、上に市民が住むマンションを作っていたりするところ等、興味深い事例が紹介されており非常に面白かった。この会議は図書館だけを扱う会だが、まちづくりの一環でもあり、会議の位置づけをもう一度確認したい。

【事務局】

新図書館整備は、阿南駅周辺まちづくりの中のコア機能の1つとして図書館が位置づけられたことから始まっている。この基本計画検討会議の役割は、図書館としてどういったものが必要なのかという中身、位置づけ等を基本計画としてまとめることである。対してまちづくりでは、図書館基本計画策定と並行して全体像を描くまちづくり基本計画の策定を進める。今はそれぞれ進んでいるが、将来的には大きなまちづくりの中の図書館という位置づけで、この計画を抱合させる予定である。

【市長】

今回も皆様熱い議論を重ねていただいたことに心からまずは感謝申し上げたい。先日、今お話にもあったまちづくりシンポジウムを市役所1階のロビー内で開催し、本会議構成員のうち何名かにもご参加いただいた。また、どのようなトークが行わ

れたかは後日、アーカイブとして皆様に情報共有したい。その中にはいくつか、非常に先の将来を見越した革新的な話もあった。例えば図書館で言うと、これまでのザ・図書館というものではなく、そのまちやエリアに住む人、細かく言えば歩く人、語らう人、飲み食いする人、読書する人、調べ物をする人、学ぶ人等が、将来自分たちがどうありたいかというビジョンをまず明確にした上で、そのためにどういった機能をそこに設けるのか、そのために時間・お金・人といった限られた資源をどう集中的に投資していくのか、そしてまちのデザイン、いわゆるランドスケープデザインを考える中で図書館を他の公園や居住区域、道路、あるいはその中間領域とどのように組み合わせしていくのか、といった話をした。そして、阿南市の地域特性としてはやはりこれだけ立派な市役所があり、裏には桑野川が流れ、土手があり、その先に今は使われていない阿南図書館があり、そしていま拡幅を行っている都市計画道路があり、そこには広い歩道を東西両方つくって歩きやすい街路樹を植樹したほうがよいのではといった話もあった。実は、明後日終了する議会での質問への答弁でも、将来的に日陰がつけれる高い木を植樹し、人の歩く流れを生むデザインに変更できるよう、まずは植え替え可能な植物を植えて供用開始する方針を今回新たに示した。そういった街全体の 3D のデザインをこれから検討する中で、本会議が先行して進めている図書館の計画と、今から着手にあたるまちづくりの計画をしっかりと融合させる必要がある。だからこそ先程言った情報共有の場がこれからは必要になってくると思う。1月に第2回が開催予定のまちづくりの審議会と、2月に第3回が開催予定の図書館基本計画検討会議、それぞれこれだけワークショップ等市民を巻き込みながら取組みを進めようとしている中で、ここが乖離してはいけない。より相乗効果を高めていくために、これから歩調あわせが非常に大事になってくると思う。構成員の皆様からいただいた意見をしっかりと集約しながら、図書館とまちのデザインを両睨みで進め、それが最終的に1つの大きな絵になっていくよう努力していきたい。

【構成員】

この会議が図書館基本計画の検討会議ということであれば、今後蔵書計画や運営、先程出た ICT 等も含め、こういったことを目指していくといった話も出てくると考えてよいか。

【事務局】

次の第3章の叩き台を次の検討会議に提示し、蔵書の内容や規模、各スペースの組み合わせといった案にも触れる見込みである。

3 第3回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)

■開催概要

開催日時：令和5年2月21日（火）13：30～15：30

場 所：阿南市役所3階 303会議室

■出席者

- ・阿南市長
- ・阿南市教育長
- ・阿南市教育部長
- ・検討会議構成員 9名
- ・事務局（阿南市立図書館 4名）
- ・基本計画策定支援事業者（株式会社図書館総合研究所 2名）
- ・関係課（まちづくり推進課 1名）

■議事

1 開会

- ・事務局により開会

2 議題

- (1) 第2回阿南市立図書館市民ワークショップ及び学生ワークショップ開催報告
- (2) ぴよちゃんくらぶヒアリング結果報告
 - ・事務局より説明、構成員から質疑
- (3) 新図書館の具体的な機能・サービスについて
 - ①図書館事例紹介・新図書館のサービス計画
 - ・事務局より説明、構成員から質疑
 - ②資料収集計画・施設整備計画
 - ・事務局より説明、構成員から質疑
- (4) その他
 - ・事務局より説明、構成員から質疑

3 閉会

- ・阿南市長より挨拶
- ・事務局より次回（第4回）の予定を案内し、閉会

■ 質疑内容

議題(1)

第2回阿南市立図書館市民ワークショップ及び学生ワークショップ開催報告

【事務局】

市民ワークショップには座長にもお越しいただいた。ご覧いただいてのご意見などいただけるとありがたい。

【座長】

では、私から補足報告や感想などを申し上げたい。第2回市民ワークショップは21名が参加し、非常に和やかな和気あいあいとした雰囲気で行われた。2回目でこれほどよい雰囲気がつくられ、しかも本題に迫るアプローチができるのだなと感心した。私も飛び込みで参加し、参加者に若干欠員があったので、どこかのグループに入って参加者と一緒に議論してもよいと事務局から誘われたが、やはり全体が見たかったため、フリーで動くかたちで見学した。グルーピングはくじ引きだったが、全く違和感なく各グループがすぐさま課題に向かって議論を進めていた。テーマは、第1問が新しい図書館で何がしたいか、そして第2問がそれを実現するために何が必要か。

先ほど事務局からも説明があったように、グループワークの流れとしては、モデル利用者ということで中学生から70歳代までの男性または女性がさまざまなパターンで用意されており、グループごとにそこから3つ選択する。そしてそれぞれのモデル利用者の立場に我が身を置き換えて、この利用者であればこういったニーズがあるだろう、そのために何が必要だろう、と議論を進めていくかたちだった。

ワークショップで出たさまざまな意見はこのニュースレターに丁寧にわかりやすくまとめられているが、私が見ていて感じたのは、例えば若い世代、中高生などのニーズとして多かったのは自習室・学習室の設置あるいはWi-Fi環境の整備だった。それからその他20代30代の方も含めた若い世代からはICタグシステムを求める声も出ていた。また、図書館の機能として本に親しむのはもちろん、趣味やサークル活動、各種講座や催し、ミニイベントが行える、できれば講演も聞けるようなスペースが欲しいという意見も出ていた。実現には厳しさもあるだろうが、夜遅くまで使える部分があったらよい、あるいは24時間開館という声もあった。自分がその場に行かなくても利用できる図書館という意見にも感心したし、あるいは軽い運動ができるだとか、ちょっとびっくりするような意見としては、仮眠や宿泊ができる図書館という声も出ていて、こういった、枠にとらわれずに自由な要望意見が出せる雰囲気が大事だと思った。

それから以前からも数多く市民から要望が寄せられているくつろぐためのスペースについて、カフェや飲食スペースのほか、コンビニやシアタールームといった意見も出ていて、新しい施設として新図書館に望む声というのは、このワークショップでかなり網羅されていたように感じた。最後に、私がこの有意義なワークショップで痛感したことだが、参加者の多くは、図書館に大きく2つの側面を求めている。1つは静かに集中できるスペース、本に親しむ、邪魔されずに集中できる静か

な空間、本に触れるスペースである。そしてもう1つは、出会いの場、自由にお喋りや交流ができるコミュニケーションスペースである。私も非常に同感するところだが、市民の求めるものはその2つに大別できるのではないか。市民ワークショップについて、私からは以上である。

【構成員】

学生ワークショップについて、参加された方にはわかると思うが、結果概要にある通り本当に頭の柔らかい発想の意見が出ていて、また、学生たちが今新しい世代として図書館に対し非常に大きな期待を持っていることが強く感じられたグループワークだった。阿南高専の学生は非常に優秀で発表でのスピーチも大変うまく、阿南の未来に対する思いなどが強く伝わってきて、私個人としては、とても有意義なディスカッションができたと思っている。

【構成員】

図書館市民ワークショップの第1回、第2回に参加者の1人として参加したが、非常に楽しかった。なぜかと言えば、大前提として図書館が好きな人々が集まっており、どういった図書館がほしいかという共通のテーマのもとで、その場での発言が全く否定されないからである。それぞれが意見を付箋に書いて出すと、他の参加者が「わあ」と肯定的に受け止めてくれる、そういった土壌を図書館長はじめ職員たちが各グループで作ってくれていたのも、時間があっという間に過ぎた。図書館の魅力の幅が縦横無尽に広がるさまざまな発想、図書館が寝る場所であってもよいといった意見等もあり、行くだけでもなく、近づいてもきてくれる図書館、そしてさまざまな選択権がある図書館、そういった意見を自由な発想で言えるワークショップだった。

本日の資料にあるワークショップのまとめを見ても素晴らしいなと思うし、ワークショップでこんなに楽しい思いをさせてもらったことがあまりない。3回目も期待している。

【構成員】

学生ワークショップでは、参加したのは阿南高専の情報コースの学生が中心だったが、やはりホワイトハッカー体験が非常に面白かったようで、実際私にはよくわからないような内容もあったが、パソコンを使って手際よく取り組んでおり、見ていて感心した。図書館にはさまざまなソフト面の充実も必要だが、そういったハード面というか、AI や VR 等に関する知識を持った人間もやはり支える側として必要なだろうと学生の話聞いて感じた。

議題(3) 新図書館の具体的な機能・サービスについて

①図書館事例紹介・新図書館のサービス計画

【構成員】

事例は複合建築等のうち新しいものを選んだものと思う。この複合事例にも今いくつパターンがあり、大きく分けるとおそらく、上に住宅やホテル、オフィス等に乗せてその下に図書館を配置するタイプと、5～6階建て程度の施設で一体化した機能の中に図書館機能を含むタイプに分かれるのではないか。建築の分野ではよく合築という言葉を使うが、合築という場合、多くは、機能は一緒に入っているもののあまり連携が取れていない、縦割り行政のセクショナリズムが強い、そういった背景があって壁やガラス等で明確に区切られており融通性がない、といったことを指す。本日紹介されている事例は、そういった意味ではその仕切りが少し緩く、機能が連携している事例だと思う。

その中ではあかし市民図書館が少し特殊で、6階建てビルの4階部分を大きく占めるかたちで入っているが、図書館を中心に考えられた施設ではないため、いわゆる階高、天井の高さがやや低くなっている点が残念である。図書館では本棚の高さが概ね1.5mから1.6m程度と非常に高いため、そこから上に同じ程度空いていないと開放感がなかなか出ない。あかしはそういった意味で少し階高が低いのではと思っている。その他の事例は図書館をメインに計画されたものであるため、天井が高く非常に開放感がある。

そういった点もあるということと、それから安城市のアンフォーレは、実は私たちも調査したことがある。資料の写真にある1階の市松模様のフロアは、市民が1㎡あたり10円で借りることができる。そこで市民が店を出したり、マルシェ等を日常的に開催したりしている。開館してからそれなりに時間が経つが、そこでずっと活動している人気の占いの店がある。それは市民自ら活動しているもので、活動の器としてそういったことを行っている。そういったユニークな取り組みもあると思う。資料に挙がっている事例としては大変多岐に渡っていると感じた。

【構成員】

私はあまり詳しくはないが、この資料に載っている事例は全て欲しいと思った。その中でも例えば青少年専用フロアとして卓球台が置かれている事例があった。子育てをしていると、雨の日に子どもをどこに連れて行くか非常に困ることがあり、こういった屋内で過ごせるスペースが近くにあることは重要である。私も子どもが小さなときに、家にずっといるとだんだんすることもなくなって子どもが退屈してしまい非常に困った経験がある。この資料に載っているような卓球台等があれば、学生や大人も楽しめるし、雨の日にもスポーツができる。直接本とは関係ないが、人が集まるスペースとして非常に魅力的である。子ども向けであれば、例えばボールプールやトランポリン等があれば少し体を動かして遊ぶことができ、そして子どもにちょっとしたエクササイズや体操を教えられる人等が人材としていれば、もしかしたら連携できるかもしれない。そういったものがあればよいなど、羨ましく思いながらこの資料を見ていた。

あと1つ、非常に細かいことだが、もしAI等を使って貸出を行ったりするのであれば、高専ワークショップでの意見でも少し触れられているが、個人的にはあななんに貸出をしてほしい。あななんに話しかけて貸出してもらえたら、子ども等も

大変喜ぶと思う。後々考えるべき具体的な細かい話ではあるが。

また、武蔵野市の図書館等はまだただけで行きたくなるほど、非常におしゃれに感じた。ワークショップで提示された利用者モデルのうち女子高生のところに、図書館が映える空間だったらネットに発信したりしたいですという意見が書かれているが、その気持ちは個人的にはとてもよくわかる。空間がよければそれだけで行きたい気持ちになるので、そういった見た目等もすごく重要である。デザイナー等とも連携して、内装等そういったところにもものちのち力を入れてほしい。

【副座長】

徳島県内でこういったかたちで図書館整備を進めているところがある。5年前に美馬市の施設に一度見学に行った。商業施設の中に図書館と保育所、支援センター、保健施設、ファミサポ、スーパー等が入っていた。そこは今どうなっているのか、美馬市の人々がどのように活用しているのかは気になる。

図書館を中心につくった施設ではないと思うが、ホールもあり、1階に交番や消費生活センター、銀行ATM等もあって、市民が買い物でき子どもも遊べ、図書館に行くこともできればイベントもあるという、結集されたようなところがある施設だった。同じ県内のそうした事例も参考になるのではないか。

【事務局】

美馬市立図書館には見学に行き、中を拝見した。元々はスーパーだったということで、リノベーションは非常に大変だったと思う。中央の吹き抜け部分をうまく利用してホールを入れていた。図書館の位置にも元々柱が多く活用には難しさがあったと思うが、うまく柱をくり抜いて1人用のスペースをつくっていた。他、図書館内にコーヒーを買うスペースもある。屋外につくられた吉野川が見えるスペースがあり、そこにもコーヒーを持って行ける。

図書館の中央には剣山を模したジオラマがあり、周囲に丸い机を配し、その周辺が雑誌のエリアになっていて、心地よい空間を作り出している。元々の施設・建物の制約をうまく使って、小さな部屋等を細かく配置していた。建物の特徴として死角になりそうな箇所が多いが、うまく机等を配置することで、勉強目的の利用者等に使われているようだ。

ちょうどコロナ禍が始まった時期だったため、そこまで多くの利用者が訪れていたわけではないが、図書館としてはさまざまな気配りがされていた。その職員からは、地元の高校生によるおすすめの本コーナーの設置等、高校生との連携にも取り組んでいると聞いている。図書館の正面玄関から廊下を挟んで前がファミサポだったと思うが、ファミサポ側から図書館に入るとおはなしコーナーがあるつくりになっており、図書館と民間施設との連携についてもうまく配置されていた。施設中央のホールの周辺には四国大学との連携に関するコーナーやボルダリングができる設備もあり、お茶室もあった。1階の半分を占めるスーパーにはもちろんたくさんの方が来ており、そのレジの前にホールやスタジオ的な部屋があって、そこでよく踊り等をしていると聞いている。同じフロアには市役所の窓口もあり土曜日にも開いている、ということで大変利用されているようだ。

市民が利用している状況は見ることはできなかったが、施設をうまくリフォーム

し、さまざまな方法で使えるように工夫されている状況は拝見した。

【構成員】

先ほどの武蔵野プレイスの事例だが、卓球台が写っている写真の右側に実は鏡が張ってある。ダンスをする人たちは自分の姿を鏡で見ながら踊るため、あの部屋はダンスの練習向けにすごく人気が高い。私は今愛知県に住んでいるため名古屋によく行くが、オフィスビルのガラスの前で踊っている人が多くいる。そういった意味ではこの部屋がすごく活用されている。

今回の事例には載っていないが、滋賀県の長浜図書館というところが新しく建てられており、そこが日本図書館協会の図書館建築賞を受賞した。複合施設で、上の階には階高が2層分あり屋内運動場としても使える多目的ホールがある。バドミントンやちょっとした球技もできるほどで、そのためにガラス張りだが防音仕様となっている。会議室も全て防音仕様となっており、そこでギターの実習等もできる。普段は会議室として使ってもよいし、防音仕様にしておけば非常に多機能に使える。そういった意味では、できたばかりの館だが、長浜図書館は事例に挙げていただいてもよいかもしれない。

【構成員】

資料2 ページ右上の青少年専用のスタジオラウンジだが、今アルバイトに来ている学生さんから、なかなか市内にスタジオがないので音楽活動のために汽車に乗って徳島市内まで行くという話を聞いている。こういった防音の音楽スタジオ等が身近にあれば、さまざまな若い世代が集まる場所が広がるのではないかな。

【構成員】

資料を見てワクワクするような図書館が日本にもあるのだなと思った。私も ICT や IT 関連のものが取り上げられている事例に関しては、一度勉強のため行ってみたい。

阿南高専の学生の話や資料の事例からも、図書館には多様性が強く求められていることを感じる。ただ、その多様性を活用するためには、図書館の利用者が自らイマジネーションして使っていくとともに、それを図書館側が提供していく必要もあるのではないかな。

1つ IT の観点から言うと、デジタル競争力ランキングで日本は昨年時点で 29 位となっている。一番足を引っ張っているのがデジタルスキルの部分で、国や自治体、企業を含めて、日本人のデジタルスキルはものすごく低く、ランキングに掲載されているうち 69 か国中確か 68 位だった。例えばヘルシンキの世界最高峰といわれる図書館を見ても、3D プリンタがあってそれを活用した創造ができるといったことがある。

今回つくる施設に関しては、IC タグシステムはもちろん、できるだけ利用者がイマジネーションをして、創造できるような IT 化も検討に入れていけたらよいと率直に感じた。

【構成員】

資料 11 ページの小・中学校に関する部分について、想定するサービスの2つ目、「Zoom 等を活用した小・中学生が学校図書館から直接司書に相談できる機会の提供」をぜひ実現してほしい。本当にこれをよく入れてくれたと思う。Zoom 等を活用した離れたところでのサービスが1つあり、それに連動して 13 ページ、想定するサービス例の2つ目、「幼稚園、保育所や小・中学校と連携した図書館利用体験ツアーの実施」という実際に図書館に行っているのことがあり、両方が相まってサービスとして行われるようになっている。私が勉強した中では、子どもが読書人になるには中学 1 年生までに本を読む習慣をつけなければならないと学んだことがあるが、小さな頃から図書館に行き、活字やさまざまなものに関わる機会を持つことが本当に大事だと思う。この Zoom 等での司書との出会い、それから実際に図書館に行っている環境との出会い、その2つはこれからぜひ実現してほしい。これを入れていただいで大変ありがたい。

【構成員】

子どもたちは絵本の読み聞かせ等を通じて大きく情緒を育んでいくものと思っている。小さな頃に図書館に行くことで、生涯にわたる図書館利用の基礎、図書館はよいところだ、楽しいところだという感覚が形作られると思うので、私も今の話に大賛成である。それと同時に、小さな頃から母親のスマホを見る等、すごく簡単に誰もがインターネットにアクセスできる時代になっている中で、国際図書館連盟が作成した、フェイクニュース、偽ニュースの見極め方というこういったポスターを先日見つけた。視覚的にどういったことが危ないのかがすぐわかるものだったので、ぜひ図書館にもこういった啓発のチラシ等を置いていただけたらと思う。

【構成員】

保育園側からの意見として、現状保育士の職員たちが子どもたちにさまざまな絵本等を読み聞かせしたいということで、個人の時間を使って図書館に借りに行っている。今後も子どもたちにさまざまな絵本等に触れてほしいと願う中で、保育園や家庭向けに絵本のサブスクのような仕組み等があるとありがたい。例えばひな祭りであれば、直前1か月間でおひなさんや節分に関する絵本等、その季節に合った絵本を 10 冊程度サブスク的に借りられると非常に便利である。

【副座長】

学校図書館に対する流通が新図書館整備の中でどう定まってくるのかもポイントだが、先ほど実体験と Zoom 等につながってという話があり、やはりそれを実現するためには人がいないといけない。阿南市の場合、学校の現場で教職員だけでは対応できない部分に学校図書館サポーターが入っていることもある。人の問題と、市立図書館と学校図書館の連携はこの中でどう扱うのか、子どもたちの読書活動や図書館利用の推進につなげていく部分なので、そういった話も検討できるとよい。

【座長】

IC タグシステムの話は随所に出ており、全国の 트렌ディな図書館ではもう必須のように見える。もちろん導入コストも大きいのはわかるが、そのシステム導入による効率化効果は絶大だと思う。そういった全国的な潮流という点ではどうか。

【構成員】

一番大きいのは不正持ち出しの防止である。BDS という、出入口に設置しておけば貸出手続されていない資料が通ったときにピーと音が鳴る装置がある。それと貸出返却の処理が非常に早くなることもメリットで、今はおそらくバーコードを1冊ずつ読んでいると思うが、IC タグが入っていれば、5冊ほどをテーブルの上に置いて瞬時にまとめて貸出手続ができ、非常にスピーディになる。ただタグを入れるにはお金がかかるので、それは予算との関係になるだろうが、先ほど少し話した長浜の図書館では、返却手続はもう全て機械で行うようにシフトしている。利用者は入館する際に資料を返却口にガラガラと入れるとそこで返却手続が終わるので、また次の新しい本を館内に入ってすぐに借りられる。滋賀県は図書館において非常にレファレンスに力を入れている地域なので、貸出返却の作業時間の削減分をレファレンスに、利用者と触れあう時間に回している。当初は多少あれこれと問題もあったようだが。

レファレンスを充実させるためにそういったものを使うというやり方は十分ありうると思う。メリットとしてはそういったことも含めてさまざまな可能性も出てくると思う。また、私からも1点述べたい。先ほど挙げた資料13ページ、ネットワークの拠点として関係各機関と連携したサービスとあるが、これは非常に重要だと思う。これからの図書館はその館単体で活動するものではなく、さまざまなものと繋がるほうがよい。では具体的にどう繋がるのかが問題で、島根県の海士町では、島まるごと図書館構想といって学校図書館に司書を派遣し、幼稚園や保育園、高齢者福祉施設、フェリー乗り場等、町のさまざまなところに、分館と称して小さな本棚だけを置いた場所を設けている。棚の中身はときどき入れ替え、他の本棚との間でただ回していくだけだが、棚の内容が変わっていく、そういった仕組みもある。具体的にどうするかだが、何か共通のものを置かないと繋がらないだろうとも思う。それはまた何かよい運用を今後考えていく必要があるが、これは非常に大事なことである。何がよいかはちょっとまだわからないが、この阿南にふさわしい、お互いが何かそういったつながり、関係性を持てるようなものがあるとよい。本を少しずつ置かせてもらうという方法もあるかと思う。やはり図書館の職員は本がなくなること非常に気にするので、本が紛失したり行方不明になったりすることは怖い。何か上手くそういったことができる仕掛けができれば、そういったネットワークも生まれるのではないか。

議題(3) 新図書館の具体的な機能・サービスについて

②資料収集計画・施設整備計画

【構成員】

具体的な数値を目標として出してもらったことでわかりやすくなった。蔵書冊数は多ければ多いほどよいと思うが、30万冊ということで理解した。開架の冊数も15万冊にするか18万冊にするかは大きなところかと思う。その3万冊の差はなかなか大きい。きちんと選書された新鮮な本がしっかり並んでいれば、15万冊でも十分だろうと思うし、やはり利用者が少しでも多くの資料に触れられるようにということで18万冊とするのもありかと思う。そこは検討してもらえればよい。収蔵冊数としては30万冊と考えて、あとは面積だが、私が今までさまざま図書館を見て、一番よいと思っている図書館が愛知県田原市の中央図書館である。以前は人口7万人ほど、最近少し減ってきて6万人ほどの自治体で、複合建築だがそのうち図書館専有面積が3,900㎡、4,000㎡弱程度あって蔵書数が30万冊である。非常にスペース的にも吹き抜けがある等ゆったりとしており、実は座席数が大変多い。だからこれから座席数をきちんと確保するためにはもう少し面積がほしい。2,700㎡から3,000㎡とある部分が、3,000㎡から3,500㎡程度になるとありがたいなと思っている。

おそらく座席数の算定はしていないと思うが、今日さまざまに話が出たように、さまざまな活動ができるスペースや場所は図書館の中にも必要だと思う。それは全て共用部に出してしまえばよいということではなく、やはりゆったりと読みたいとか座席数をもう少しゆったりと設けることを考えると、もう少し平米数がほしい。図書館は小さく産んで大きく育てることができないので、最初から面積は確保しておくべきである。あまり増築で大きくなっていくことはない。ないことはないだろうが、やはり最初から確保しておいたほうがよい。

今回の資料では座席数が何席かは出されていないが、田原市では地区人口の1%の席があると聞いた。今は合併したため少し大きくなっているが、合併前の田原町の1%と言われたので、おそらく400席程度の席数がある。立派な館だと感じた。それくらいあるとやはり余裕が出るし、日本でトップだと言われている浦安の図書館が1年半休館してリニューアルしたのは、ほとんど座席数を増やすためだった。開架を減らしてでも座席数を増やした。そういったことを踏まえても、やはりこれから座席数をきっちり確保する意味で、もう少しほしい。

【構成員】

私の職場の2階に子どもが使える学習スペースがあり、実は昨日も学習室を使いたいという親子が来ていた。どこから入るかわからないということだったのでご説明したが、月曜日は入れないようになっている。もし新図書館が休館日を設けるのであれば、学習スペースは休館日でも使えるようにしてもらえたらありがたい。また、16ページの「阿南らしさの溢れる場の構築」に資料の特集展示やコーナーの設置とあるが、これらは21ページのどのコーナーで行うことを想定しているのか。

【事務局】

特集の展示の仕方はさまざまあり、今図書館でもブックトラックをあちこちに設置したり小さい机を出したりして展示に使う等、その時々でどんどん変えながら実施している。基本的に特集コーナーは開架スペース、一般書であれば80冊/㎡の中に大部分は含まれていくことになる。新しく市民活動スペースのようなものがで

できれば、そちらに先ほどの武蔵野プレイスの事例であったような地域に関するファイルやチラシ等が置けるとよいとは考えている。どこまで図書館がそれを専有できるか次第で、あるいは先程ご意見があったように図書館に引き込んで広いスペースが取れば、そういったものも常設できればよいとは考えているが、現時点ではそういった小さな特集展示までを含んで考えている。

議題(4) その他

【構成員】

17 ページ「サービス計画の実現に向けた運営体制づくり」で、さまざまな自治体で基本計画等の策定に私自身も関わっているが、運営を直営にするかどうかはここに書くことが多い。書くかどうかはまた検討してもらえればよいが、基本的には、これだけさまざまなものがミックスした、複合した図書館になりそうなので、そういった意味では非常に専門性も問われ、他部署との連携が求められるだろうと思うため、やはり直営ではないかと思っている。さまざまなお考えはあるかと思うが、もし書けるなら直営と書いてもよいのではないか。少し言いにくいことを言っており、そこまではなかなか明記できないということもあるかもしれないが、こういった議論の場でそういった意見が出たということも記録に残してもらえればよい。

【構成員】

今の話について、図書館法に照らした場合、公共的な図書館は直営でないといけないといった決まり等はあるのか。

【事務局】

運営について法的に定めはない。法律上では自治体が設置するものが公立図書館だということまでが定められており、運営に関しては現在他の図書館でもあるように、全て市の職員とするところもあれば、市が委託するところ、指定管理者が建物ごと請けるところもある。

【構成員】

運営に関してはそれぞれということか。

【事務局】

いろいろな形態がある。

【構成員】

ただ、私も直営に賛成である。

【構成員】

連携が重要だと思うが、それは圧倒的に直営のほうがやりやすいと思う。

【構成員】

阿南高専でワークショップもさせてもらって、そのときに、私は一般教養の社会の教員だから専門のことはよくわからないのだが、学生も意外にやるなと思って感心した。先ほどの IC タグの話もそうだし、事例にも明石高専や津山高専との連携等が挙げられていて、これは阿南高専ももっと協力していかなければならないなと

いう思いを新たにした。私は今（高専）図書館の代表として出席しているが、（高専と）阿南市全体の連携会議もあるし、今日も市役所1階で見かけたが、阿南高専の建設コースの学生の都市計画の展示があった。さまざまところで協力できる場があると感じたので、今以上に連携、協力させてもらいたい。

【構成員】

高専のグループワークの中の意見で目に留まったが、図書館について「行かなくても利用できる一方で……」と書かれたものがあった。人が集う場所にしたほうがよいという方向で話をしている一方で、これも非常に大切だと思う。その下に電子書籍の充実や資料の電子化といった意見があるが、例えば私は仕事のために資料をよく借りるが、じっくり何かを体系的に知りたいときもあれば、一方で調べたいものがピンポイントで決まっていて、図鑑を該当箇所だけ見たいときがある。例えば今は小学館の恐竜図鑑を数多く借りているのだが、いちいち図書館に来るのが少し面倒くさいときや忙しいときに、図鑑等の資料をどんどん電子で利用したいと思っている。今それを進めていこうとしたときに、それを妨げるものとして主にどういったものがあるのか。

【事務局】

電子資料に関しては、図書館で使えるものにはかなりの制約がある。書店で売られているリアルの本がそのまますべて電子になるわけではなく、また、電子になっても図書館で貸出できる資料はさらに限られる。そして電子資料の特性として、図書館で使う場合は利用期限がある。2年間または52回の貸出でそのデータを使う権利が消えてしまう。最近特に児童の貸出がとても増えているため、図鑑等もどんどん入れている。それを子どもたちが使えば使うほど早くなくなってしまうという、電子図書館ならではの悩みがある。これは出版界全体で考えていかなければならないものだが、そういった問題があり、多く使ってもらえるのはありがたいし、学校等でも利用されていてありがたいが、そのぶん早くなくなってしまうというジレンマがある。なかなか阿南市の電子図書館だけでは解決できない問題である。

【構成員】

全体の資料としては、計画も非常に考察されており、今後ITを取り入れる中でICタグをまず検討されていることは大きな一歩だと思う。ICタグさえ付いていれば、後でさまざまに応用が利かせられるため、IT面に関してはまずファーストステップとしてICタグを入れ、必要であればそこからまたアドオンしていけるのではないかと感じた。

3 閉会

【座長】

それでは進行を事務局に返す前に、表原市長にお願いしたい。

【市長】

このたびも長時間にわたり熱心にご議論いただき、心より感謝申し上げます。聞きながらさまざまなことを考え、何から話すべきかと迷うところだが、まず1つは、先だつてのまちづくりシンポジウムを含めて、今、図書館サイドで進めていることの進捗状況と、まちづくり全体の基本計画、実施計画等の進捗度合いに少し差が生まれてしまっている。ここは非常に申し訳ないと思っている一方で、まちづくりの将来像を描き出す上でさまざまな検討すべき具体的な課題が数多くあり、そして民間事業者ともどのようなかたちで対応していくのかといったあたりにかなり時間を要する中で、皆さんにはより議論を深めていただく、あるいは少し歩幅を合わせていただくための時間調整、バッファが必要になっていることに対してご理解をいただきたい。

この2つをしっかりとクロスオーバーさせていくことによって、今日は面積や蔵書数についても議論が及んだが、このあたりの整合を図る段階にいよいよ差し掛かっていくのだろうと思う。そこは何卒ご理解をお願いしたい。

そして議論のポイントとして忘れてはならないのは、今日の議論でもあったように、いわゆるIT化にどこまでキャッチアップしていくのかということ、これは非常に重要なポイントである。他の2館や学校図書館との連携体制のことや、(それらを含む図書館サービスネットワークにおける取組みを)例えば町じゅう図書館や海士町の取組みのようなものに仮に昇華させていくといったことを考えると、このIT化は決して外すことのできない要素だとも思っている。そうすると、他施設との連携も見据えたシステム導入費用やランニングコストを考えたときに一気に頭が痛くなってくる。

実は、今日の徳島新聞の地域面に掲載されたとおり、次年度の予算編成案を2月28日から始まる議会に提案しており、その中に約2億円のまちづくり関連費用を計上している。市民会館と阿南図書館の除却にかかる設計業務ということで合わせて2億円である。いよいよ具体化に向けた動きが進んでいく中で、今挙げた運営体制の話や面積、IT化等、さまざまな複合的なところが一気にぐっと寄ってきて、複雑難解な連立方程式を解いていくことになる。その答えは当然ながら、多様な市民、多様な問題を抱える方々においてもその幸福量を最大化させていくことと、それが持続可能なものになることである。この答えを導き出していく段階、フェーズに入っていくのだという思いで、今日は頭が非常に痛かった。

いずれにしても、実は昨日は高専の参与会にも出席しており、その他私の動き方としては、公民連携を行革の柱にしているぶん、運営母体も含めて、やはり主体的なプレイヤーをどんどん増やしていかなければならないということだと思っている。先ほどの財源や人の問題をどうするのかという話の中で、なかなか行政だけでは補いきれないところに対してさまざまなリソースを寄せ、そして組み合わせていくところで、私はしっかりとしたセールスマンでありたい。繋ぎ合わせていくためにしっかりとメッセージを発信し、協力者を呼び掛けていくことを非常に大事にしたいと思っている。それが近い将来どうなっていくのか、私自身は非常にワクワクしているが、ただ難題多しというところである。引き続き皆様方にはご協力をいただきながら、そしてまちづくりとの連動を図りつつ、取組みを進めていきたい。

4 第4回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)

■開催概要

開催日時：令和5年6月2日（金）10：00～12：00

場 所：阿南市役所3階 301会議室

■出席者

- ・阿南市長
- ・阿南市教育長
- ・阿南市教育部長
- ・検討会議構成員 9名
- ・事務局（阿南市立図書館 5名）
- ・基本計画策定支援事業者（株式会社図書館総合研究所 1名）
- ・関係課（まちづくり推進課 1名）

■議事

1 開会

- ・事務局により開会
- ・市長挨拶

2 議題

- (1) 第3回阿南市立図書館市民ワークショップ開催報告及び市民アンケート調査結果報告
- (2) 県外図書館視察報告
 - ・事務局より説明、構成員から質疑
- (3) 阿南市立新図書館基本計画（素案）について
 - ①新図書館基本計画（素案）の内容について
 - ②図書館を含む複合施設の整備箇所及び機能について
 - ・事務局及びまちづくり推進課より説明、構成員から質疑
- (4) その他
 - ・事務局より説明、構成員から質疑

3 閉会

- ・阿南市長より挨拶
- ・事務局により閉会

■開会（市長挨拶）

【市長】

本日お足元が極めて悪い中、お集まりいただき誠に感謝申し上げます。そして私の身なりからお分かりのとおり、先程、那賀川地区を除く市内全域に対して避難指示を出した。災害情報が各種発令されており、水かさがだいぶ上がってくるという情

報もある中で、私は災害対策会議の本部長という立場であり、この後離席し災害対策にあたるため、冒頭で私の思いだけお伝えしたい。

これまで、皆様にはこの図書館基本計画の検討会議に過去3回ご参加いただき、そしてまちづくりの基本計画の策定も同様に進んでおり、ある程度歩調を合わせつつ、既にそれぞれ大詰めのところまで来ている。そして秋、9月頃には市民の皆様にご各基本計画をお示しする、特にこのまちづくりの基本計画に関しては9月までにまた市民の皆様からも意見を伺ったうえで、しっかりと各基本計画を立ち上げる、という段階にまで来ている。そして、一番大切なのは、図書館や中心市街地のまちづくりに対して思いを持っていただいているそれぞれの方のことであり、当然ながら私も両方に強い気持ちがある。ただ、それぞれの思いを重ね合わせていった先で、図書館を含む複合的な新しい場所を、しっかりとデザイン、設計に落とし込んでいくという現実的な作業が待ち構えている。限られた時間と面積、そして予算等の現実的な制約がある中で、それぞれの思いをしっかりとクロスオーバーさせながら、みんなに喜んでもらえる新しい阿南の居場所づくりに向けて、本当に最後の大詰めにかかっているものと認識している。

今までの皆様方それぞれの取組みに対して、心から感謝を申し上げるとともに、あと一步、お力添えをいただけるよう謹んでお願いしたい。この後すぐに離席することになり大変申し訳ない。本日もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(※ 市長、災害対策のためここで一時退席)

■ 質疑・意見内容

議題(1) 第3回阿南市立図書館市民ワークショップ開催報告及び市民アンケート調査結果報告

議題(2) 県外図書館視察報告

【教育長】

私は他の会合と重なっていたため県外視察に足を運ぶことができなかったが、参加された構成員3名ほどから話を伺う機会があり、どなたも非常に参考になったとのことだった。財政規模等違うところはあるとしても、視察の事例からさまざまなところを取り入れるべきだ、とそれぞれが本当にいきいきと報告され、本当によい研修になったのだな、自分も行きたかったな、という感想を抱いている。それぞれのよいところ全てを持ってくるのはなかなか難しいだろうが、その中身を凝縮して本計画に反映してほしい。

(※ 教育長・教育部長、災害対策のためここで一時退席)

【構成員】

今回の視察で、自動貸出機の実物を初めて目にした。本計画の中にもそうした記載があったものの、正直、実物を見て初めて、これほど便利なものがあったのかと発見した気持ちになった。視察した2館に共通した印象としてまず感じたのが、暗くないことだった。

私は学生時代京都にいたが、その図書館でいつも感じたのは、暗いイメージや、そして館内の張り紙等にそう書いてあるわけではなかったが、黙っていないといけないという圧迫感のようなものだった。

しかし、この2館は、誰かが大きな声で騒いでいるわけではないが、なぜか非常に活発な感じがした。それはもしかしたら、複合施設内にあることによる雰囲気だとか、非常に多くの人が入れ代わり立ち代わり利用していることだとか、あるいはスタッフの方からお聞きしたように、静かにする場所と話してもいい場所をきちんと分けていることだとか、そういったところからかもしれない。黙っていないといけないような雰囲気を感じずに、すごくりラックスして本を眺められ、なんというか、書店でぶらぶらと本の背表紙を眺めているのに近い体験だった。それが今までの図書館と違って非常によかった。

【構成員】

2館を実際に見て、本当に百聞は一見に如かず、目から鱗が落ちる感じがした。あかし市民図書館の「図書館からはじまる“あかし暮らし”」というキャッチフレーズは本当に素晴らしく、こうして市長や行政職の方々の中に、自然体で図書館を核にしている考え方があることに感銘を受けた。

先程の表原市長の言葉を聞いても非常に心強く思ったが、そういったところをきちんと打ち出しながら、新しい図書館の計画を進めてほしい。

あかし市民図書館では図書館が目指すところを紹介するパンフレットをもらったが、見返すと大変素晴らしい。百聞は一見に如かずであり、これから行政に携わっていく方にも見てほしいと思った。視察のあと泉元市長の本を買って読んだが、大変良い内容だった。この冊子や未来の“あかし暮らし”というフレーズを目にすることで、子どもたちが希望を持って、この地域に住みたい、この地域で子育てしたい、といったふうに感じるのだろうかと思った。

【構成員】

私も初めてああいった図書館を見て、図書館はこれほど発展しているのだなと強く感じた。カフェやマルシェを開催しているスペース等があったところ、そして小さな子どもでも、30代、40代の方でも、高齢の方でも、さまざまな方が集える場所があったところが印象に残った。

【副座長】

私もあちこちで会った人に視察のことを報告した。いま泉市長の本のことも話に挙がったが、たまたま手に取った去年の新聞に「泉市長、市議に暴言」という見出しがあり、この春でもう退任だということを見てしまって、そんなこともあったのだなと今更ながら明石市長の動きを見た。

視察の2館のうち、個人的にはあかし市民図書館が非常に印象的で、本を中心にしたことや子育て支援を充実させたこと等によって、人口が大きく増え、そして特殊出生率もアップしたという、まさしくどの自治体でも目指すところを実現したことが素晴らしい。平日にも関わらず館内の椅子が全て埋まっており、市民が本当に

自然に、そこで自分の場所を見つけ、本を読みふけり、雑誌や新聞を読んでいるところを見て、図書館が生活の中に入っているとはこういったことなのだなと感じた。

また、明石の図書館は入ってすぐにティーンズコーナーがあり、かつ、普通は奥のほうに置かれがちな障害に関する資料等が入ってすぐ目につく場所に置いてあったことに、図書館の姿勢がとても現れていると感じた。中高生が隅でたむろしているのではなく、ティーンズコーナーが前面にあり、かつ書架で囲むことでおしゃべりも多少できるような配慮が見られたことや、中高生の趣味や発達等のテーマに応じた配架の方法等もこれから参考になると思った。視察の感想や感動をできるだけ忘れないようにしていきたい。

【構成員】

私も実際に見て感じる大きかった。明石のほうの感想になるが、ティーンズコーナーの隣は文化や郷土といった資料を備えたところで、その間の壁は取り払われていた。だから中高生がティーンズコーナーを利用すると、そちらも自然に視界に入る。スタッフに聞くと意図的にそうしているとのことで、非常に印象に残った。ユニバーサル資料も充実していた。また、後でこれも質問すればよかったと思ったのだが、これから起きるであろう南海トラフ地震等に向け、新しい図書館ではどんな備えをしているのかという点は気になった。そのあたりも、これからできる図書館も含めてそれぞれの工夫があるのであれば、阿南市の新図書館にもどんどん反映してもらえるとよい。

【構成員】

視察では IT の観点に着目していたが、基本的にはこれから必要な IT が備えられていると思った。最低限あのくらいの設備がないと、もうこれからの図書館運営は成り立たないのだろう。阿南市の新しい図書館では、IC タグを含め当たり前の設備を導入できたらよいと、まず率直に思った。

また、阿南市の 10 年、20 年、30 年後の未来を考えたときには、もう少し奇抜な IT 活用もあってよいのではないか。先程市長の話にもあったように、それは予算との見合いかなとも思うが、阿南の図書館にしかない IT 設備といったものもあってよいのではないかと少し感じた。それから今回最も目を引いた部分として、例えば神戸市西図書館のパンフレットには一目で印象に残る、映えるイメージがあり、あかし市民図書館でも非常にわかりやすい資料が用意されていて、見るとその図書館の良さが 1 つ 1 つ本当にわかりやすく記載されている。何かこういったものがあれば、のちのち振り返って見たときにも図書館に行きたいなと思うだろう。今度の新館でも、市民に何をどう使って欲しいかを明確に伝えていければよいなと感じた。

【座長】

私からも 1 つ意見を述べたい。平日であったにも関わらず、両館とも非常に市民の利用度が高かった。特に明石は、スペースの広さも手伝って、老若男女、小さな子どもからご高齢の方まで、幅広い年代層の利用を肌で感じた。また、IT 化という意味で、両館とももう当たり前のように IC タグシステムが導入されていて、いい

な、うらやましいなで終わらせたくないなと感じた。阿南市でいえば、那賀川図書館や羽ノ浦図書館と新図書館とが当然リンクするし、もっと言えば県立図書館の蔵書等の扱いにも全てつながってくるだろうから、ハードルの高さがあることもよくわかる。しかし、自動貸出システムや自動返却システムで効率的に運用されているところを目の当たりにすると、導入すべきシステムだと痛感した。

もう1点、両館共通して、窓際に閲覧席が一直線にレイアウトされていて、市民が思い思いに利用されていたことが非常に印象的だった。紫外線が当たる場所に書架を置くと図書の劣化にもつながるので、そういった意味でも、ああいった窓際に閲覧席を配置し、景色を見ながら本に親しむレイアウトというのも使えるなと感じた。

議題(3) 阿南市立新図書館基本計画（素案）について

①新図書館基本計画（素案）の内容について

②図書館を含む複合施設の整備箇所及び複合機能について

【構成員】

前半部分に現状の分析やアンケートの結果がまとめられていて、それに基づいて新しい図書館ではどのようなサービスをするかと考えるときに、私としては、新しい図書館をどうしていくのかということから話すべきかなと思っている。

まず3章に、こういった機能・サービスをしたい、できたらよいということが書かれていて、それを実現するための資料収集計画・施設整備計画だと考えると、特に施設整備計画はもう少しつっこんで書いてもよいのではと思う。あまり詳細に書いてしまうとそれが固定され身動きが取れなくなるという心配もあって、なかなか明確なことを書いていないのだろうとは思いますが、基本計画なので、こういったことをしたいと書いてよいのではないかと。だからもう少し施設計画の部分は詳しく書いてもよいのではないかと思った。例えば、先程も神戸市西と明石市の図書館を見に行ったら明るく感じたといったご意見、あるいは話してよいところと静かにするところをきちんと分けること等があった。そういったことをここに書いておくべきではないか。音のゾーニングということで今も少し記載はあるが、施設のつくり方という意味では、さまざま人たちがみんな自由に居場所をつくれるように、話してもよいところと、静かに読めるところをきちんと分けましょう、そういった計画にしましょうとはっきり書いたらよいのではないかと。やんわりとした言葉でよいので、もう少し目指す施設像のようなものを書いてもよいのではないかと思った。明るさについても、今まで図書館は本が日に焼けないよう比較的壁が大きく、建築基準法では実は窓がなくてもよいとされている。しかし、今実際に計画される図書館はどれも明るい空間になっているし、天井も高くて開放感がある。ただ、天井は高くなればなるほど暖房や冷房が効きにくくもなるため、そういった光熱環境を、みんなが気持ちよく過ごせるようきちんと整えましょうということは書いてもよいと思う。

また、やはり座席数だが、なかなか何席と明示するのは難しいと思うが、それが

できないのであれば、さまざまな方がゆったりと座れる座席数を確保しようだとか、そういった言葉でよい。そして、本棚の間に少し腰掛けるスツール等が置いてあると、本を読んだり探したりしているときにちょっと腰掛けられる。そういった利用もあれば、きちんとしたソファ席に座る方もいるし、机で勉強される人たちもいて、それぞれの利用に対して机と椅子があって設えが違うだとか、そういったことをできれば書いてほしい。本当は何席にするとまで書いてほしいところだが、書くとそれがずっと条件になってしまうことはわかる。ただ、できればぜひ書いてほしい。

それから、やはりあかし市民図書館は、少し天井は低いが、ワンフロアである。それによってみんながそこでシームレスにさまざまなことができる。やはり図書館をつくる上ではワンフロアが良いに決まっている。だから「ワンフロアが望ましい」等と記述し、なるべく、例えば延床面積が 3,000 m²になったとしても、もちろん 3,000 m²のワンフロアがベストだが、1,000 m²ずつの3層でつくるよりは 2,000 m²と 1,000 m²でつくるほうがよい。そういったふうになるべくワンフロアを大きく取れるように謳ってほしい。それは複合施設をつくる時の考え方としてある。やはり、図書館では開架で大きな面積をきちんと取るほうが望ましい、と書いておいてほしい。それから、複合建築なので機能ごとに休館日や開館時間が違うこともありうる。神戸市西を見るとわかるが、少し複雑ではあるものの施設も一応仕切れるようになっていて、上層の学習室のゾーンは図書館の閉館後も利用できる。複合施設ではそれがすごく大事で、あまりガチガチに分離してしまうとせっかくの複合施設が台無しになってしまう。他のさまざまな施設機能がこれから入ってくると思うが、休館日あるいは開館時間の差があった時のために、図書館と他の機能をゆるやかに仕切れるようにしておくことは非常に大事である。そういった施設のつくり方について、やんわりとした言葉でよいので追加しておけるとよい。次のステップである設計やデザインに向けて、基本的な考え方を示すだけでよい。おそらく構成員の皆さんの考えとしては、あまり利用を制限するのではなく、さまざまな場所があって、みんなが過ごしやすい居場所をきちんと用意できるとよい、という方向だろう。そのあたりをもう少し書き加えてもよいと思う。

それから、一番大切なのはサービスの動線である。カウンターの後ろに事務室があり、そこから後ろの書庫に行ける、そこがつながっていることが非常に大事だと思っている。仮に事務室だけが違うところにあってもよいが、ぜひきちんとカウンターの後ろから階段やエレベーターで直結しているようなつくり方にしてほしい。複合施設の場合、特に利用者が使う部分の面積を優先しがちで、そうすると職員が働く場所が結構奥まったところ、あるいは光も差さないようなところに追いやられることがあるが、本末転倒だと思う。やはりサービスする人たちが気持ちよく働けないと、よいサービスは絶対に行えない。そういった意味で、利用者のことは多く書かれているが、少しサービスの動線の部分も、この括弧レベルの項目で構わないので少し書いてもらえるとよい。それがあれば後の計画や設計、デザインの段階で、きちんと考えてほしいと言える。

【構成員】

私も現場の声は非常に大事だと思う。それも、現場のトップの声だけでなく、会

計年度任用職員などさまざまな職員がいる中で、そういった日々窓口で接している方、日々作業している方の声を拾ってほしい。

それから2つ目、私は阿南市文化会館の建設時にその現場の事務所にいたことがあるが、完成した施設ではエレベーターが駐車場から遠かった。少し奥まったところに1基あったが、やはり足の不自由な方には少しの距離でも大変である。後になって、私はもうその仕事を離れていたが、エレベーターを追加しなければならないということになり設置された。されたのは良いが、その場所はもともと池等がある景観のよいところだったのに、そばにエレベーターを設置したために、経年劣化もあるのだろうが、噴水等もなくなってしまった。そういったこともあり、実際不便に思っている当事者の声を設計時にも拾うことが大事だと思う。

3つ目、先程地震に対する図書館の備えが大事だと感じたことをお伝えしたが、羽ノ浦図書館は防災の展示等も入り口でされていて、非常によいと思っている。前から意見として出しているが、36 ページ、5) の郷土資料について、「SUP や LED といい本市らしい資料を優先的に収集」とあるが、やはり収集の先には保存も必要になる。将来にわたって未来に残せる保存方法を考えてもらい、資料を現状のまま保存できるスペースを確保することも大事ではないか。それからもう1つ、子育て支援のことだが、あかして非常に素敵だなと思ったキャッチフレーズとして、正確には覚えていないが、保護者にゆっくり本を借りてもらうためにお子さんを預かれますよ、一時保育ができますよということが書いてあった。子育て支援に携わっていて感じるが、やはり時代が変わってきていても、小さな子どもを預けてまでご自分の時間を持つことに罪悪感を持たれる方もいる。なので、こうして本を借りるだけでも、というふうに少し伝え方を変えてみれば、じゃあちょっと子どもを預けてほっと一息ついてみようかな、と思ったりもするのではないか。そういう意味では、図書館に一時預かりの場のようなものもあってよい。

それから、子育て世代について、社会の情報化の進展にともなって、ママ友等のクチコミの巡るスピードが非常に速くなっている。文字に画像を添えてすぐに共有できるので、子育て世代に響くような施策も本当に受け入れられやすい。そして、成長するにしたがって図書館を使わなくなる方はたくさんいるが、やはり30代から40代の男性の方や仕事をバリバリされている方に話を聞くと、今は全く行かなくても、子どものときにお父さんお母さんと一緒に行ったことは多くの方が覚えている。だから、子育て世代が図書館を利用することによって、馴染みのある場所として記憶に残り、また何かのきっかけで足を運べる場になる。これから国の施策としても子育て施策はますます強まる、そういった追い風もあることから、子育て世代が足を運びやすいことは大事だと思う。

【副座長】

読み返しながらどこの部分に入るのだろうとは思ったが、移動図書館車に関する事に触れていないのではないかな。移動図書館車の配置を継続するのなら、31 ページ、サービス計画の中の、多様な利用者層に応じたサービスの展開、その中の想定するサービス例等に入るのではないかな。それから学校図書館の項目はこの計画にはないと思うが、そこのサービス連携についても一文あればよい。また、32 ページ

(2) 2) の図書館サービスネットワークの中に、「学校・公民館等の図書サービスを実施する施設」とあって、これは一体どこを指すのか。そのあたりで、公共図書館と学校図書室、ならびに学校図書館サポーターとの連携等についても発展が期待できるようなことを含めた一文がほしい。

【事務局】

いま言える範囲でだが、図書サービスを実施する施設というのは、学校図書館、公民館図書室等もあるが、それ以外にも例えば NuunN のような民間施設で本を置いて活用しているようなところも含む。放課後の学童保育であったり、障害児の預かり施設であったり、子どもがいる居場所はすべて図書サービスのポイントになりうると考えている。高齢者施設についてもそうだし、最近は 100 歳体操といった取り組みを公民館や学校の空きスペースで行っていることなどもあり、どこにでも道筋は開けると考えている。どこと決めているわけではないが、図書があるところは全て、あるいはこれから街角で図書が置けるところはすべてどんどん開拓していくつもりで、特に名指しはしていないが、図書があるところは全て図書館から何かの支援を届けたいという意味で「図書サービスを実施する施設」といった書き方になっている。子どもへの図書サービスを行うポイントについては、実は今年度、第 3 次子どもの読書活動推進計画を新しくつくる予定があり、そちらでも少しきめ細かく拾って行って、この基本計画とリンクするようにつくりあげていけたらと考えている。

【構成員】

ワークショップで高専の学生からさまざまな意見をもらい、平田構成員にも講師をしていただいて、そこで IC タグの話なども出た。私は残念ながら行けなかったが、視察先の 2 館では IC タグが標準装備のようなかたちだったと聞いた。予算の制限はあっても、長い目で見てこれからそういったものはもう当たり前となるため、そういった IC 関係の設備等も入れておいてもらえればと思う。高専ではビブリオバトルを始めていて、昨年も市立図書館とコラボして羽ノ浦図書館で開催し、そこで世代交流の機会等も必要だなと再認識した。

また、先程子どもが図書と触れ合う機会という話があったが、徳島大学でビブリオバトルの世話をされている依岡先生という方が、子ども食堂に本を置く事業等をされている。そういったかたちでさまざまなところに小さな本棚をつくる等されていると聞いて、興味深かった。そういった事業の中心に図書館があればよいと思う。

【構成員】

資料 4 の 33 ページの内容に関して、こういった ICT リテラシーについての取り組みを、阿南のこれからの特色としていくととても良いのではないかと。全体的に、視察の結果なども含めて、図書館としてはしっかりと ICT の要件が整ってきていると感じる。いまの内容に関して特に何かこうすべきということはないので、このまま進めてゆき、あとは実際に図書館が運営されたときに、このページの一番下に書かれていることをどう実現するのか検討しながらやっていければよいと率直に思う。

【構成員】

例えばこれまでの阿南市科学センターとの連携の有無等については自分が知らないだけかもしれないが、明石市の図書館では、確か近くに天文台があるそうで、館内で宇宙に関する展示等をしていた。単純に紙をボードに貼って掲示するだけでなく、立体的に、興味をそそるかたちで置いてあった。阿南の科学センターは何度か訪れたことがあり、結構展示が面白かったり、立派な望遠鏡があったりと、あれも阿南の大きな財産であり、ぜひ何かしら連携してはどうか。Zoomで科学センターとつないで何かしたりもできるかもしれないし、子どもも非常に興味を持つだろう。あれだけ立派なものがあるので、活用しないともったいない。

また、郷土資料について、実は郷土資料には、中を見ると面白いことがたくさん書いてある。例えばこのまちであれば、近くの土手の橋に河童が出て、その河童に薬の作り方を教えてもらうという昔ばなしがある。教えてもらったのが賀島さんという眼科医で、今も普通にまちで営業している賀島眼科だったりする。そういった面白くて、地元に興味を持てる昔ばなしはたくさんあるのだが、それが殺風景な本の中に閉じ込められたまま置かれていても、全く見られない。郷土資料を並べてあるだけでは、特別な目的意識がなければ絶対開かない。

一方、あかしでは、海に関する郷土資料のコーナーで、何かしら昔の船の部品のようなものをガラスケースに入れて展示しており、これは期間ごとに入れ替えるということだった。そういったかたちで、郷土資料や関係する阿南の財産的なものをモノとして見える化するところから、郷土資料に興味を持ってもらうというのも非常に大事なことなのではないか。図書館であっても、本を置くだけではなく、そういうモノの展示や博物館的な機能も一部にあったほうが、何か見ている楽しい空間になるのではないか。そういったところは、神戸市西も明石も、何かいきいきしていて活発な、そういった雰囲気を出す1つの要因なのかもしれないと感じた。

【構成員】

今の郷土資料の見える化という話は大変素晴らしいと思った。それと32ページに関して、阿南市には図書館サポーターが週に1回小中学校に来てくださるという非常に恵まれたサポート制度がある。管轄的に直接図書館と関係があるのかわからないが、大きな財産であり、ぜひ継続してほしい。図書館サポーターで学校現場は大変助かっており、子どもたちに読み聞かせの機会をじゅうぶんに与えてもらっている。だから(2)の「市内の読書推進活動や学びを支えるネットワークを広げる」のところなのか、どこに入れてよいかはわからないが、図書館サポーターという職種と、そしてそことの連携を入れてもらえると、学校図書室と、核になる図書館との連携が図られるのではないか。

それと話は変わるが、「新図書館の複合機能(案)の検討」の内容は本当に素晴らしい。この導入機能(案)が全て実現すればどれだけ素晴らしい複合施設になるのかとわくわくするが、これを改めて決めるときに、各機能の優先順位などは今後どう決めていく予定なのか。この図書館基本計画の内容とも強くリンクしていると思うので、可能ならぜひ教えてほしい。

【まちづくり推進課】

まちづくりの基本計画策定では、市民意向や図書館基本計画から導き出せる機能として提示した機能案を整理した段階であり、今回の基本計画として示すのはここまでとなる。これが全て入れば素晴らしいが、面積等の物理的な制約や、民間事業者の参入意欲等、さまざまな状況に左右される部分があることから、今の時点での優先順位はなかなか示しづらいところがある。

【構成員】

調査結果の数値等を参考にしていくなかたちか。

【まちづくり推進課】

1つの指標になっていくと思われる。

【構成員】

市民としてこれは絶対に入れてほしいといった意見を表明する機会はないのか。

【まちづくり推進課】

今の時点では、これが市民の意向から導き出せる機能というかたちになっている。

【構成員】

まずはパブリックコメントがあるので、そのときに示せるのではないか。

【まちづくり推進課】

その通りである。

【構成員】

まだ機会は何度もあるのではと思う。

【構成員】

少し安心した。

【構成員】

中身の話とは少し違うが、市民会館跡地は駅からすぐ近くではあるが、ぐるりと回り込まないといけないのがとても使いにくい。駅からスムーズに行けるように、または駅から直接つなげられるとよいが。

【構成員】

駅前にも関わらず交通の便が悪いことは、やはりまちづくりの審議会でも意見が出ている。その際、JRの線路上をまたぐ大きな歩行者専用のペDESTリアンデッキをつくってもよいのではないかとといったアイデアは出ていた。また、阿南らしきがないという話もやはり出ており、先程の科学センターや遺跡等、阿南にはそういったものがあるのにうまく活用できていない、もう少し阿南らしい施設づくりをすべきだという話があった。図書館の中の細かい項目にはなるが、そういったことも今回の施設計画の中に少し入れてもよいかもしれない。

特に、岡山県の瀬戸内市民図書館では、これは郷土資料館と図書館が一緒になったような施設で、ラウンジに郷土資料が飾ってあったり、床の下に土器が埋め込まれていたり、書架の端に展示ケースが組み合わせられていたりといった作りかたをされている。そういった家具などもあるので、そういった点も少し考えてもよいのではないか。要するに本だけではなく、もう少し展示等ができるようにしたいと

書けばよいだけである。それを実際に考えるのは設計のデザイナーであり、我々はこれをしたい、こうしたいと言っておけばよい。

それから、島根県海士町の島まるごと図書館という取り組みでは、学校図書館や福祉施設、フェリー乗り場等に小さな本棚を置いており、図書館が管理して分館として位置づけている。規模としては本のコーナー程度のものだが、月に1、2回程度、必ず司書が行って本を入れ替えている。そして貸出は全てセルフで、町民たちが自由に行っている。また、学校図書館に司書が派遣されており、公共図書館の地域館、分館扱いとなっていて、地域の人でも利用できる。さまざまなところにさまざまなものを置いていて、そういったところは少し参考になるかなと思う。

また、鳥取県立図書館が、おそらく日本の県立図書館で一番充実したサービスをされているが、一番面白い例として、議員向けにサービスをしている。県立図書館から出張してサービスを行い、議員らが質問等のためにさまざまなことを調べるときお役に立てますよということをアピールしている。そういった意味では、今後どうなるのかわからないが、いま阿南市役所の2階にカウンターがあり、なかなか好評だと前回のまちづくりの審議会で聞いている。新しい図書館ができたときに撤収する考え方もあるとは思いますが、あそこに図書館のカウンターなりコーナーがあることで、市の職員の方々からも当然目につくし、市役所に来られた方の目にも触れるということもあるので、サービスポイントとして、もし可能ならそのまま置いておいて、市役所の職員の方々にもっとサービスしたほうがよい。結局、図書館の重要性だとか、こういったことをやりたいということを理解してもらうためにも、職員の方々にもっと使ってもらわないといけない。

それから IT 化の話で、沖縄県の恩納村では観光案内所と図書館が一緒になっているが、そこでキオクバンクというサービスを展開している。そこでは、観光客に写真を撮ってもらい、SNS に投稿してもらっている。市自身もここがよいところですよ SNS に投稿しているが、外から来た人たちにも撮影いただいて、こういうところが良かったと SNS に投稿してもらい、それをキオクバンクに貯めていく。その内容が観光案内所の大きな壁一面にある地図に掲載され、どんどん更新されていくようになっている。だから、全てを図書館側、サービス提供側が用意しなくてもよいのではないかと。その仕組みだけ上手につくっておけば、市民が自然と参加してくれる。そういったものの蓄積は IT 技術の得意分野だと思うので、そういったところに参加していただき、見える化する。さまざまな見える化があってよいと思うが、参加型のみんなで何かを育てていくようなものを、そこに来れば目にすることができる、といった感じなのだろう。IT 技術に関してもぜひ、市民も一緒に参加できるような仕掛けが用意できると面白い。

あともう1つ、災害について、先程も意見があったが、災害時の備蓄について、やはり子育て支援といったことを図書館と一緒に実施しているところは、当然そういった紙おむつだとか小さな子ども用の離乳食等、一般の保存食プラスアルファのものをストックしている。だから、今回はこういった機能が入るのか、まだまだこれからだと思うが、そういったことを考えれば、当然備蓄のことを考える必要もある。また災害への備えを考えると、一番図書館でよく言われるのは水損である。実は地震はただ本が落ちるだけで、本が人を殺めることはあまりない。逃げるとき

に本が落ちていて逃げにくいというのはあると思うが、やはり災害のときに一番気になるのは水損である。だから水が入ってこないように、その考え方だけ、災害に対して安心安全にしましょうといったことを一言書いておいてもらえるとよいと思う。

議題(4) その他

【構成員】

個人的にすごく気になっていることとして、ワークショップの結果報告にある「竹の図書館」は、ものすごく素敵だなと思う。この竹をあしらった施設、例えば外壁等さまざまところに竹の要素があれば、本当に阿南らしくて、かつ、すごくメディアが取材したくなるような図書館になる。また、夏祭りなどで等身大の阿波おどり竹人形が出てくるが、あの中には恐らく LED の灯りが入っていて、竹に空いた穴から光が漏れ出てくる。実は私がいるところの隣が作業場なのでよく見かけるのだが、あれを本当にデザインして活用してもよいのではないか。例えば庭から図書館に入っていくときの回廊に竹人形がずらっと並んでいるとか、阿南の LED が入っていて夜になったら光るとか、さまざまに関連できると思う。そこで LED の本や資料を展示したり、そこに竹人形を置いてみたり等、そういったかたちで阿南の数多くある財産を活用できるとよい。竹のカゴといったさまざまなアイデアもあり、個人的にはぜひこれを採用してほしいと思った。

【構成員】

この会議はもう開催しないのか。皆さんからまだ意見も多く出ており、パブコメに行く前に、もう 1 回開催してもよいのではないか。

【事務局】

本当に数多くのご意見をいただき、追記・修正が必要なご指摘も多くあったことから、開催する方向で検討に入りたい。

【構成員】

これで終わりとするよりも、また集まって話すほうがよいのではと思った。

また、先程話すべきだったかもしれないが、図書館専有部の必要面積表がいま、開架率 50%と 60%とで 2 つ別にある。これはどちらかだけにしてもよいのではないか。私としてはもう開架 60%を考えて、3,000 m²要ると言ってよいのではないかと思う。

【事務局】

条件に近い神戸市西の例では、3,000 m²で計画したものの、閲覧席が複合施設側に出ていく等して最終的に 3,000 m²を少し下回っている。図書館部分に融合する機能等もある中で、数字が独り歩きすることを少し心配してこうした記述としている。

【構成員】

計画に 3,000 m²と書いておくと実際には 2,700 m²程度となり、2,700 m²と書いておくと 2,500 m²になることがある。その心配から、書くのであれば大きめの数字を、

とってしまうが。

【事務局】

よく検討させていただきたい。

【構成員】

それから、最近新しい図書館をつくるときに、メイカースペースとって中に工作室のようなスペースをつくることが多いが、今回それは入れないということか。図書館専有部分の外に出してもよい機能ではあるし、中にあると図書館が管理しなければならなくなる。全国でさまざまにメイカースペースがつくられているものの、それもあって鍵がかかったままのところが多く、残念に思っている。せっかくそういった場を用意して自由に何かをつくってよいと言っているのに、そこに人を配置できないために結局使わせない。図書館でモノなんて作らなくてよいのではないかと思うかもしれないが、ヨーロッパ等の海外の図書館、例えば北欧、フィンランド等であれば、図書館内のメイカースペースにミシン等が置いてある。背景として、向こうでは公共施設が図書館しかないため、キッチンやミシンといった公民館的な機能が一緒になっている。そこにみんなが集まってくるため、ミシンやドライバーも使われているし、木工等をしている人たちも多いと聞く。なかなか日本ではうまく行かないのかもしれないが、今の竹の話等もあり、そういったことを行うのであれば、みんなで竹細工ができるようなスペースもあってよいかもしれない。それは図書館の中にある必要はなく、外でもよいと思う。そういえばそういったメイカースペースの話がないなと思ったので発言した。別に入れたほうがよいとは私も思っていないし、管理できずに鍵がかかったままの部屋になってしまっただけはもったいないため、それだったら外に出してみんなに使ってもらおうほうがよいかもしれない。

■閉会（市長挨拶）

【市長】

今回も長時間にわたりご議論いただき、御礼申し上げます。前回の魅力ある都市づくり審議会でもお伝えしたが、例えば、図書館に加えてカフェが欲しい、子育て機能が欲しいといった思いを1つにしてデザイン、設計に置き換えていくことは冒頭お伝えした通りだが、阿南らしさをそのどこで表現するのかについては、皆様から非常に前向きな、そして忌憚のないご意見をいただいた。ここに関しては私もぜひかたちにしなければならぬと思っており、先ほども話があったが、例えば竹の話であれば、街全体をある程度グリーンでループ化し、人の流れが生まれやすい環境をつくっていくとなったときに、日中の人の誘導策として、竹が立体的に視界に入る、歩いてみたくなる景観を生み出していくことだとか、あるいは先程挙げたLEDの竹灯籠を、夜間にも人の流れが東西に生まれるよう、これも先程話が出たペデストリアンデッキの両側に設けたり等といったことは考えられる。そしてそれは外に丸投げするのではなく、私たち自身が何かそこに関わってつくっていく、そうしたことが可能な、箱と人とののりしろのようなものがそこにあるイメージである。

そして、この両計画に共通するキーワードとして「育む」という言葉があった。外部の方からも知恵や知見を得ることはあっても、やはりまちを育みつくっていくのは私たち自身である。街をつくることは人づくりであり、これはコインの表と裏

の関係だと思っている。

だから、この検討会議ももう1回足りないのではないかというご指摘もごもっともだと感じる。まちづくりの審議会も本当は前回で終わりだったが、もう1回開催することとした。やはりどうしてももう一拍欲しい。そこで、いわゆるらしきの部分を、次のデザインや設計に対する「こういうかたちにしてほしい」という思いとして言語化し、計画の中にしっかり落とし込んでいきたい。そのために皆様のお力添えを今一度いただければ、という私の思いをお伝えして、閉会にあたっての御礼の言葉にかえさせていただきたい。引き続きよろしくお願い申し上げます。

5 第5回阿南市立新図書館基本計画検討会議 会議録(要旨)

■開催概要

開催日時：令和5年7月25日(火) 14:00~16:00

場 所：阿南市役所3階 303会議室

■出席者

- ・阿南市長
- ・阿南市教育長
- ・阿南市教育部長
- ・検討会議構成員 8名
- ・事務局(阿南市立図書館 5名)
- ・基本計画策定支援事業者(株式会社図書館総合研究所 2名)
- ・関係課(まちづくり推進課 1名)

■議事

1 開会

2 議題

- (1) 阿南市立新図書館基本計画(素案)について
 - ・事務局より説明
 - ・質疑
- (2) 阿南駅周辺まちづくり基本計画(素案)について
 - ・関係課より説明
 - ・質疑
- (3) その他
 - ①パブリックコメントの実施について
 - ・事務局より説明
 - ②自由意見
 - ・質疑

3 閉会

■ 質疑内容

議題(1)

阿南市立新図書館基本計画（素案）について

【構成員】

38 ページの基本方針の「多様な」「居心地がよく」「安心安全な」といったところに関わってくるが、トイレについて提言したい。トイレほどの施設にも必ずあると思うが、男性に比べ女性のほうがトイレを利用している時間が2～3倍長いと言われる。だから、トイレをつくる際、女性のトイレの数を少し多めに作ってくれたらと思う。令和4年度の図書館利用者統計の性別の貸出者数を見ても、男性より女性の人数が多いと出ている。だから数に配慮してほしいということと、これからの時代、男女共用で使えるトイレが求められると思っている。今でいえば多目的トイレがそれにあたるのかもしれないが、多目的トイレは機能もさまざまに多様な方が利用されることから、1つしかない場合入りたいときに入れられないということもあるようだ。そのため、機能を分散させたバリアフリーなトイレもあれば非常によいのではないかと思う。

【構成員】

意見というより感想になってしまうかもしれないが、新図書館のありかたについて、設備等これができたら本当に素晴らしいと思うが、それを支える運営側については、資料を見ると、例えば那賀川図書館であれば常勤の図書館職員と会計年度任用職員が半々となっている。先日、日曜日の朝日新聞の「声」の欄に図書館司書について図書館法の趣旨どおりに配置をしてほしいという意見を高知県の方が投書されていた。それを見たときに、素晴らしい器ができたとしても、それを支えていく人のほうはどうなっているのかと、運営面について非常に考えさせられた。せっかくの施設を活かすために、専門的な知識を持った図書館員が、専任で1人でも多くいてほしい。この会のメンバーになってから那賀川図書館を何度か利用したが、先日、開館時にピアノがサービスとして演奏されていたときにたまたま立ち会ったり、自習席を2時間ほど利用したり、LED のすごく明るいところで滞在したりすると、非常に図書館が頑張っていることが感じられた。先日、本活というイベントにも参加したが、数多くの方が参加され、そして本の入った段ボール箱が大量にあり、この実施に図書館職員が大変な労力をかけていることが感じられた。1つ1つの行事の実施に多くのマンパワーが必要であろうから、そういった人に関することも視野に入れてほしい。

2つ目、阿南らしさという点について、竹とLED と書かれている。私もそうだが、例えば山のない那賀川地域で生まれ育っている人にとって、竹と言われても実際あまり身近ではない。市役所2階の図書館カウンターにある椅子に、公民館で分かっているのか、市内が14の地域に分けて彫られている。そこを見たときに、それぞれの地域に自慢できる特色あるものがあるのではないかと思った。那賀川であれば阿波公方になるのか他の特産物になるのかかわからないが、各地域からそういったもの

を取り寄せて、エントランスに飾ること等により、それぞれが当事者意識を持てるようにすることで、新しい図書館がそれぞれにとって身近なものになるのではないか。今打ち出されているものとしては LED や竹、野球の町等があるのかもしれないが、それぞれの地域のものを集めていくのも 1 つの方法ではないか。

【事務局】

人の配置の問題に関しては、今の時点では何名とは言えないが、35 ページに運営体制づくりとして、各サービスに精通した人材の確保といったところを入れている。これから先の運営をどのようなかたちで行っていくかは、これから実際に建物を建てていく中で議論されることになるが、必要なのは、市民の方が今までと同じように、またそれ以上のサービスを受けられる生涯教育の拠点として、ネットワークの拠点としての責務を果たすことである。今回直営か指定管理かといったところまでは言及できなかったが、それだけの人材の確保が何より大切であり、基本計画の遂行にあたっては外せないと書いたところである。図書館がしっかりした機能を果たすためにそこは大切な部分であるということはこれからずっと議論をしていきたい。

もう 1 つの阿南らしさについて、新しい施設はこれから市民活動を応援していく、またはまちの交流拠点になることを目指している。複合施設として市民活動の支援や応援に関してもまちづくりと同様に考えており、施設全体でそのあり方を検討していきたい。

【構成員】

先程の地域の特色という意見と関連して、図書館ができる途中の過程で児童や学生にも関わってもらえたらと思っている。大人は忙しかったり、市外に働きに出たりもするが、子どもたちはずっとその土地で、地域の学校に通っており、大人より詳しいところもあるのではないか。だから、地域の特色といったときに、最近の言葉ではシビックプライドという言葉もあるようだが、そのような観点からも子どもたちに関わってもらおう施策があればよい。

【構成員】

例えば 33 ページに ICT の活用による利便性の向上等が記載されている。しかし先程館長も言っていたように、35 ページの各サービスに精通した人材の確保というところでは、どうしても司書等の活用が前面に出がちである。ハード面というか、情報の専門知識を持った方がいないと回っていかない面もあることから、人材の確保について、ソフト面だけでなくハード面も、といったかたちでもっと明確に書いていただいてもよいのではないか。例えば高専では最近、日本全体でもそうだが、情報系人材を養成しなければならないと言われている。そのような知識を持った人材の確保も必要であると具体的に書いてもよいのではないか。

【構成員】

単純な表記の問題であるが、これを読んでいくとカタカナ語がとても多い。これ

を発信する相手は全阿南市民であり、若い人から高齢の方まで読む。私自身が勉強不足で分からないところも多くあったが、例えば、「ゾーニング」と言われて初見で読まれる方がわかるだろうか、「区別」や「区分け」等の日本語の表記があってもよいのではないか。例えばブラウジングやライトノベル等も、図書館に普段全く触れない人でも分かるようにという視点で文章をもう一度確認してはどうか。

【事務局】

カタカナ語に関しては、カタカナであるだけでなく専門的な用語も入っているので、後ろにつける資料編に語句の解説を入れる予定としていた。ただ、そのたびに行ったり来たりしながら見ていくのもなかなか難しい面があるため、工夫したい。

【構成員】

図書館自らが本の情報やイベントを SNS を通じて発信することについてはどこかに記載があるか。以前も意見したが、最近さまざまな図書館が twitter や Instagram で多様な情報を発信しており、私自身そのような情報に触れることが多い。是非、阿南図書館でも行って行ってほしい。

【事務局】

今回、市民の皆さんに使いやすくするという視点が多かったようで、発信することについて直接的な記載はしていなかったが、意識としては、1年前にもホームページを新しく立ち上げ、職員が図書リストやトピックスを載せており、そういったものがより充実するようにしたい。ワークショップでも同様の意見をいただいていた。ご意見を反映し記載したい。

【構成員】

先ほどの地域ごとの阿南らしさに関して、前回のまちづくりの協議会の際、合併等の経緯があり、人口に対して学校数が多いという話をしていた。そういった経緯もあり、阿南はさまざまに地域の特性をもつまちであるため、そういったことをうまく使えたらよい。

以前話したかもしれないが、沖縄県の恩納村で、図書館というか観光案内所のようなところが、観光客に撮ってもらった村の風景等の写真をキオクバンクという名前で集めている。写真は地図に貼り出されて、どんどん変わっていくのだが、村民がよいと思っている場所と観光客の撮る場所が実はだいぶ違うようで、新たに地域の資源が発見されていた。そこでは利用者から投稿してもらおう仕組みだが、今回そのようにさまざまな地域があるのなら、特に阿南らしさということを考えたときに、地域のさまざまなものをデジタルでアーカイブすることも考えられる。今の地区の様子等を将来に残していくうえでも、そういったこと、地域の資料を後の人たちが使えるようにきちんと残していくことが図書館の1つの大きな役割ではないか。本を読んでもらうことも役割だが、一番大事なことは地域のことを保存して残していくことではないか。そのため、そこをもう少し強化するのであれば、地域資料を展

示する、見える化することも大事ではあるが、そうした保存のことを役割として考えることが最も重要である。

それから、先ほどご意見が出たが、私も以前、人の話を書いてもよいのではないかと意見した。以前伝えて今回記載がなく、今回また意見してもおそらく載らないのだろうと思うが、そのことをこの場で協議したと残すことが非常に重要だと思っている。地域資料を収集して後世に伝える、あるいは先程の本活といった図書館が考えたイベントを実施したり、小学校や幼稚園等と連携して何かを行ったりといったことはやはり直営でないとなかなか上手くいかないことだと思う。だから基本は直営がよい。さまざまな活動が連携しやすいという点から記載してもよいのではと思うが、なかなか明言できないということは、さまざまな事情があるのだろう。ただ、基本は直営がよいだろう。とにかく直営であればよいということではなく、さまざまなことを繋げて連携させていけるような人たちが運営されるとよい。

それから、39 ページからも諸室の面積等の話が記載されているが、以前も言ったように座席数は入らないのか。面積や開架冊数だけではなく、また多様な座席を用意等と書くだけではなく、席数を具体的に書いてよいのではないか。書いたからといって、必ず実現しなければいけないわけではなく、1つの目標値として書かれてもよい。だから、たとえば思い切って200席等書いてしまってはどうか。私も事前に計算したのだが、260席とすると少し多いが、200席くらいはあってよい。今資料を見ると那賀川図書館が100席で、それほど少ないとは感じられないと思うが、さまざまな人たちが訪れて、学生が勉強したり、ミーティングを行ったり、グループワークを行ったりとなってくると、席数も、座席のタイプもさまざまに用意するほうがよい。自分では買わないようなソファ等、よい家具が入っているだけでそれを目当てに来られる方もいると思う。そういった意味ではそこは少し頑張ってもよいのではないか。ある程度、「150～200席程度」といった表現でも構わないので、できれば席数は少し触れていただいてもよいのではないか。

【事務局】

実は2年ほど前、徳島新聞の「startt (スタート)」というタブロイド判の冊子があるが、そちらで紹介された図書館、県内の西の方になるが阿波市の土成図書館や美馬市の脇町図書館、吉野川市の鴨島図書館を見せてもらったことがあり、席に関してとても工夫されていた。土成では背もたれが非常に高く、座っているだけで個室にいるように感じられる椅子等も入れられており、庭に向かって配置されていた。職員に伺うと、椅子はそれぞれが個別に感じられるかたちでゆったり過ごせるようにしているという話だった。また、脇町図書館はリノベーションであり、柱をくりぬきそこを1つの席にして個室のような雰囲気で作られている。中井先生が言うように設えが利用者の行動に反映されたり、居心地の良さにつながったりすることを目の当たりにしたところである。

もう片方では、神戸市立西図書館のように図書館の外にも多くの席を設けて、そこが図書館の本を読むために使われている館もある。さまざまなあり方があるのだなと勉強になったところなので、どのような数を入れるか入れないかも含めて、必要な座席が新しい図書館施設に設置されることを目標としてしっかり書いていき

たい。

【副座長】

非常に細かい部分だが、計画案の資料等全て最新の数値等を入れようとしている中で6ページの図書館のイベント・催事が令和3年度の実績である。この部分は令和4年度分が入ってもよいのではないか。

議題(2)

阿南駅周辺まちづくり基本計画（素案）について

【構成員】

私も午前中、まちづくり基本計画に関する会議に出席していたが、またカタカナ言葉となってしまいが、「ウォークブル」ということがだいぶ言われており、駐車場問題が、なかなか簡単に解決はできないだろうことで議題として挙がっていた。おそらくそのあたりの見直しはしてもらえるのではないかとってはいるが、線路を挟んで東側と西側で、東側の3つの候補地のうちどこがよいかとずっと検討がされてきて、結局今回39ページの赤で示された市民会館解体跡地となっている。そしてその敷地をつなぐ都市計画道路があるだが、ここがポイントになるのではないか、ということを手前中話してきた。

それで、この会議の参加者の皆さんは初めて見ると思うが、44ページに施設配置イメージというものが、あくまで案としてだが、今回初めて出されてきた。私としては、結局図書館は1フロアにまとめられているのが最もよいと思っており、なるべく建物として、建築面積を大きく取れるプランとしてはパターン1がよいのだが、広場の考え方としては、東側に非常に大きな広場が取れるパターン2がよいと思っている。それで、パターン1とパターン2を足してもらえないかと話した。ピロティといって、例えば、一部の家電量販店は、下が駐車場で上に売場が乗ったつくりになっており、売場の階に上がってしまえば真っ平らでバリアフリーに動ける。パターン3は地下駐車場だが、図書館は水損するとほぼ本がダメになってしまうため、水に近い場所であれば2階以上に上げた方がよいのではないかと考えている。2階に大きなワンフロアの図書館が計画できれば、サービスもよく連動したかたちで提供でき、利用者も緩やかに使えるだろう。今後これがどうなるか、実際には設計者が考えていくと思うが、このようなアイデアが出てきたことはよかった。

それで、この資料を見るとやはり皆さん気になるだろうと思うので言うが、43ページに駐車場の台数が42台とある。おそらく皆さん少ないと感じるのではないかとと思うが、午前の会議でもさまざまな考え方があり、要するに利用者にまちを歩かせたいと考えると駐車場をあまりたくさん作らないほうがよいのではないかと考えた意見もあった。42台というのは仮に想定された数値と思うが、これは図書館の基本計画とも関連するものであり、新しくできる図書館の活動の目標を反映しているもよいのではないか。図書館の活動の指標として重要なものに、貸出密度という、人口1人当たり年間何冊の本を借りているかを示す指標がある。阿南市はそれが非

常に高く、11冊程度である。これは10冊を超えると非常に高い水準であり、全国の人口が7万人程度の自治体の中で見ると、阿南市は毎年ベスト10に入っている。それを考えると、今回この新しい図書館ができたことをもって、ぜひ全国1位として名乗りを上げてほしい。別に図書館の評価の基準は貸出冊数だけではないのだが、よく使われている良い図書館はやはり貸出密度も高くなっている。多くの方々が来られる図書館であれば、それだけ借りられる人の確率も高くなる。そういった意味では目標値を上げてよいのかなと思っていて、最低でも15冊程度を目標にしても良いのではないか。これは市内全体、那賀川、羽ノ浦、そして新しい図書館を足しての数であり、この新しい図書館で年間50万冊程度が利用されるようになれば、年間15冊程度の貸出密度が達成できる。そこから逆算していくと、人がどれほど来るのかということから駐車場や座席の数等も設定できる。基本計画の中で目標値自体は記載しなくてもよいと思うが、それを想定すると面積や座席数や駐車場の台数をそこから導けるのではないか。

おそらく、この42台というのは図書館だけの利用者分で、かつ現状の利用状況を想定したものだろう。現状をキープしたものなので少し少なくなっているのではないか。ここは想定仕方だが、これを貸出密度15冊程度と想定すると、70台程度は必要になってくる。ただ、70台でも少ない。駅東側の地区全体をウォークアブルな区域としているのであれば、地域全体で100から200台程度を何とか確保しなければ、市民の皆さんに利用してもらえないのではないか。これはまちづくりのほうの話であったが、数値目標をもし図書館の基本計画でも挙げるなら、頑張った数字を掲げてよいのではないか。

【まちづくり推進課】

庁内で検討し、修正すべきところは修正したい。

【事務局】

貸出密度に関して、3館とも開館していた時期には、阿南図書館が最も利用されていた図書館であった。今は那賀川、羽ノ浦を利用している方もいるが、先般新聞でも少し取り上げられていたが、阿南図書館があったときの数値までは戻っていない。やはり図書館に足を運ばなくなった方がいるのだろうと思われ、新しい図書館を開くときには旧阿南図書館以上のものを目指すことが我々の目標とするところではある。それが何冊かというのはあまり意識していなかったが、阿南図書館では年間25万冊程度貸出していたため、それを超えたいとは考えていた。

【まちづくり推進課】

数値目標に関して、KPIについては検討の結果提示しないかたちとなったため、まちづくり基本計画においては設定していない。

【事務局】

そういった経緯もあり、図書館単体で提示することは今回難しいが、意識としては高く持っておきたい。

【構成員】

先ほど水害から守るためには2階がよいというお話があったが、防災の観点で、2月に高専と東京大学の学生が市役所で小さな事前復興のプランを提案するという取組みがあった。その内容はこのまちづくりの中に取り入れる等しているのか。

【まちづくり推進課】

今回の計画では、事前復興という観点からの取組みについて記述はない。

【構成員】

今後もこの学生らから提案等があると思うが、強いまちづくりという意味で、良いところは取り入れたいという方向か。

【まちづくり推進課】

今回の基本計画としては、まちづくりビジョンを引き継いだかたちで、ひとまず短期的な取組みとして図書館の位置や複合機能として考えられる内容等、市長もがよく言うように余白、バッファを持たせた計画になっている。デザインや施設のかたち等は今後の検討となる。

【構成員】

まちづくり基本計画の中にどれだけICT等が含まれているのか教えてほしい。

【まちづくり推進課】

まちづくり基本計画においては、ICTに関する記載はない。

【構成員】

先程指摘があった駐車場台数について、図書館利用者数推計42台と記載があるが、これは、この施設では車は42台しか停められないということではない、ということでしょうか。

【まちづくり推進課】

42台というのは決定した数字ではない。1つのサンプルとして42台を配置したパターンを図に示しているだけであり、今後図書館に隣接する機能を精査する中で検討していく。

【構成員】

今、那賀川図書館でも87台、羽ノ浦であれば250台という数字が手元にあるが、最終的にはその程度の数字になるのが自然ではないかと思っている。

【構成員】

午前中、会議時間を延長するほどだったと聞いたが、どのような議論がなされた

のかを伺いたい。

【まちづくり推進課】

委員の皆様から駐車場の考え方についてさまざまな考え方をいただいた。最小限でもよいのではという意見もあったし、東側の3か所を将来的に考えるのであれば、それぞれに駐車場を作ってしまうとウォークブルにならないため、どこかに集約する必要があるのではないかという考え方や、外縁部にエリア全体で必要台数を考えるべきなのではという意見もあった。

【構成員】

追加するが、先程も意見があったように、やはりこれ（阿南駅周辺まちづくり基本計画）がなかなかボリュームもあってわかりにくく、もっと簡潔にした概要版を作成して周知しなければ、資料が分厚過ぎて理解できないのではないかという厳しい意見が最初にあった。

それから駐車場やウォークブルというものをどのように考えるかということ。今お話があったようにさまざまな考えがあった。また、まちの魅力を考えるうえで、緑化、緑は非常にこれから大事なのではないか、自然の生態系ネットワークと言われていたが、そこは今回の施設だけではなく、地域や地区、阿南市全体できっちり捉えた方がよいのではないかといった意見があった。

【まちづくり推進課】

計画の冗長な部分については記述等を改めて、もう一度精査することを考えている。概要版については現在未定であり、ホームページにはこのまま掲載するが、広報等で周知するときにはわかりやすい表記に務める等、対応を検討したい。

議題(3)その他

- ①パブリックコメントの実施について
- ②自由意見

【座長】

パブリックコメントについては事務局説明のとおりである。

本検討会議は今回最終回となるので、最後に構成員の皆様から自由意見として何かあればお出しいただきたい。

【構成員】

まちづくり基本計画の25ページの一番下に、建物の設えや電柱の地中化等景観も検討するべきと書いてあるが、全体を整理するのであれば電柱の地中化はぜひ進めていただきたい。先程ウォークブルという話もあったが、この周辺を歩いて楽しんだり、あるいは景観を楽しんだりするためには、電柱の地中化は非常に重要である。神戸や大阪で歩いていると、なぜか都会なのに気持ちが良いことがあり、だい

たいそこは電柱がない場所である。感覚的には公園を1つつくると同じくらいの効果があるのではないかと思うほど、人間の心に及ぼす効果があるような気がする。電柱の地中化は、この開発エリアでは特に、可能であれば検討事項に入れていただきたい。

【構成員】

IT分野からの視点ということで今回参加させていただいた。全体の総括としては、先程市長からの話でもあったとおり、あれもこれもではなく、予算内でできる範囲で行っていくというお考えがあった中で、今回の図書館については素案の中で最低限のICTが踏まえているのではないかと考えている。

もう1つ感想として、阿南高専の学生から力を借りて図書館をつくっていくという内容が散りばめられており、私も阿南高専で講演を行ったり、一緒にワークショップを行ったりした中で、未来を感じる学生と一緒に図書館をつくっていくことがこれからすごく楽しみだと感じる。

他のICTのことは言えませんが、今、素案の中にあるものをしっかりと行って行って、そこにあるもので、皆で図書館を作っていくのが阿南市民としての役割ではないか。皆で長い間検討した中で新しい図書館ができるのも楽しみであり、また、本当に長い間一緒に議論できたことがとても良かった。また機会があればよろしくお願ひしたい。

【構成員】

パブリックコメントは市政に声を届ける一番簡単な方法であり、ぜひ周りの方にも伝えたい。

今回、最初お声がけいただいたときには私で務まるのかと思ったが、今までの経験や感性を持って発言したことに対して、皆さんがよく耳を傾けてくださっていることを感じて、非常に発言しやすかった。私の拙い発言を、専門性を用いて展開として繋げてくださったことをとてもありがたく思った。

新しい図書館の姿について、地域を支える一員として意見を伝えることができたということが大変光栄に思う。まちづくりに欠かせない要素の詰まった図書館というのがどんな未来になるのかをこれから見守っていききたい。

【構成員】

私は今回まちづくりと図書館の基本計画に関する会議を両方担当させていただいた。こういったかたちで同時に進んでいくのは珍しいと感じると同時に、構成員の皆さんが非常に前向きかつ積極的に発言されており、参加させていただいて非常に勉強になった。感謝申し上げたい。

それで、基本計画の中に当然盛り込まれていると思うが、これからの図書館のあり方を少し考えると、今まではどちらかと言えば静かに本を読んでいた場所が、もう少し日常的な会話が許容されて、一方では静かに読みたい方にそのための場所がきちんとあるということが、多分これから増えてくるだろう。また、子どもたちがコロナ禍の影響もあって1人1台タブレットをもつ時代になり、それを自宅にも

持ち帰り宿題等を行っている。そういう意味では、情報やインターネットに非常に早くたどり着けるようになっていっているので、知り得る情報と、それを考えて構築して何かを行うことがこれから非常に大切になっていく。AIが行えないことは創造性であり、創造することが最も大切なのではないか。そのため、これからの図書館では、おそらくグループで教えあったり、話したりしながら活動することが増えてくるのではないか。今は学校でもそのような授業が多くなっている。そのようなときに、今回は音のゾーニングという言葉で表現しているが、図書館では、実は個人で使ったり、グループで使ったり、家族で使ったり、利用のかたちが多様化してきている。大学の図書館ではラーニングコモンズが作られていて、他の学生がそこで話している中で、1人で使用している学生が7割程度いる。結局、各人が好む音の環境はばらばらで、本当にしーんとしているところがよい人と、少しぎわめきがあったほうが逆に集中できるという、スターバックスの中でも仕事をしているような人たちもいる。だからそのような居場所をなるべく多く用意しておくのがこれからの図書館のあるべき方向だろう。先程貸出密度等のことを言ったが、実は本を借りるだけではなく、これからはその場所に来ること自体に価値を付けていかないと図書館は使ってもらえないだろうと思うので、さまざまなことが可能な場所ができればよいなど願っている。

【構成員】

感想になるが、今、言われたことと同様のことを私も思っている。今までの図書館は情報の取得等、個としての活動に対する機能が求められていたが、これは学校現場でも同じだが、これからは交流することが求められているのだろうと感じた。

このまちづくりの資料の13ページに、「居心地の良い暮らしのイメージ（複数回答）」というアンケート設問の結果があり、「誰が」、「いつ」、「どこで」、「誰と何する」ことを良い暮らしとしているかということで、回答では、「誰」は“市民”、“いつ”は“休日・余暇”が最多だが、「どこで」は“図書館”、続いて“公園・広場”で、「誰と何する」というところではまず“買い物・飲食”、続いて“談笑・憩い”が2番目に挙がっており、“静かに・読書”は4番目である。本当に図書館で静かにすること、自分だけで活動することの回答割合が低くなっており、図書館の役割自体が変わってきていることを実感した。

駐車場台数については、やはりファミリーで行くことで子どもたちに読書を習慣づけていく面があると思うので、駐車場の確保は、家族で図書館に行くための手段を確保するうえで必要なところだろうと思う。

長い間に渡ってこの会議に参加し、本当に勉強になった。

【構成員】

この会議には高専の代表として参加させてもらったが、さまざまな場が用意されることで、学生たちも私が普段気付かないような能力を発揮してくれていた。例えば先程の都市計画も建設コースの学生が参加しているのだと思うが、私の講義はぼーっと聞いているだけだが、好きなことを行うとすごく具体的な案を出してくれたりする。

平田構成員に高専に来ていただいてワークショップを行ったが、そこでも集まった情報コースの学生がすごく熱心に、積極的にさまざまな案を出してくれた。先程他の方も意見されたように、ラーニングコモンズもそうだが、多様な場を用意すれば眠っている能力が活性化されるところがある。ゾーニングという言葉も今回初めて聞いたが、静かにする人、少しぎわぎわしたところで話をしながら勉強をする人、グループでさまざまに取組む人、このような多様性は本当に図書館でも必要である。ぜひそれを実現してもらえたらと思う。

【副座長】

阿南図書館がなくなるというショックな出来事がだんだん払拭されていったと感じるほど、市民の皆さんを巻き込んだかたちでフォーラムや市民ワークショップを開催する等、この検討会議のメンバーとしてもそれがよく目に見えたし、あらゆることを細やかに実施してくれたと思う。

この計画策定に関わったことで、一方では責任も感じるが、楽しみが増えた。本当によりよい図書館ができることを祈って、関わった人たちが楽しみにできるように、このパブリックコメントもたくさんの方が参加できるように、短い時間なので、より多くの意見が出してもらえる機会になるとよい。

【座長】

最後に私からもお礼を込めて、一言申し上げる。

検討会議の回数自体は5回と少なめだったかもしれないが、それぞれの構成員の皆さま方の真摯で熱く真剣なご提言や議論をいただいたことに敬服した次第である。

この検討会議は、図書館単体のみならず、今日もまちづくり計画の説明があったが、阿南駅周辺まちづくり全体の中での、図書館機能を中核とした施設ということで議論するものだった。途中の回ではワークショップの報告もあったが、とても熱く、市民の年齢幅も多岐にわたる参加者の皆様方のとても建設的な議論、提案もあり、またヒアリングも精力的になされ、それらの大半が、基本計画内に詳細に盛り込まれており、大変有効であった、充実していたと感じた。

さらに私自身が特に印象深かったことは、他の構成員の方もおそらくそうだと思うが、先進地視察であった。神戸市立西図書館、そして話題のあかし図書館、2館とも人口規模や財政事情は本市と異なるため、いいなあと羨むしかない部分も事実あったが、規模を除いても、随所に市民の方々の心のひだに届くような、非常に行き届いた運営、両者ともに民営であったと思うが、それは直営でも民間でも目標とするところは変わらないと思ったし、それらが本を中心に市民にサービスを届けるという徹底したサービスがなされている点は感心した。施設1つをとっても、以前公共施設といえば見るからにハコモノで魅力が薄かったと思うが、神戸西はその廊下、壁1つをとっても随所にさまざまな工夫がなされているし、このような公共施設があること自体が目から鱗で、新鮮な印象を抱いた。

できれば新阿南図書館、新施設にも、市民サイドに立った、阿南市民が感心して舌を巻くような部分が活かされればとても素晴らしい。阿南とは実情が違う部分も

あったが、私たちが目指すべき図書館像が、明確に今回の先進地視察で描くことができたと考えている。

IC タグ化も大前提になるだろう。これも財政的には大きな障壁になるであろうが、やはりこれをやりきらないと図書館運営はできないと痛感した。

検討会議の議論としてはこれで一旦終了とするが、先ほども案内があったように残りの意見等は我々自身もパブリックコメントに投影することができるので、多くの市民の皆さんの建設的な意見がパブコメに現れることを願う。基本計画から、さらにパブコメを踏まえた実施計画こそが、一番のポイントになると思うので、それらもよく見極め、見守りながら、とにかく1人でも多くの阿南市民が願うまちづくり、図書館づくりを進められることを切に願っている。

■挨拶

【教育長】

これまで長きに渡ってのご議論、大変感謝申し上げます。私は途中参加だったこともあり、全部を見通してというわけにもいかなかったが、本当に自分の頭に浮かぶ図書館のイメージがどんどん湧き上がってきて、これから先どのようなかたちになっていくのか楽しみでいっぱいである。

ご意見をさまざまにいただいた中で、これから先、実際には捨てるを得ないようなことも出てこようかと思う。ただし、その中においても、皆さまの思いを大切にしていきたい。私も那賀川図書館等に行くと、もちろん本があり、館の前にはせせらぎがあってという環境にもうっとりすると同時に、水槽があってその中にドジョウがいたり、七夕には子どもの願いが書かれた短冊が飾られていたり、本とともにそこに集う人々の温かさ、思いが非常によく表れている場所だなと感じている。新図書館も、新しく立派であることプラス、そのようなさまざまな人の願いがいつも集まっているような場ができれば、自然とそこに多くの人が集まってきていただけるのではないかなと思っている。

皆さまの思いを市長とかたちにしていくべく頑張ってお参るので、今後ともご支援、ご指導をお願いお礼の言葉としたい。

【市長】

本日も長時間に渡り、基本計画の策定にあたり、力添えいただいたことを本当に感謝申し上げたい。

おそらく、今教育長が言われたのはこれから、この計画の実現可能な道筋を探る中で、何かを取る代わりに何かを諦めざるを得ないような場面もあるのではないかと、そのような具体なところに関して、現実的な壁にもぶち当たりつつ何とか思いを叶えてかたちにしていくために、そして那賀川図書館にも見られるような、本を介してこれまで培ってきた人の関係性が失われないような新しい居場所づくりを行うためにどうするのか、ということに関して述べていただいたものだと思っております、その思いは私も同じである。

実は昨日、市職員を対象とした公共施設マネジメントの研修会があり、その舞台というのが岩手県紫波町のオガールプロジェクトであり、これは私の知る限り、お

そらく日本一の公民連携事業の成功例である。その計画書の中身を見てみると非常に、人、物、お金等といった経営資源におけるあらゆる素材を現実のところにパッケージにして、そして「おがる」という意味は育つという意味であるが、それを点として、あるいは図書館や、もしくはマルシェのような市場活動を核として、そこからしっかりと中長期的に育て上げていくという公民連携のプロジェクトとなっている。それはハコづくりだけで成しえるものではなく、中身に携わる人の成長とともにまちが成長する、おがっていくというプロジェクトである。そして、オガールプロジェクトが目指すところの根幹にある人の思いという部分に関しては、岩手県紫波町も徳島県阿南市においても同じだと思っている。ぜひとも今回のこの阿南市における中心市街地のまちづくり、図書館を核としたまちづくりにおいても、市独自の将来に誇れるような阿南の新たな未来へ向けたプロジェクトに昇華させていくことができるよう、引き続き皆さま方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます、閉会のご挨拶に代えたい。

資料2 阿南駅周辺まちづくり基本計画アンケート調査結果

1 アンケート調査概要

(1) 実施概要

阿南駅周辺まちづくり、およびその対象エリアにおけるコア(中核)機能として導入を想定する新図書館の整備について、その方向性を検討する上での基礎資料とするためにアンケート調査を実施した。調査は令和5年2月から3月にかけて実施し、647票の回答が得られた。

表 1-1 実施概要

項目	内容	
調査名	阿南駅周辺まちづくり基本計画アンケート	
調査方法	郵送・Web 回答フォーム	
調査対象	阿南市住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上の市民 2,000 人	
調査期間	令和5年2月 13 日(月)～3月 20 日(月)	
調査内容	① 共通	属性
	② まちづくり基本計画に関する事項	阿南駅周辺エリアの利用状況および現状評価／阿南駅周辺まちづくりに期待するもの 等
	③ 新図書館基本計画に関する事項	利用状況／新図書館に対する考え方／今後充実を期待するもの 等
配付数／回収数(回収率)	2,000 票／647 票(32.4%) <内訳> 郵送: 546 票、Web 回答フォーム: 101 票	

以下では、調査のうち新図書館基本計画に関連する調査内容①および③に関する内容を記載する。

(2) 調査項目

市民アンケート調査のうち、まちづくり基本計画と共通する調査項目および新図書館整備に関する調査項目は表 1-2 のとおりである。新図書館整備に関する設問は全9問を設定した。

表 1-2 調査項目

区分	設問内容
属性	(1) 性別 (2) 年齢 (3) 職業 (4) 家族構成 (5) 居住地 (6) 居住年数 (7) 居住理由 (8) 以前の居住地
問1 利用状況	(1) 過去3年間における利用頻度 (2) 主な利用目的 (3) 来館時の主な同伴者 (4) 主な利用しない理由
問2 新図書館に期待すること	(1) 利用面における望ましい図書館像 (2) 特に充実を望むサービス・機能 (3) 特に充実を望む施設空間・設備 (4) 特に充実を望む資料
問3 今後の市立図書館に関する要望	自由記述

2 アンケート調査結果

(1) 調査結果の見方

- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- グラフ内の「n」は、各設問の回答者数を示す。
- 四捨五入の関係上、SA(単一回答)方式設問でも回答者の構成比の合計が100%にならない場合がある。
- 構成比は回答者総数に対する回答数の割合を示しており、MA(複数回数)方式設問では合計が100%にならない。
- 分岐設問においては、設問で指定した分岐先の回答のみを採用した。指定していない分岐先の設問に回答者が回答していても、その回答は採用していない。((例)問1の設問(1)「利用頻度」に「10.全く利用したことがない」と回答している場合、設問(2)－1「主な利用目的」において回答の記載があっても採用しない)
- MA方式設問において回答制限数を超過した回答は、若い番号から順に上限数まで採用するものとした。((例)「3つまで選択」の設問で「1, 3, 7, 10」を選択した回答は、「1, 3, 7」とみなす)
- 各設問で、「その他」を選択しているものの記述内容から他の既設の選択肢に当てはまると判断できるものは、後者に振り替えて採用した。
- クロス集計項目の一部は回答者数が少ないため、参考値として掲載する。

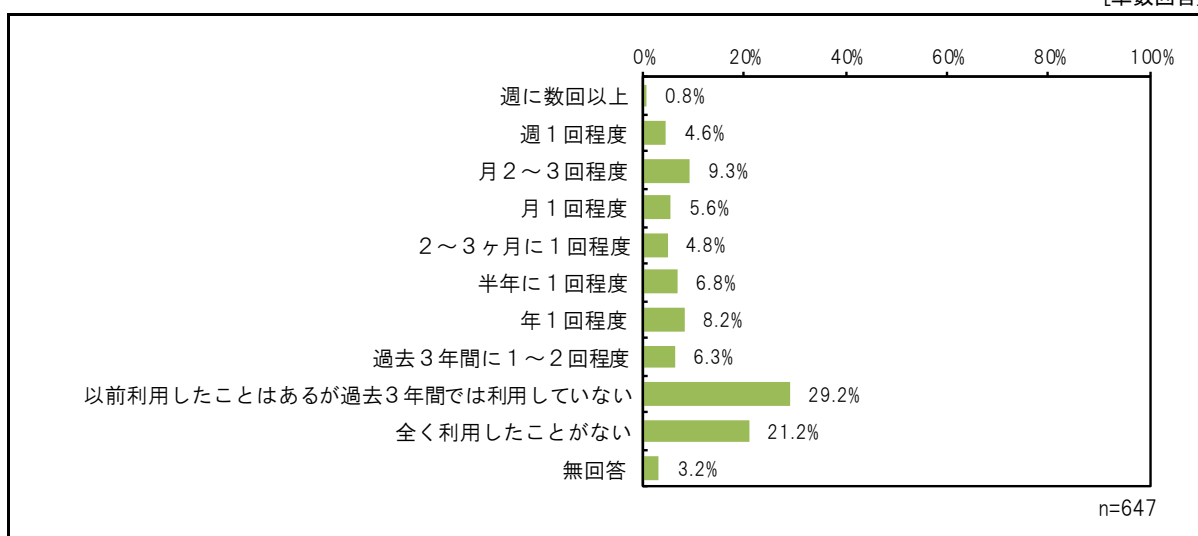
(2) アンケート調査結果

1) 利用状況

① 過去3年間における利用頻度

- 「以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない」が最多で全体の 29.2%、次に多い「全く利用したことがない」(21.2%)とあわせて、市立図書館を3年以上利用していないとする回答が約半数(50.4%)を占めた。
- 一方で、全体の 20.2%は月1回以上の利用があると回答しており、年1回程度以上まで含めると 40.0%となる。
- 家族構成別に見ると、未成年の子がいる場合、「月2～3回程度」が 19.7%で最多であり、月1回程度以上利用するとした回答が約3分の1(33.1%)を占めた。

[単数回答]



項目	人数	構成比
週に数回以上	5	0.8%
週1回程度	30	4.6%
月2～3回程度	60	9.3%
月1回程度	36	5.6%
2～3ヶ月に1回程度	31	4.8%
半年に1回程度	44	6.8%
年1回程度	53	8.2%
過去3年間に1～2回程度	41	6.3%
以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない	189	29.2%
全く利用したことがない	137	21.2%
無回答	21	3.2%
合計	647	100.0%

属性別で最も回答の多い項目(無回答を除く)

[単数回答]

項目	過去3年間で、市立図書館の利用頻度											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	647 100.0%	5 0.8%	30 4.6%	60 9.3%	36 5.6%	31 4.8%	44 6.8%	53 8.2%	41 6.3%	189 29.2%	137 21.2%	21 3.2%
男性	238 100.0%	0 0.0%	11 4.6%	17 7.1%	13 5.5%	7 2.9%	14 5.9%	20 8.4%	22 9.2%	67 28.2%	63 26.5%	4 1.7%
女性	404 100.0%	5 1.2%	19 4.7%	43 10.6%	23 5.7%	24 5.9%	30 7.4%	33 8.2%	19 4.7%	120 29.7%	71 17.6%	17 4.2%
答えたくない	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%

設問内容	① 週に数回以上 ② 週1回程度 ③ 月2～3回程度 ④ 月1回程度 ⑤ 2～3ヶ月に1回程度 ⑥ 半年に1回程度 ⑦ 年1回程度 ⑧ 過去3年間に1～2回程度 ⑨ 以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない ⑩ 全く利用したことがない
------	--

[単数回答]

項目	過去3年間で、市立図書館の利用頻度											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	647 100.0%	5 0.8%	30 4.6%	60 9.3%	36 5.6%	31 4.8%	44 6.8%	53 8.2%	41 6.3%	189 29.2%	137 21.2%	21 3.2%
18-22歳	13 100.0%	0 0.0%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 46.2%	3 23.1%	0 0.0%
23-29歳	30 100.0%	1 3.3%	1 3.3%	4 13.3%	1 3.3%	1 3.3%	2 6.7%	3 10.0%	2 6.7%	9 30.0%	6 20.0%	0 0.0%
30歳代	64 100.0%	0 0.0%	4 6.3%	11 17.2%	6 9.4%	1 1.6%	4 6.3%	8 12.5%	4 6.3%	13 20.3%	12 18.8%	1 1.6%
40歳代	92 100.0%	0 0.0%	5 5.4%	13 14.1%	8 8.7%	9 9.8%	9 9.8%	15 16.3%	7 7.6%	19 20.7%	6 6.5%	1 1.1%
50歳代	109 100.0%	1 0.9%	5 4.6%	6 5.5%	2 1.8%	4 3.7%	9 8.3%	8 7.3%	7 6.4%	44 40.4%	22 20.2%	1 0.9%
60歳代	130 100.0%	2 1.5%	6 4.6%	10 7.7%	5 3.8%	3 2.3%	7 5.4%	8 6.2%	10 7.7%	47 36.2%	30 23.1%	2 1.5%
70歳代	128 100.0%	0 0.0%	3 2.3%	11 8.6%	8 6.3%	8 6.3%	8 6.3%	8 6.3%	7 5.5%	33 25.8%	34 26.6%	8 6.3%
80歳以上	79 100.0%	1 1.3%	4 5.1%	4 5.1%	6 7.6%	4 5.1%	5 6.3%	3 3.8%	4 5.1%	18 22.8%	22 27.8%	8 10.1%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%

設問内容	① 週に数回以上 ② 週1回程度 ③ 月2～3回程度 ④ 月1回程度 ⑤ 2～3ヶ月に1回程度 ⑥ 半年に1回程度 ⑦ 年1回程度 ⑧ 過去3年間に1～2回程度 ⑨ 以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない ⑩ 全く利用したことがない
------	--

[単数回答]

項目	過去3年間の、市立図書館の利用頻度											
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
合計	647	5	30	60	36	31	44	53	41	189	137	21
	100.0%	0.8%	4.6%	9.3%	5.6%	4.8%	6.8%	8.2%	6.3%	29.2%	21.2%	3.2%
会社員・ 公務員	205	1	11	21	11	11	15	28	13	62	30	2
	100.0%	0.5%	5.4%	10.2%	5.4%	5.4%	7.3%	13.7%	6.3%	30.2%	14.6%	1.0%
農業・漁業	42	1	0	0	3	2	3	2	5	12	14	0
	100.0%	2.4%	0.0%	0.0%	7.1%	4.8%	7.1%	4.8%	11.9%	28.6%	33.3%	0.0%
自営・自由業	46	0	2	6	2	3	5	3	5	9	9	2
	100.0%	0.0%	4.3%	13.0%	4.3%	6.5%	10.9%	6.5%	10.9%	19.6%	19.6%	4.3%
主婦・主夫	98	2	2	12	8	7	4	5	4	27	22	5
	100.0%	2.0%	2.0%	12.2%	8.2%	7.1%	4.1%	5.1%	4.1%	27.6%	22.4%	5.1%
アルバイト・ パート	77	0	2	8	4	2	9	7	7	22	16	0
	100.0%	0.0%	2.6%	10.4%	5.2%	2.6%	11.7%	9.1%	9.1%	28.6%	20.8%	0.0%
無職	159	1	10	11	8	5	8	8	7	51	39	11
	100.0%	0.6%	6.3%	6.9%	5.0%	3.1%	5.0%	5.0%	4.4%	32.1%	24.5%	6.9%
学生	11	0	2	1	0	1	0	0	0	4	3	0
	100.0%	0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	36.4%	27.3%	0.0%
無回答	9	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4	1
	100.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	11.1%

設問 内容	① 週に数回以上 ② 週1回程度 ③ 月2～3回程度 ④ 月1回程度 ⑤ 2～3ヶ月に1回程度 ⑥ 半年に1回程度 ⑦ 年1回程度 ⑧ 過去3年間に1～2回程度 ⑨ 以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない ⑩ 全く利用したことがない
----------	--

[単数回答]

項目	過去3年間の、市立図書館の利用頻度											
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
合計	647	5	30	60	36	31	44	53	41	189	137	21
	100.0%	0.8%	4.6%	9.3%	5.6%	4.8%	6.8%	8.2%	6.3%	29.2%	21.2%	3.2%
ひとり暮らし	67	0	3	4	5	3	1	3	6	15	19	8
	100.0%	0.0%	4.5%	6.0%	7.5%	4.5%	1.5%	4.5%	9.0%	22.4%	28.4%	11.9%
夫婦のみ	164	3	6	14	10	6	8	14	12	49	37	5
	100.0%	1.8%	3.7%	8.5%	6.1%	3.7%	4.9%	8.5%	7.3%	29.9%	22.6%	3.0%
親・子 (成人)	203	2	11	10	7	10	13	12	11	87	38	2
	100.0%	1.0%	5.4%	4.9%	3.4%	4.9%	6.4%	5.9%	5.4%	42.9%	18.7%	1.0%
親・子 (未成年)	127	0	6	25	11	8	17	17	10	16	15	2
	100.0%	0.0%	4.7%	19.7%	8.7%	6.3%	13.4%	13.4%	7.9%	12.6%	11.8%	1.6%
親・子・孫	60	0	4	4	3	2	3	6	2	14	19	3
	100.0%	0.0%	6.7%	6.7%	5.0%	3.3%	5.0%	10.0%	3.3%	23.3%	31.7%	5.0%
その他	18	0	0	2	0	2	2	0	0	8	4	0
	100.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	44.4%	22.2%	0.0%
無回答	8	0	0	1	0	0	0	1	0	0	5	1
	100.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	62.5%	12.5%

設問 内容	① 週に数回以上 ② 週1回程度 ③ 月2～3回程度 ④ 月1回程度 ⑤ 2～3ヶ月に1回程度 ⑥ 半年に1回程度 ⑦ 年1回程度 ⑧ 過去3年間に1～2回程度 ⑨ 以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない ⑩ 全く利用したことがない
----------	--

[単数回答]

項目 属性	過去3年間で、市立図書館の利用頻度											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	647 100.0%	5 0.8%	30 4.6%	60 9.3%	36 5.6%	31 4.8%	44 6.8%	53 8.2%	41 6.3%	189 29.2%	137 21.2%	21 3.2%
富岡地区	118 100.0%	2 1.7%	8 6.8%	14 11.9%	5 4.2%	6 5.1%	8 6.8%	7 5.9%	9 7.6%	34 28.8%	21 17.8%	4 3.4%
宝田地区	26 100.0%	0 0.0%	1 3.8%	3 11.5%	2 7.7%	1 3.8%	3 11.5%	4 15.4%	1 3.8%	5 19.2%	6 23.1%	0 0.0%
中野島地区	32 100.0%	1 3.1%	3 9.4%	1 3.1%	3 9.4%	1 3.1%	2 6.3%	1 3.1%	1 3.1%	14 43.8%	4 12.5%	1 3.1%
長生地区	20 100.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%	0 0.0%	1 5.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 45.0%	3 15.0%	1 5.0%
大野地区	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	3 23.1%	7 53.8%	0 0.0%
加茂谷地区	21 100.0%	1 4.8%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	3 14.3%	2 9.5%	1 4.8%	1 4.8%	5 23.8%	6 28.6%	0 0.0%
桑野地区	38 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.5%	3 7.9%	2 5.3%	3 7.9%	4 10.5%	3 7.9%	12 31.6%	6 15.8%	1 2.6%
見能林地区	98 100.0%	0 0.0%	6 6.1%	10 10.2%	7 7.1%	9 9.2%	1 1.0%	6 6.1%	5 5.1%	27 27.6%	25 25.5%	2 2.0%
新野地区	32 100.0%	0 0.0%	1 3.1%	1 3.1%	0 0.0%	1 3.1%	3 9.4%	1 3.1%	0 0.0%	13 40.6%	12 37.5%	0 0.0%
福井地区	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	7 38.9%	6 33.3%	1 5.6%
椿地区	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%
伊島地区	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
橘地区	19 100.0%	0 0.0%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%	2 10.5%	1 5.3%	6 31.6%	2 10.5%	2 10.5%
那賀川地区	85 100.0%	0 0.0%	6 7.1%	7 8.2%	8 9.4%	1 1.2%	8 9.4%	9 10.6%	6 7.1%	21 24.7%	16 18.8%	3 3.5%
羽ノ浦地区	85 100.0%	0 0.0%	1 1.2%	8 9.4%	6 7.1%	6 7.1%	8 9.4%	15 17.6%	8 9.4%	20 23.5%	10 11.8%	3 3.5%
その他	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	2 8.3%	2 8.3%	9 37.5%	6 25.0%	2 8.3%
無回答	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%

設問 内容	① 週に数回以上 ② 週1回程度 ③ 月2～3回程度 ④ 月1回程度 ⑤ 2～3ヶ月に1回程度 ⑥ 半年に1回程度 ⑦ 年1回程度 ⑧ 過去3年間に1～2回程度 ⑨ 以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない ⑩ 全く利用したことがない
----------	--

[単数回答]

項目 属性	過去3年間で、市立図書館の利用頻度											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	647 100.0%	5 0.8%	30 4.6%	60 9.3%	36 5.6%	31 4.8%	44 6.8%	53 8.2%	41 6.3%	189 29.2%	137 21.2%	21 3.2%
5年未満	58 100.0%	1 1.7%	2 3.4%	8 13.8%	1 1.7%	4 6.9%	5 8.6%	10 17.2%	5 8.6%	9 15.5%	13 22.4%	0 0.0%
5年以上	47 100.0%	0 0.0%	3 6.4%	8 17.0%	4 8.5%	2 4.3%	2 4.3%	6 12.8%	3 6.4%	9 19.1%	8 17.0%	2 4.3%
10年未満	101 100.0%	1 1.0%	4 4.0%	11 10.9%	9 8.9%	4 4.0%	10 9.9%	13 12.9%	9 8.9%	30 29.7%	10 9.9%	0 0.0%
20年未満	434 100.0%	3 0.7%	21 4.8%	33 7.6%	22 5.1%	21 4.8%	27 6.2%	24 5.5%	24 5.5%	139 32.0%	102 23.5%	18 4.1%
20年以上	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%
無回答												

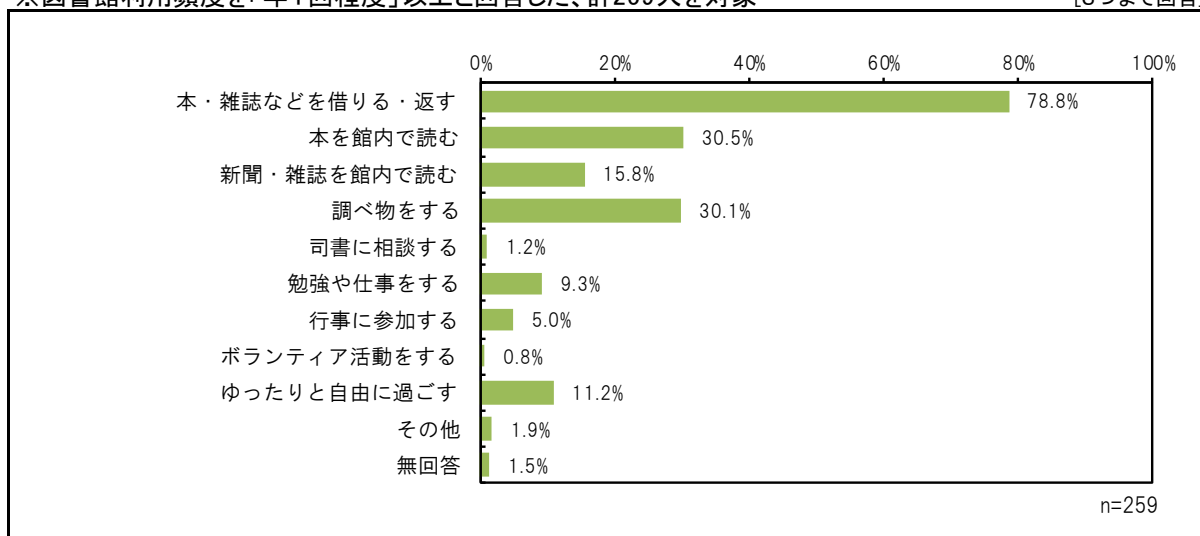
設問 内容	① 週に数回以上
	② 週1回程度
	③ 月2～3回程度
	④ 月1回程度
	⑤ 2～3ヶ月に1回程度
	⑥ 半年に1回程度
	⑦ 年1回程度
	⑧ 過去3年間に1～2回程度
	⑨ 以前利用したことはあるが過去3年間では利用していない
	⑩ 全く利用したことがない

② 主な利用目的

- 「本・雑誌などを借りる・返す」が突出して多く、78.8%を占めた。「本を館内で読む」が30.5%、「調べ物をする」が30.1%と続く。
- 資料の貸出や閲覧に関する項目が回答の多くを占める一方、「司書に相談する」「行事に参加する」といった人との交流を含む項目の回答割合は低くなっている。
- 男女別で見ると、女性では「本・雑誌などを借りる・返す」に回答が集中しているのに対し、男性は同項目の回答割合が女性より低い一方で、「本を館内で読む」「調べ物をする」といった館内閲覧に関する項目の回答割合が高い。

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

[3つまで回答]



項目	人数	構成比
本・雑誌などを借りる・返す	204	78.8%
本を館内で読む	79	30.5%
新聞・雑誌を館内で読む	41	15.8%
調べ物をする	78	30.1%
司書に相談する	3	1.2%
勉強や仕事をする	24	9.3%
行事に参加する	13	5.0%
ボランティア活動をする	2	0.8%
ゆったりと自由に過ごす	29	11.2%
その他	5	1.9%
無回答	4	1.5%
合計	259	100.0%

「その他」の内容

項目	人数
子供の気分転換	1
子供の利用についていく	1
併設するホールの利用のため	1
CDを借りる・返す	1
絵本の読み聞かせを聞きに行く	1

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

[3つまで回答]

項目 属性	図書館の主な利用目的											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	259 100.0%	204 78.8%	79 30.5%	41 15.8%	78 30.1%	3 1.2%	24 9.3%	13 5.0%	2 0.8%	29 11.2%	5 1.9%	4 1.5%
男性	82 100.0%	49 59.8%	28 34.1%	20 24.4%	34 41.5%	0 0.0%	12 14.6%	2 2.4%	0 0.0%	9 11.0%	2 2.4%	3 3.7%
女性	177 100.0%	155 87.6%	51 28.8%	21 11.9%	44 24.9%	3 1.7%	12 6.8%	11 6.2%	2 1.1%	20 11.3%	3 1.7%	1 0.6%
答えたくない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

設問 内容	① 本・雑誌などを借りる・返す ② 本を館内で読む ③ 新聞・雑誌を館内で読む ④ 調べ物をする ⑤ 司書に相談する	⑥ 勉強や仕事をする ⑦ 行事に参加する ⑧ ボランティア活動をする ⑨ ゆったりと自由に過ごす ⑩ その他
----------	--	--

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

[3つまで回答]

項目 属性	図書館の主な利用目的											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	259 100.0%	204 78.8%	79 30.5%	41 15.8%	78 30.1%	3 1.2%	24 9.3%	13 5.0%	2 0.8%	29 11.2%	5 1.9%	4 1.5%
18-22歳	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
23-29歳	13 100.0%	11 84.6%	3 23.1%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%
30歳代	34 100.0%	29 85.3%	12 35.3%	3 8.8%	5 14.7%	0 0.0%	5 14.7%	4 11.8%	0 0.0%	4 11.8%	1 2.9%	2 5.9%
40歳代	59 100.0%	45 76.3%	21 35.6%	5 8.5%	16 27.1%	2 3.4%	10 16.9%	3 5.1%	0 0.0%	5 8.5%	1 1.7%	2 3.4%
50歳代	35 100.0%	28 80.0%	13 37.1%	9 25.7%	10 28.6%	0 0.0%	2 5.7%	2 5.7%	1 2.9%	3 8.6%	1 2.9%	0 0.0%
60歳代	41 100.0%	34 82.9%	14 34.1%	10 24.4%	14 34.1%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	6 14.6%	1 2.4%	0 0.0%
70歳代	46 100.0%	38 82.6%	5 10.9%	6 13.0%	16 34.8%	1 2.2%	3 6.5%	1 2.2%	0 0.0%	5 10.9%	0 0.0%	0 0.0%
80歳以上	27 100.0%	18 66.7%	8 29.6%	7 25.9%	13 48.1%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

設問 内容	① 本・雑誌などを借りる・返す ② 本を館内で読む ③ 新聞・雑誌を館内で読む ④ 調べ物をする ⑤ 司書に相談する	⑥ 勉強や仕事をする ⑦ 行事に参加する ⑧ ボランティア活動をする ⑨ ゆったりと自由に過ごす ⑩ その他
----------	--	--

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

[3つまで回答]

項目 属性	図書館の主な利用目的											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	259 100.0%	204 78.8%	79 30.5%	41 15.8%	78 30.1%	3 1.2%	24 9.3%	13 5.0%	2 0.8%	29 11.2%	5 1.9%	4 1.5%
会社員・ 公務員	98 100.0%	73 74.5%	30 30.6%	13 13.3%	22 22.4%	1 1.0%	14 14.3%	6 6.1%	0 0.0%	9 9.2%	3 3.1%	3 3.1%
農業・漁業	11 100.0%	8 72.7%	4 36.4%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
自営・自由業	21 100.0%	17 81.0%	9 42.9%	3 14.3%	6 28.6%	1 4.8%	2 9.5%	1 4.8%	1 4.8%	3 14.3%	2 9.5%	0 0.0%
主婦・主夫	40 100.0%	38 95.0%	12 30.0%	7 17.5%	11 27.5%	0 0.0%	1 2.5%	4 10.0%	1 2.5%	9 22.5%	0 0.0%	0 0.0%
アルバイト・ パート	32 100.0%	29 90.6%	11 34.4%	4 12.5%	10 31.3%	1 3.1%	2 6.3%	1 3.1%	0 0.0%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%
無職	51 100.0%	36 70.6%	9 17.6%	14 27.5%	23 45.1%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.9%	0 0.0%	1 2.0%
学生	4 100.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
設問 内容	① 本・雑誌などを借りる・返す ② 本を館内で読む ③ 新聞・雑誌を館内で読む ④ 調べ物をする ⑤ 司書に相談する						⑥ 勉強や仕事をする ⑦ 行事に参加する ⑧ ボランティア活動をする ⑨ ゆったりと自由に過ごす ⑩ その他					

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

[3つまで回答]

項目 属性	図書館の主な利用目的											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	259 100.0%	204 78.8%	79 30.5%	41 15.8%	78 30.1%	3 1.2%	24 9.3%	13 5.0%	2 0.8%	29 11.2%	5 1.9%	4 1.5%
ひとり暮らし	19 100.0%	14 73.7%	3 15.8%	3 15.8%	6 31.6%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%
夫婦のみ	61 100.0%	49 80.3%	15 24.6%	16 26.2%	21 34.4%	1 1.6%	3 4.9%	3 4.9%	0 0.0%	10 16.4%	1 1.6%	0 0.0%
親・子 (成人)	65 100.0%	47 72.3%	26 40.0%	13 20.0%	21 32.3%	0 0.0%	5 7.7%	1 1.5%	1 1.5%	5 7.7%	1 1.5%	1 1.5%
親・子 (未成年)	84 100.0%	69 82.1%	26 31.0%	6 7.1%	18 21.4%	1 1.2%	13 15.5%	9 10.7%	0 0.0%	9 10.7%	3 3.6%	3 3.6%
親・子・孫	22 100.0%	18 81.8%	7 31.8%	1 4.5%	10 45.5%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
その他	6 100.0%	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
設問 内容	① 本・雑誌などを借りる・返す ② 本を館内で読む ③ 新聞・雑誌を館内で読む ④ 調べ物をする ⑤ 司書に相談する						⑥ 勉強や仕事をする ⑦ 行事に参加する ⑧ ボランティア活動をする ⑨ ゆったりと自由に過ごす ⑩ その他					

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

[3つまで回答]

項目	図書館の主な利用目的											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
属性												
合計	259 100.0%	204 78.8%	79 30.5%	41 15.8%	78 30.1%	3 1.2%	24 9.3%	13 5.0%	2 0.8%	29 11.2%	5 1.9%	4 1.5%
富岡地区	50 100.0%	41 82.0%	18 36.0%	14 28.0%	13 26.0%	0 0.0%	1 2.0%	3 6.0%	1 2.0%	3 6.0%	0 0.0%	1 2.0%
宝田地区	14 100.0%	13 92.9%	1 7.1%	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
中野島地区	12 100.0%	9 75.0%	6 50.0%	1 8.3%	7 58.3%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
長生地区	7 100.0%	5 71.4%	4 57.1%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
大野地区	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
加茂谷地区	9 100.0%	7 77.8%	6 66.7%	1 11.1%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
桑野地区	16 100.0%	15 93.8%	4 25.0%	3 18.8%	2 12.5%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	1 6.3%
見能林地区	39 100.0%	28 71.8%	9 23.1%	4 10.3%	13 33.3%	0 0.0%	1 2.6%	3 7.7%	1 2.6%	10 25.6%	2 5.1%	1 2.6%
新野地区	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
福井地区	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
椿地区	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%
伊島地区	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
橘地区	8 100.0%	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
那賀川地区	39 100.0%	33 84.6%	14 35.9%	8 20.5%	9 23.1%	1 2.6%	2 5.1%	1 2.6%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%
羽ノ浦地区	44 100.0%	34 77.3%	9 20.5%	4 9.1%	15 34.1%	0 0.0%	6 13.6%	2 4.5%	0 0.0%	4 9.1%	3 6.8%	0 0.0%
その他	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

設問 内容	① 本・雑誌などを借りる・返す	⑥ 勉強や仕事をする
	② 本を館内で読む	⑦ 行事に参加する
	③ 新聞・雑誌を館内で読む	⑧ ボランティア活動をする
	④ 調べ物をする	⑨ ゆったりと自由に過ごす
	⑤ 司書に相談する	⑩ その他

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

[3つまで回答]

項目 属性	図書館の主な利用目的											
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
合計	259 100.0%	204 78.8%	79 30.5%	41 15.8%	78 30.1%	3 1.2%	24 9.3%	13 5.0%	2 0.8%	29 11.2%	5 1.9%	4 1.5%
5年未満	31 100.0%	22 71.0%	11 35.5%	6 19.4%	10 32.3%	1 3.2%	2 6.5%	2 6.5%	0 0.0%	5 16.1%	1 3.2%	1 3.2%
5年以上	25 100.0%	24 96.0%	8 32.0%	1 4.0%	6 24.0%	0 0.0%	3 12.0%	5 20.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%
10年未満	52 100.0%	38 73.1%	19 36.5%	8 15.4%	15 28.8%	0 0.0%	10 19.2%	2 3.8%	0 0.0%	5 9.6%	2 3.8%	1 1.9%
10年以上	151 100.0%	120 79.5%	41 27.2%	26 17.2%	47 31.1%	2 1.3%	9 6.0%	4 2.6%	2 1.3%	17 11.3%	2 1.3%	2 1.3%
20年未満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20年以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

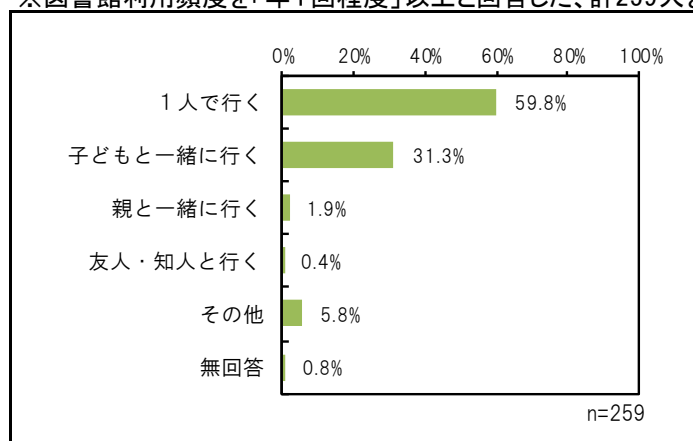
設問 内容	① 本・雑誌などを借りる・返す ② 本を館内で読む ③ 新聞・雑誌を館内で読む ④ 調べ物をする ⑤ 司書に相談する	⑥ 勉強や仕事をする ⑦ 行事に参加する ⑧ ボランティア活動をする ⑨ ゆったりと自由に過ごす ⑩ その他
----------	--	--

③ 来館時の主な同伴者

- 「1人で行く」が 59.8%、「子どもと一緒に行く」が 31.3%と多くを占める。
- 年代別では、子育て世代である 23 歳から 40 歳代において「子どもと一緒に行く」が、その他の世代で「1人で行く」が最多であった。

[単数回答]

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象



項目	人数	構成比
1人で行く	155	59.8%
子どもと一緒に行く	81	31.3%
親と一緒に行く	5	1.9%
友人・知人と行く	1	0.4%
その他	15	5.8%
無回答	2	0.8%
合計	259	100.0%

「その他」の内容

項目	人数
夫婦で行く	10
孫と行く	4
借りて来てもらう	1

[単数回答]

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

項目 属性	図書館と一緒に利用する人						
	合計	①	②	③	④	⑤	無回答
合計	259 100.0%	155 59.8%	81 31.3%	5 1.9%	1 0.4%	15 5.8%	2 0.8%
男性	82 100.0%	56 68.3%	17 20.7%	1 1.2%	0 0.0%	6 7.3%	2 2.4%
女性	177 100.0%	99 55.9%	64 36.2%	4 2.3%	1 0.6%	9 5.1%	0 0.0%
答えたくない	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

設問 内容	① 1人で行く ② 子どもと一緒にいく ③ 親と一緒にいく ④ 友人・知人と行く ⑤ その他
----------	--

[単数回答]

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

項目 属性	図書館と一緒に利用する人						
	合計	①	②	③	④	⑤	無回答
合計	259 100.0%	155 59.8%	81 31.3%	5 1.9%	1 0.4%	15 5.8%	2 0.8%
18-22歳	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
23-29歳	13 100.0%	4 30.8%	9 69.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	34 100.0%	7 20.6%	24 70.6%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.9%
40歳代	59 100.0%	28 47.5%	30 50.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
50歳代	35 100.0%	23 65.7%	7 20.0%	1 2.9%	0 0.0%	4 11.4%	0 0.0%
60歳代	41 100.0%	32 78.0%	2 4.9%	2 4.9%	0 0.0%	5 12.2%	0 0.0%
70歳代	46 100.0%	38 82.6%	3 6.5%	0 0.0%	1 2.2%	4 8.7%	0 0.0%
80歳以上	27 100.0%	20 74.1%	6 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

設問 内容	① 1人で行く ② 子どもと一緒にいく ③ 親と一緒にいく ④ 友人・知人と行く ⑤ その他
----------	--

[単数回答]

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

項目 属性	図書館と一緒に利用する人						
	合計	①	②	③	④	⑤	無回答
合計	259 100.0%	155 59.8%	81 31.3%	5 1.9%	1 0.4%	15 5.8%	2 0.8%
会社員・ 公務員	98 100.0%	47 48.0%	43 43.9%	3 3.1%	0 0.0%	4 4.1%	1 1.0%
農業・漁業	11 100.0%	8 72.7%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%
自営・自由業	21 100.0%	12 57.1%	7 33.3%	1 4.8%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%
主婦・主夫	40 100.0%	26 65.0%	12 30.0%	0 0.0%	1 2.5%	1 2.5%	0 0.0%
アルバイト・ パート	32 100.0%	14 43.8%	14 43.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 12.5%	0 0.0%
無職	51 100.0%	43 84.3%	4 7.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.9%	1 2.0%
学生	4 100.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

設問 内容	① 1人で行く ② 子どもと一緒にいく ③ 親と一緒にいく ④ 友人・知人と行く ⑤ その他
----------	--

[単数回答]

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

項目 属性	図書館と一緒に利用する人						
	合計	①	②	③	④	⑤	無回答
合計	259 100.0%	155 59.8%	81 31.3%	5 1.9%	1 0.4%	15 5.8%	2 0.8%
ひとり暮らし	19 100.0%	16 84.2%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
夫婦のみ	61 100.0%	50 82.0%	3 4.9%	0 0.0%	1 1.6%	7 11.5%	0 0.0%
親・子 (成人)	65 100.0%	52 80.0%	6 9.2%	2 3.1%	0 0.0%	4 6.2%	1 1.5%
親・子 (未成年)	84 100.0%	19 22.6%	62 73.8%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%
親・子・孫	22 100.0%	12 54.5%	8 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%
その他	6 100.0%	4 66.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

設問 内容	① 1人で行く ② 子どもと一緒にいく ③ 親と一緒にいく ④ 友人・知人と行く ⑤ その他
----------	--

[単数回答]

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

項目 属性	図書館と一緒に利用する人						
	合計	①	②	③	④	⑤	無回答
合計	259 100.0%	155 59.8%	81 31.3%	5 1.9%	1 0.4%	15 5.8%	2 0.8%
富岡地区	50 100.0%	30 60.0%	16 32.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 8.0%	0 0.0%
宝田地区	14 100.0%	7 50.0%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
中野島地区	12 100.0%	9 75.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%
長生地区	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
大野地区	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
加茂谷地区	9 100.0%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
桑野地区	16 100.0%	11 68.8%	4 25.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
見能林地区	39 100.0%	19 48.7%	16 41.0%	1 2.6%	0 0.0%	3 7.7%	0 0.0%
新野地区	7 100.0%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
福井地区	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
椿地区	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
伊島地区	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
橘地区	8 100.0%	3 37.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%
那賀川地区	39 100.0%	27 69.2%	10 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.1%	0 0.0%
羽ノ浦地区	44 100.0%	26 59.1%	14 31.8%	0 0.0%	1 2.3%	2 4.5%	1 2.3%
その他	5 100.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
設問 内容	① 1人で行く ② 子どもと一緒にいく ③ 親と一緒にいく ④ 友人・知人と行く ⑤ その他						

[単数回答]

※図書館利用頻度を「年1回程度」以上と回答した、計259人を対象

項目 属性	図書館と一緒に利用する人						
	合計	①	②	③	④	⑤	無回答
合計	259 100.0%	155 59.8%	81 31.3%	5 1.9%	1 0.4%	15 5.8%	2 0.8%
5年未満	31 100.0%	15 48.4%	15 48.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%
5年以上	25	9	14	1	0	1	0
10年未満	100.0%	36.0%	56.0%	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%
10年以上	52	27	23	0	0	1	1
20年未満	100.0%	51.9%	44.2%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%
20年以上	151 100.0%	104 68.9%	29 19.2%	4 2.6%	1 0.7%	12 7.9%	1 0.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

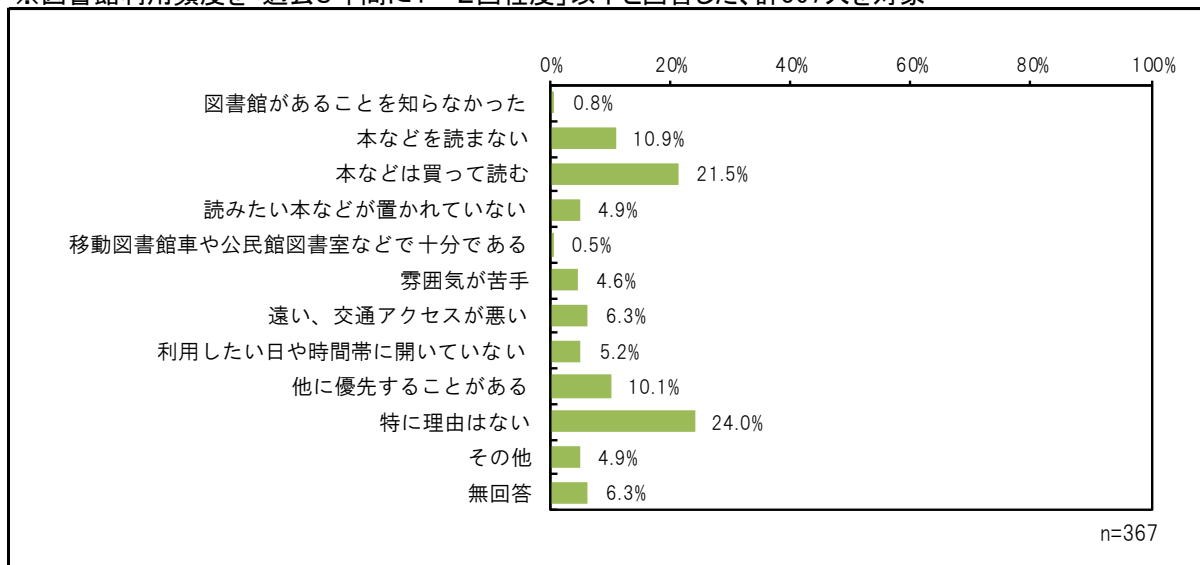
設問 内容	① 1人で行く ② 子どもと一緒にいく ③ 親と一緒にいく ④ 友人・知人と行く ⑤ その他
----------	--

④ 主な利用しない理由

- 「特に理由はない」が最も高く(24.0%)、「本などは買って読む」(21.5%)、「本などを読まない」(10.9%)、「他に優先することがある」(10.1%)が続く。
- 居住地区別では、市立図書館各施設から比較的距離がある福井地区、椿地区、伊島地区で「遠い、交通アクセスが悪い」が最も多い回答となっている一方、立地条件に近い加茂谷地区や新野地区では別の回答の比率のほうが高い。

[単数回答]

※図書館利用頻度を「過去3年間に1～2回程度」以下と回答した、計367人を対象



項目	人数	構成比
図書館があることを知らなかった	3	0.8%
本などを読まない	40	10.9%
本などは買って読む	79	21.5%
読みたい本などが置かれていない	18	4.9%
移動図書館車や公民館図書室などで十分である	2	0.5%
雰囲気が苦手	17	4.6%
遠い、交通アクセスが悪い	23	6.3%
利用したい日や時間帯に開いていない	19	5.2%
他に優先することがある	37	10.1%
特に理由はない	88	24.0%
その他	18	4.9%
無回答	23	6.3%
合計	367	100.0%

※図書館利用頻度を「過去3年間に1～2回程度」以下と回答した、計367人を対象

[単数回答]

項目	図書館を利用しない理由												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
属性													
合計	367 100.0%	3 0.8%	40 10.9%	79 21.5%	18 4.9%	2 0.5%	17 4.6%	23 6.3%	19 5.2%	37 10.1%	88 24.0%	18 4.9%	23 6.3%
男性	152 100.0%	1 0.7%	17 11.2%	36 23.7%	8 5.3%	0 0.0%	4 2.6%	9 5.9%	7 4.6%	14 9.2%	41 27.0%	4 2.6%	11 7.2%
女性	210 100.0%	2 1.0%	23 11.0%	43 20.5%	9 4.3%	2 1.0%	13 6.2%	13 6.2%	12 5.7%	22 10.5%	45 21.4%	14 6.7%	12 5.7%
答えたくない	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

設問内容	① 図書館があることを知らなかった ② 本などを読まない ③ 本などは買って読む ④ 読みたい本などが置かれていない ⑤ 移動図書館車や公民館図書室などで十分である ⑥ 雰囲気が悪手	⑦ 遠い、交通アクセスが悪い ⑧ 利用したい日や時間帯に開いていない ⑨ 他に優先することがある ⑩ 特に理由はない ⑪ その他
------	--	--

※図書館利用頻度を「過去3年間に1～2回程度」以下と回答した、計367人を対象

[単数回答]

項目	図書館を利用しない理由												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
属性													
合計	367 100.0%	3 0.8%	40 10.9%	79 21.5%	18 4.9%	2 0.5%	17 4.6%	23 6.3%	19 5.2%	37 10.1%	88 24.0%	18 4.9%	23 6.3%
18-22歳	9 100.0%	0 0.0%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
23-29歳	17 100.0%	1 5.9%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	29 100.0%	1 3.4%	4 13.8%	5 17.2%	1 3.4%	0 0.0%	3 10.3%	1 3.4%	0 0.0%	4 13.8%	7 24.1%	2 6.9%	1 3.4%
40歳代	32 100.0%	0 0.0%	3 9.4%	9 28.1%	2 6.3%	0 0.0%	1 3.1%	1 3.1%	5 15.6%	4 12.5%	4 12.5%	2 6.3%	1 3.1%
50歳代	73 100.0%	0 0.0%	7 9.6%	13 17.8%	8 11.0%	0 0.0%	3 4.1%	8 11.0%	3 4.1%	8 11.0%	17 23.3%	5 6.8%	1 1.4%
60歳代	87 100.0%	1 1.1%	10 11.5%	23 26.4%	2 2.3%	1 1.1%	4 4.6%	3 3.4%	4 4.6%	10 11.5%	20 23.0%	2 2.3%	7 8.0%
70歳代	74 100.0%	0 0.0%	5 6.8%	16 21.6%	2 2.7%	0 0.0%	3 4.1%	3 4.1%	5 6.8%	7 9.5%	20 27.0%	4 5.4%	9 12.2%
80歳以上	44 100.0%	0 0.0%	3 6.8%	10 22.7%	2 4.5%	1 2.3%	2 4.5%	5 11.4%	1 2.3%	2 4.5%	12 27.3%	2 4.5%	4 9.1%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

設問内容	① 図書館があることを知らなかった ② 本などを読まない ③ 本などは買って読む ④ 読みたい本などが置かれていない ⑤ 移動図書館車や公民館図書室などで十分である ⑥ 雰囲気が悪手	⑦ 遠い、交通アクセスが悪い ⑧ 利用したい日や時間帯に開いていない ⑨ 他に優先することがある ⑩ 特に理由はない ⑪ その他
------	--	--

※図書館利用頻度を「過去3年間に1～2回程度」以下と回答した、計367人を対象

[単数回答]

項目	図書館を利用しない理由													
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答	
属性	合計	367	3	40	79	18	2	17	23	19	37	88	18	23
		100.0%	0.8%	10.9%	21.5%	4.9%	0.5%	4.6%	6.3%	5.2%	10.1%	24.0%	4.9%	6.3%
会社員・ 公務員	105	0	13	24	9	1	5	6	7	12	20	4	4	
	100.0%	0.0%	12.4%	22.9%	8.6%	1.0%	4.8%	5.7%	6.7%	11.4%	19.0%	3.8%	3.8%	
農業・漁業	31	1	4	8	1	0	0	1	2	4	9	0	1	
	100.0%	3.2%	12.9%	25.8%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	6.5%	12.9%	29.0%	0.0%	3.2%	
自営・自由業	23	1	3	6	0	0	1	0	2	1	6	1	2	
	100.0%	4.3%	13.0%	26.1%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	8.7%	4.3%	26.1%	4.3%	8.7%	
主婦・主夫	53	0	4	9	3	0	2	7	0	4	15	6	3	
	100.0%	0.0%	7.5%	17.0%	5.7%	0.0%	3.8%	13.2%	0.0%	7.5%	28.3%	11.3%	5.7%	
アルバイト・ パート	45	1	5	9	1	0	4	1	0	8	13	2	1	
	100.0%	2.2%	11.1%	20.0%	2.2%	0.0%	8.9%	2.2%	0.0%	17.8%	28.9%	4.4%	2.2%	
無職	97	0	7	22	4	1	4	7	8	7	22	4	11	
	100.0%	0.0%	7.2%	22.7%	4.1%	1.0%	4.1%	7.2%	8.2%	7.2%	22.7%	4.1%	11.3%	
学生	7	0	4	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
	100.0%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	
無回答	6	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	

設問 内容	① 図書館があることを知らなかった ② 本などを読まない ③ 本などは買って読む ④ 読みたい本などが置かれていない ⑤ 移動図書館車や公民館図書室などで十分である ⑥ 雰囲気が悪手	⑦ 遠い、交通アクセスが悪い ⑧ 利用したい日や時間帯に開いていない ⑨ 他に優先することがある ⑩ 特に理由はない ⑪ その他
----------	--	--

※図書館利用頻度を「過去3年間に1～2回程度」以下と回答した、計367人を対象

[単数回答]

項目	図書館を利用しない理由													
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答	
属性	合計	367	3	40	79	18	2	17	23	19	37	88	18	23
		100.0%	0.8%	10.9%	21.5%	4.9%	0.5%	4.6%	6.3%	5.2%	10.1%	24.0%	4.9%	6.3%
ひとり暮らし	40	0	4	12	2	0	2	2	3	3	7	2	3	
	100.0%	0.0%	10.0%	30.0%	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%	7.5%	7.5%	17.5%	5.0%	7.5%	
夫婦のみ	98	2	11	20	2	1	2	9	3	7	25	4	12	
	100.0%	2.0%	11.2%	20.4%	2.0%	1.0%	2.0%	9.2%	3.1%	7.1%	25.5%	4.1%	12.2%	
親・子 (成人)	136	0	18	30	6	1	10	8	10	10	34	5	4	
	100.0%	0.0%	13.2%	22.1%	4.4%	0.7%	7.4%	5.9%	7.4%	7.4%	25.0%	3.7%	2.9%	
親・子 (未成年)	41	0	4	9	3	0	1	2	2	8	8	4	0	
	100.0%	0.0%	9.8%	22.0%	7.3%	0.0%	2.4%	4.9%	4.9%	19.5%	19.5%	9.8%	0.0%	
親・子・孫	35	1	2	6	3	0	2	1	1	5	9	2	3	
	100.0%	2.9%	5.7%	17.1%	8.6%	0.0%	5.7%	2.9%	2.9%	14.3%	25.7%	5.7%	8.6%	
その他	12	0	1	2	2	0	0	0	0	4	1	1	1	
	100.0%	0.0%	8.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	8.3%	8.3%	8.3%	
無回答	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	

設問 内容	① 図書館があることを知らなかった ② 本などを読まない ③ 本などは買って読む ④ 読みたい本などが置かれていない ⑤ 移動図書館車や公民館図書室などで十分である ⑥ 雰囲気が悪手	⑦ 遠い、交通アクセスが悪い ⑧ 利用したい日や時間帯に開いていない ⑨ 他に優先することがある ⑩ 特に理由はない ⑪ その他
----------	--	--

※図書館利用頻度を「過去3年間に1～2回程度」以下と回答した、計367人を対象

[単数回答]

項目 属性	図書館を利用しない理由												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
合計	367 100.0%	3 0.8%	40 10.9%	79 21.5%	18 4.9%	2 0.5%	17 4.6%	23 6.3%	19 5.2%	37 10.1%	88 24.0%	18 4.9%	23 6.3%
富岡地区	64 100.0%	1 1.6%	3 4.7%	15 23.4%	2 3.1%	0 0.0%	3 4.7%	2 3.1%	1 1.6%	5 7.8%	23 35.9%	4 6.3%	5 7.8%
宝田地区	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	3 25.0%	2 16.7%	1 8.3%
中野島地区	19 100.0%	0 0.0%	4 21.1%	4 21.1%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	4 21.1%	1 5.3%	1 5.3%
長生地区	12 100.0%	0 0.0%	2 16.7%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	6 50.0%	1 8.3%	0 0.0%
大野地区	11 100.0%	1 9.1%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%	3 27.3%
加茂谷地区	12 100.0%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%	1 8.3%
桑野地区	21 100.0%	0 0.0%	1 4.8%	7 33.3%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%	2 9.5%	1 4.8%	1 4.8%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%
見能林地区	57 100.0%	0 0.0%	7 12.3%	13 22.8%	4 7.0%	0 0.0%	4 7.0%	3 5.3%	4 7.0%	6 10.5%	13 22.8%	2 3.5%	1 1.8%
新野地区	25 100.0%	0 0.0%	3 12.0%	7 28.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 16.0%	0 0.0%	2 8.0%	4 16.0%	3 12.0%	0 0.0%
福井地区	16 100.0%	0 0.0%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 25.0%	3 18.8%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	2 12.5%
椿地区	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%
伊島地区	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
橘地区	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%
那賀川地区	43 100.0%	1 2.3%	5 11.6%	6 14.0%	1 2.3%	0 0.0%	2 4.7%	2 4.7%	0 0.0%	9 20.9%	10 23.3%	4 9.3%	3 7.0%
羽ノ浦地区	38 100.0%	0 0.0%	6 15.8%	10 26.3%	0 0.0%	1 2.6%	3 7.9%	0 0.0%	3 7.9%	6 15.8%	6 15.8%	1 2.6%	2 5.3%
その他	17 100.0%	0 0.0%	3 17.6%	3 17.6%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	2 11.8%	2 11.8%	3 17.6%	0 0.0%	1 5.9%
無回答	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%

設問 内容	① 図書館があることを知らなかった ② 本などを読まない ③ 本などは買って読む ④ 読みたい本などが置かれていない ⑤ 移動図書館車や公民館図書室などで十分である ⑥ 雰囲気が苦手	⑦ 遠い、交通アクセスが悪い ⑧ 利用したい日や時間帯に開いていない ⑨ 他に優先することがある ⑩ 特に理由はない ⑪ その他
----------	--	--

※図書館利用頻度を「過去3年間に1～2回程度」以下と回答した、計367人を対象

[単数回答]

項目 属性	図書館を利用しない理由												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
合計	367 100.0%	3 0.8%	40 10.9%	79 21.5%	18 4.9%	2 0.5%	17 4.6%	23 6.3%	19 5.2%	37 10.1%	88 24.0%	18 4.9%	23 6.3%
5年未満	27 100.0%	3 11.1%	4 14.8%	6 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	3 11.1%	6 22.2%	3 11.1%	1 3.7%
5年以上	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0.0%	3 15.0%	0 0.0%	2 10.0%	3 15.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%
10年未満	49 100.0%	0 0.0%	10 20.4%	7 14.3%	4 8.2%	0 0.0%	3 6.1%	4 8.2%	3 6.1%	5 10.2%	8 16.3%	4 8.2%	1 2.0%
10年以上	265 100.0%	0 0.0%	25 9.4%	59 22.3%	13 4.9%	2 0.8%	11 4.2%	17 6.4%	14 5.3%	25 9.4%	69 26.0%	10 3.8%	20 7.5%
20年未満	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%
20年以上													
無回答													

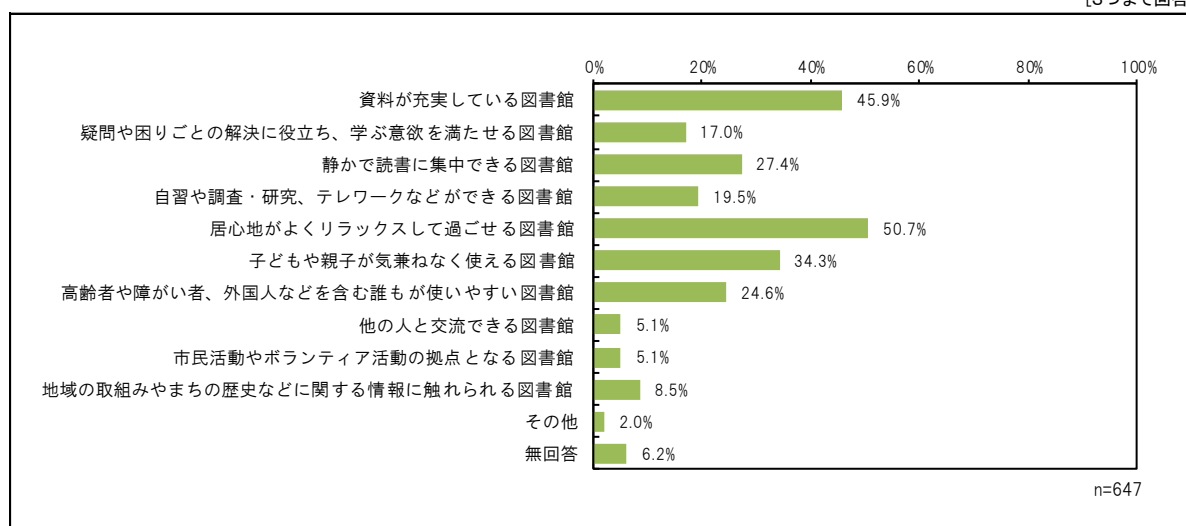
設問 内容	① 図書館があることを知らなかった	⑦ 遠い、交通アクセスが悪い
	② 本などを読まない	⑧ 利用したい日や時間帯に開いていない
	③ 本などは買って読む	⑨ 他に優先することがある
	④ 読みたい本などが置かれていない	⑩ 特に理由はない
	⑤ 移動図書館車や公民館図書室などで十分である	⑪ その他
	⑥ 雰囲気が悪手	

2) 新図書館に期待すること

① 利用面における望ましい図書館像

- 「居心地がよくリラックスして過ごせる図書館」が 50.7%、「資料が充実している図書館」が 45.9%と、それぞれ全体のうち約半数の回答で選ばれている。続いて「子どもや親子が気兼ねなく使える図書館」(34.3%)、「静かで読書に集中できる図書館」(27.4%)、「高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館」(24.6%)の順に回答数が多い。
- 男女別では、男性の回答においては「資料が充実している図書館」と「居心地がよくリラックスして過ごせる図書館」がほぼ同数である一方、女性の回答では「居心地がよくリラックスして過ごせる図書館」の割合が高く、また「子どもや親子が気兼ねなく使える図書館」「高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館」もそれぞれ男性より回答割合が約 10%高い。設問1(2)－1「主な利用目的」で見られた男女別の利用傾向(男性と比べ、女性は貸出利用が多く滞在利用が少ない)とは対照的な結果となっている。

[3つまで回答]



項目	人数	構成比
資料が充実している図書館	297	45.9%
疑問や困りごとの解決に役立ち、学ぶ意欲を満たせる図書館	110	17.0%
静かで読書に集中できる図書館	177	27.4%
自習や調査・研究、テレワークなどができる図書館	126	19.5%
居心地がよくリラックスして過ごせる図書館	328	50.7%
子どもや親子が気兼ねなく使える図書館	222	34.3%
高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館	159	24.6%
他の人と交流できる図書館	33	5.1%
市民活動やボランティア活動の拠点となる図書館	33	5.1%
地域の取組みやまちの歴史などに関する情報に触れられる図書館	55	8.5%
その他	13	2.0%
無回答	40	6.2%
合計	647	100.0%

[3つまで回答]

項目	あなたが「利用したいと思う図書館」												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
合計	647	297	110	177	126	328	222	159	33	33	55	13	40
	100.0%	45.9%	17.0%	27.4%	19.5%	50.7%	34.3%	24.6%	5.1%	5.1%	8.5%	2.0%	6.2%
男性	238	117	49	67	51	115	68	43	11	11	23	7	13
	100.0%	49.2%	20.6%	28.2%	21.4%	48.3%	28.6%	18.1%	4.6%	4.6%	9.7%	2.9%	5.5%
女性	404	179	61	107	74	208	154	114	22	22	32	6	27
	100.0%	44.3%	15.1%	26.5%	18.3%	51.5%	38.1%	28.2%	5.4%	5.4%	7.9%	1.5%	6.7%
答えたくない	3	1	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

設問内容	① 資料が充実している図書館 ② 疑問や困りごとの解決に役立ち、学ぶ意欲を満たせる図書館 ③ 静かで読書に集中できる図書館 ④ 自習や調査・研究、テレワークなどができる図書館 ⑤ 居心地がよくリラックスして過ごせる図書館 ⑥ 子どもや親子が気兼ねなく使える図書館 ⑦ 高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館 ⑧ 他の人と交流できる図書館 ⑨ 市民活動やボランティア活動の拠点となる図書館 ⑩ 地域の取組みやまちの歴史などに関する情報に触れられる図書館 ⑪ その他
------	--

[3つまで回答]

項目	あなたが「利用したいと思う図書館」												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
合計	647	297	110	177	126	328	222	159	33	33	55	13	40
	100.0%	45.9%	17.0%	27.4%	19.5%	50.7%	34.3%	24.6%	5.1%	5.1%	8.5%	2.0%	6.2%
18-22歳	13	9	2	6	6	8	4	2	0	0	0	0	0
	100.0%	69.2%	15.4%	46.2%	46.2%	61.5%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23-29歳	30	13	4	5	7	16	18	1	1	1	1	0	1
	100.0%	43.3%	13.3%	16.7%	23.3%	53.3%	60.0%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%	0.0%	3.3%
30歳代	64	25	13	20	25	30	39	5	0	3	0	2	0
	100.0%	39.1%	20.3%	31.3%	39.1%	46.9%	60.9%	7.8%	0.0%	4.7%	0.0%	3.1%	0.0%
40歳代	92	47	14	27	41	51	35	14	4	2	4	3	2
	100.0%	51.1%	15.2%	29.3%	44.6%	55.4%	38.0%	15.2%	4.3%	2.2%	4.3%	3.3%	2.2%
50歳代	109	52	12	26	23	64	49	22	5	10	7	3	1
	100.0%	47.7%	11.0%	23.9%	21.1%	58.7%	45.0%	20.2%	4.6%	9.2%	6.4%	2.8%	0.9%
60歳代	130	55	26	44	8	76	35	36	8	6	18	3	9
	100.0%	42.3%	20.0%	33.8%	6.2%	58.5%	26.9%	27.7%	6.2%	4.6%	13.8%	2.3%	6.9%
70歳代	128	66	23	30	8	55	24	46	12	9	19	1	14
	100.0%	51.6%	18.0%	23.4%	6.3%	43.0%	18.8%	35.9%	9.4%	7.0%	14.8%	0.8%	10.9%
80歳以上	79	30	16	17	8	26	18	31	3	2	6	1	13
	100.0%	38.0%	20.3%	21.5%	10.1%	32.9%	22.8%	39.2%	3.8%	2.5%	7.6%	1.3%	16.5%
無回答	2	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

設問内容	① 資料が充実している図書館 ② 疑問や困りごとの解決に役立ち、学ぶ意欲を満たせる図書館 ③ 静かで読書に集中できる図書館 ④ 自習や調査・研究、テレワークなどができる図書館 ⑤ 居心地がよくリラックスして過ごせる図書館 ⑥ 子どもや親子が気兼ねなく使える図書館 ⑦ 高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館 ⑧ 他の人と交流できる図書館 ⑨ 市民活動やボランティア活動の拠点となる図書館 ⑩ 地域の取組みやまちの歴史などに関する情報に触れられる図書館 ⑪ その他
------	--

[3つまで回答]

項目	あなたが「利用したいと思う図書館」												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
属性													
合計	647 100.0%	297 45.9%	110 17.0%	177 27.4%	126 19.5%	328 50.7%	222 34.3%	159 24.6%	33 5.1%	33 5.1%	55 8.5%	13 2.0%	40 6.2%
会社員・ 公務員	205 100.0%	101 49.3%	26 12.7%	58 28.3%	66 32.2%	117 57.1%	85 41.5%	30 14.6%	8 3.9%	11 5.4%	9 4.4%	6 2.9%	4 2.0%
農業・漁業	42 100.0%	15 35.7%	13 31.0%	15 35.7%	6 14.3%	19 45.2%	11 26.2%	16 38.1%	3 7.1%	1 2.4%	2 4.8%	2 4.8%	2 4.8%
自営・自由業	46 100.0%	21 45.7%	9 19.6%	18 39.1%	13 28.3%	20 43.5%	14 30.4%	11 23.9%	0 0.0%	2 4.3%	10 21.7%	0 0.0%	2 4.3%
主婦・主夫	98 100.0%	40 40.8%	18 18.4%	24 24.5%	9 9.2%	46 46.9%	36 36.7%	31 31.6%	6 6.1%	6 6.1%	8 8.2%	1 1.0%	10 10.2%
アルバイト・ パート	77 100.0%	36 46.8%	17 22.1%	20 26.0%	12 15.6%	49 63.6%	34 44.2%	18 23.4%	3 3.9%	6 7.8%	5 6.5%	2 2.6%	0 0.0%
無職	159 100.0%	74 46.5%	24 15.1%	34 21.4%	16 10.1%	66 41.5%	36 22.6%	46 28.9%	13 8.2%	6 3.8%	21 13.2%	2 1.3%	20 12.6%
学生	11 100.0%	8 72.7%	2 18.2%	6 54.5%	4 36.4%	6 54.5%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	5 55.6%	3 33.3%	5 55.6%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%

設問 内容	① 資料が充実している図書館 ② 疑問や困りごとの解決に役立ち、学ぶ意欲を満たせる図書館 ③ 静かで読書に集中できる図書館 ④ 自習や調査・研究、テレワークなどができる図書館 ⑤ 居心地がよくリラックスして過ごせる図書館 ⑥ 子どもや親子が気兼ねなく使える図書館 ⑦ 高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館 ⑧ 他の人と交流できる図書館 ⑨ 市民活動やボランティア活動の拠点となる図書館 ⑩ 地域の取組みやまちの歴史などに関する情報に触れられる図書館 ⑪ その他
----------	--

[3つまで回答]

項目	あなたが「利用したいと思う図書館」												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
属性													
合計	647 100.0%	297 45.9%	110 17.0%	177 27.4%	126 19.5%	328 50.7%	222 34.3%	159 24.6%	33 5.1%	33 5.1%	55 8.5%	13 2.0%	40 6.2%
ひとり暮らし	67 100.0%	34 50.7%	12 17.9%	16 23.9%	8 11.9%	32 47.8%	12 17.9%	23 34.3%	1 1.5%	2 3.0%	6 9.0%	1 1.5%	7 10.4%
夫婦のみ	164 100.0%	67 40.9%	30 18.3%	43 26.2%	22 13.4%	84 51.2%	51 31.1%	50 30.5%	11 6.7%	9 5.5%	13 7.9%	3 1.8%	15 9.1%
親・子 (成人)	203 100.0%	102 50.2%	32 15.8%	64 31.5%	37 18.2%	111 54.7%	48 23.6%	51 25.1%	16 7.9%	12 5.9%	24 11.8%	4 2.0%	7 3.4%
親・子 (未成年)	127 100.0%	58 45.7%	24 18.9%	30 23.6%	40 31.5%	64 50.4%	80 63.0%	13 10.2%	0 0.0%	5 3.9%	2 1.6%	3 2.4%	3 2.4%
親・子・孫	60 100.0%	26 43.3%	8 13.3%	16 26.7%	15 25.0%	25 41.7%	24 40.0%	14 23.3%	2 3.3%	4 6.7%	9 15.0%	1 1.7%	5 8.3%
その他	18 100.0%	7 38.9%	3 16.7%	4 22.2%	2 11.1%	8 44.4%	5 27.8%	6 33.3%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%
無回答	8 100.0%	3 37.5%	1 12.5%	4 50.0%	2 25.0%	4 50.0%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%

設問 内容	① 資料が充実している図書館 ② 疑問や困りごとの解決に役立ち、学ぶ意欲を満たせる図書館 ③ 静かで読書に集中できる図書館 ④ 自習や調査・研究、テレワークなどができる図書館 ⑤ 居心地がよくリラックスして過ごせる図書館 ⑥ 子どもや親子が気兼ねなく使える図書館 ⑦ 高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館 ⑧ 他の人と交流できる図書館 ⑨ 市民活動やボランティア活動の拠点となる図書館 ⑩ 地域の取組みやまちの歴史などに関する情報に触れられる図書館 ⑪ その他
----------	--

項目	あなたが「利用したいと思う図書館」												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
合計	647	297	110	177	126	328	222	159	33	33	55	13	40
	100.0%	45.9%	17.0%	27.4%	19.5%	50.7%	34.3%	24.6%	5.1%	5.1%	8.5%	2.0%	6.2%
富岡地区	118	62	22	30	23	66	40	23	3	6	12	3	7
	100.0%	52.5%	18.6%	25.4%	19.5%	55.9%	33.9%	19.5%	2.5%	5.1%	10.2%	2.5%	5.9%
宝田地区	26	14	3	4	7	15	11	7	2	2	0	0	2
	100.0%	53.8%	11.5%	15.4%	26.9%	57.7%	42.3%	26.9%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%
中野島地区	32	19	4	8	5	15	12	11	6	2	2	2	0
	100.0%	59.4%	12.5%	25.0%	15.6%	46.9%	37.5%	34.4%	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%
長生地区	20	7	7	3	2	10	9	7	0	1	5	0	1
	100.0%	35.0%	35.0%	15.0%	10.0%	50.0%	45.0%	35.0%	0.0%	5.0%	25.0%	0.0%	5.0%
大野地区	13	4	3	4	1	5	1	3	1	1	1	0	2
	100.0%	30.8%	23.1%	30.8%	7.7%	38.5%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%
加茂谷地区	21	10	4	8	3	11	8	5	1	2	3	0	1
	100.0%	47.6%	19.0%	38.1%	14.3%	52.4%	38.1%	23.8%	4.8%	9.5%	14.3%	0.0%	4.8%
桑野地区	38	24	5	13	8	16	9	8	0	1	1	0	1
	100.0%	63.2%	13.2%	34.2%	21.1%	42.1%	23.7%	21.1%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	2.6%
見能林地区	98	40	16	28	16	54	38	26	3	4	11	3	3
	100.0%	40.8%	16.3%	28.6%	16.3%	55.1%	38.8%	26.5%	3.1%	4.1%	11.2%	3.1%	3.1%
新野地区	32	18	6	11	2	19	13	10	6	1	2	1	0
	100.0%	56.3%	18.8%	34.4%	6.3%	59.4%	40.6%	31.3%	18.8%	3.1%	6.3%	3.1%	0.0%
福井地区	18	4	2	5	1	10	3	4	1	1	3	1	2
	100.0%	22.2%	11.1%	27.8%	5.6%	55.6%	16.7%	22.2%	5.6%	5.6%	16.7%	5.6%	11.1%
椿地区	9	5	1	2	2	5	3	3	0	0	1	0	1
	100.0%	55.6%	11.1%	22.2%	22.2%	55.6%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%
伊島地区	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
橘地区	19	10	4	8	4	7	3	3	0	0	2	0	3
	100.0%	52.6%	21.1%	42.1%	21.1%	36.8%	15.8%	15.8%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	15.8%
那賀川地区	85	33	12	22	21	33	30	20	6	4	7	2	8
	100.0%	38.8%	14.1%	25.9%	24.7%	38.8%	35.3%	23.5%	7.1%	4.7%	8.2%	2.4%	9.4%
羽ノ浦地区	85	35	13	21	24	46	28	22	3	8	3	1	5
	100.0%	41.2%	15.3%	24.7%	28.2%	54.1%	32.9%	25.9%	3.5%	9.4%	3.5%	1.2%	5.9%
その他	24	9	7	6	6	11	12	3	1	0	1	0	2
	100.0%	37.5%	29.2%	25.0%	25.0%	45.8%	50.0%	12.5%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	8.3%
無回答	8	2	1	4	1	4	2	3	0	0	1	0	2
	100.0%	25.0%	12.5%	50.0%	12.5%	50.0%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%

設問内容	① 資料が充実している図書館 ② 疑問や困りごとの解決に役立ち、学ぶ意欲を満たせる図書館 ③ 静かで読書に集中できる図書館 ④ 自習や調査・研究、テレワークなどができる図書館 ⑤ 居心地がよくリラックスして過ごせる図書館 ⑥ 子どもや親子が気兼ねなく使える図書館 ⑦ 高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館 ⑧ 他の人と交流できる図書館 ⑨ 市民活動やボランティア活動の拠点となる図書館 ⑩ 地域の取組みやまちの歴史などに関する情報に触れられる図書館 ⑪ その他
------	--

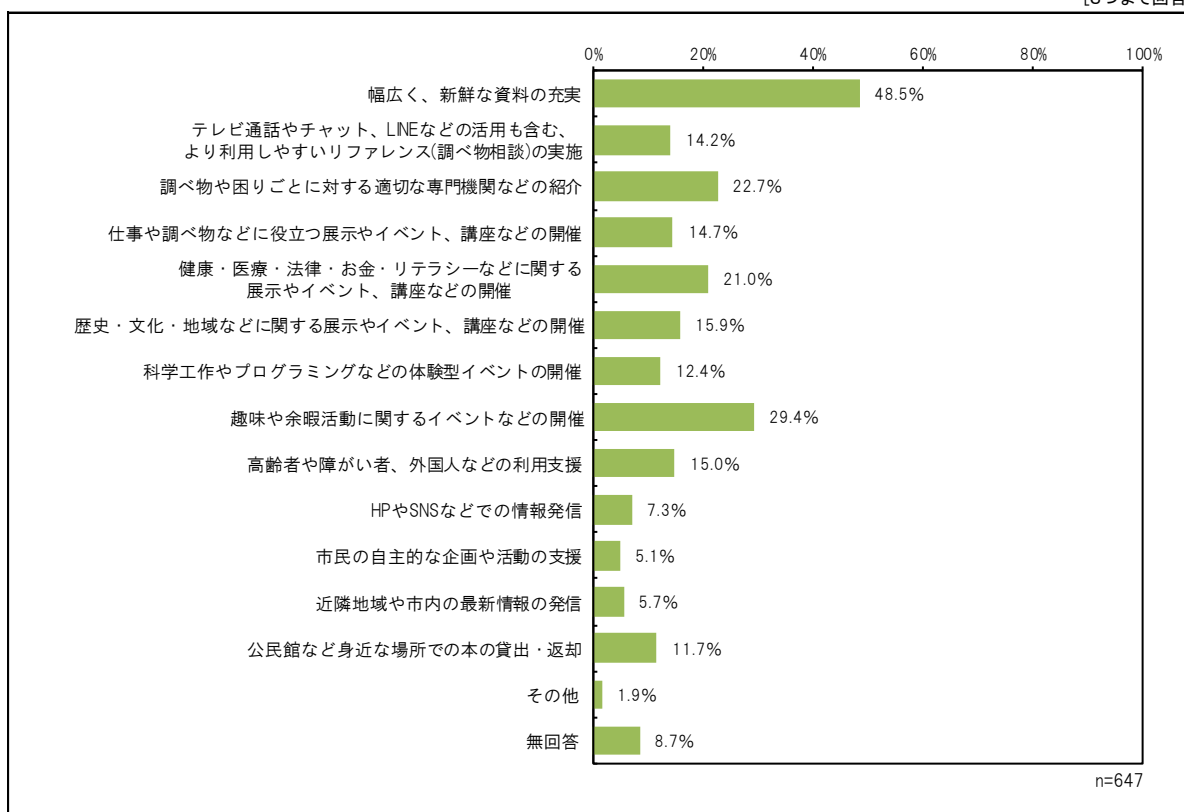
項目 属性	あなたが「利用したいと思う図書館」												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
合計	647 100.0%	297 45.9%	110 17.0%	177 27.4%	126 19.5%	328 50.7%	222 34.3%	159 24.6%	33 5.1%	33 5.1%	55 8.5%	13 2.0%	40 6.2%
5年未満	58 100.0%	26 44.8%	8 13.8%	16 27.6%	15 25.9%	29 50.0%	30 51.7%	5 8.6%	0 0.0%	3 5.2%	1 1.7%	1 1.7%	2 3.4%
5年以上 10年未満	47 100.0%	26 55.3%	16 34.0%	12 25.5%	13 27.7%	25 53.2%	20 42.6%	10 21.3%	2 4.3%	3 6.4%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%
10年以上 20年未満	101 100.0%	51 50.5%	14 13.9%	32 31.7%	37 36.6%	49 48.5%	42 41.6%	18 17.8%	3 3.0%	6 5.9%	5 5.0%	4 4.0%	2 2.0%
20年以上	434 100.0%	194 44.7%	72 16.6%	115 26.5%	61 14.1%	223 51.4%	129 29.7%	123 28.3%	28 6.5%	20 4.6%	48 11.1%	8 1.8%	32 7.4%
無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%

設問 内容	① 資料が充実している図書館 ② 疑問や困りごとの解決に役立ち、学ぶ意欲を満たせる図書館 ③ 静かで読書に集中できる図書館 ④ 自習や調査・研究、テレワークなどができる図書館 ⑤ 居心地がよくリラックスして過ごせる図書館 ⑥ 子どもや親子が気兼ねなく使える図書館 ⑦ 高齢者や障がい者、外国人などを含む誰もが使いやすい図書館 ⑧ 他の人と交流できる図書館 ⑨ 市民活動やボランティア活動の拠点となる図書館 ⑩ 地域の取り組みやまちの歴史などに関する情報に触れられる図書館 ⑪ その他
----------	---

② 特に充実を望むサービス・機能

- 「幅広く、新鮮な資料の充実」が最多で、約半数(48.5%)の回答者から選択された。続いて「趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催」(29.4%)、「調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介」(22.7%)の順に多く、また、他の選択肢も幅広く選ばれている。
- 各種展示やイベント、講座等に関する選択肢について男女別で見ると、男性では「趣味や余暇活動に関するもの」(23.9%)、「歴史・文化・地域などに関するもの」(19.3%)、「健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関するもの」(18.9%)が、女性では「趣味や余暇活動に関するもの」(32.4%)、「健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関するもの」(22.0%)が高かった。また、「科学工作やプログラミングなどの体験型イベント」は男性よりも女性の回答比率が高かった(男性 10.9%、女性 13.1%)。
- 職業別で見ると、会社員・公務員およびパート・アルバイトでは「趣味や余暇活動に関するもの」、農業・漁業従事者では「より利用しやすいリファレンス」「適切な専門機関の紹介」、自営業・自由業および学生では「適切な専門機関の紹介」の回答比率が高い。

[3つまで回答]



項目	人数	構成比
幅広く、新鮮な資料の充実	314	48.5%
テレビ通話やチャット、LINEなどの活用も含む、より利用しやすいリファレンス(調べ物相談)の実施	92	14.2%
調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介	147	22.7%
仕事や調べ物などに役立つ展示やイベント、講座などの開催	95	14.7%
健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関する展示やイベント、講座などの開催	136	21.0%
歴史・文化・地域などに関する展示やイベント、講座などの開催	103	15.9%
科学工作やプログラミングなどの体験型イベントの開催	80	12.4%
趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催	190	29.4%
高齢者や障がい者、外国人などの利用支援	97	15.0%
HPやSNSなどでの情報発信	47	7.3%
市民の自主的な企画や活動の支援	33	5.1%
近隣地域や市内の最新情報の発信	37	5.7%
公民館など身近な場所での本の貸出・返却	76	11.7%
その他	12	1.9%
無回答	56	8.7%
合計	647	100.0%

「その他」の内容

項目	人数
電子図書の充実	3
子供と一緒に参加できるイベント	2
子供の利用しやすい図書館	1
全く別のジャンルの融合	1
子供向けのコンテンツ	1
人気のあるものは回転率を上げて欲しい	1
マンガ以外の子供向け書籍	1
英語絵本を置いてほしい	1
羽ノ浦でやっているようなカルチャースクール	1

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしいサービスや機能															
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答
合計	647	314	92	147	95	136	103	80	190	97	47	33	37	76	12	56
	100.0%	48.5%	14.2%	22.7%	14.7%	21.0%	15.9%	12.4%	29.4%	15.0%	7.3%	5.1%	5.7%	11.7%	1.9%	8.7%
男性	238	112	40	58	39	45	46	26	57	37	16	11	16	29	4	18
	100.0%	47.1%	16.8%	24.4%	16.4%	18.9%	19.3%	10.9%	23.9%	15.5%	6.7%	4.6%	6.7%	12.2%	1.7%	7.6%
女性	404	200	52	87	55	89	57	53	131	58	31	22	21	47	8	37
	100.0%	49.5%	12.9%	21.5%	13.6%	22.0%	14.1%	13.1%	32.4%	14.4%	7.7%	5.4%	5.2%	11.6%	2.0%	9.2%
答えたくない	3	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	1	0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

設問内容	① 幅広く、新鮮な資料の充実	⑧ 趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催
	② テレビ通話やチャット、LINEなどの活用も含む、より利用しやすいリファレンス(調べ物相談)の実施	⑨ 高齢者や障がい者、外国人などの利用支援
	③ 調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介	⑩ HPやSNSなどでの情報発信
	④ 仕事や調べ物などに役立つ展示やイベント、講座などの開催	⑪ 市民の自主的な企画や活動の支援
	⑤ 健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関する展示やイベント、講座などの開催	⑫ 近隣地域や市内の最新情報の発信
	⑥ 歴史・文化・地域などに関する展示やイベント、講座などの開催	⑬ 公民館など身近な場所での本の貸出・返却
	⑦ 科学工作やプログラミングなどの体験型イベントの開催	⑭ その他

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしいサービスや機能															
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答
合計	647	314	92	147	95	136	103	80	190	97	47	33	37	76	12	56
	100.0%	48.5%	14.2%	22.7%	14.7%	21.0%	15.9%	12.4%	29.4%	15.0%	7.3%	5.1%	5.7%	11.7%	1.9%	8.7%
18-22歳	13	9	3	4	0	1	3	2	4	3	2	0	0	1	0	0
	100.0%	69.2%	23.1%	30.8%	0.0%	7.7%	23.1%	15.4%	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%
23-29歳	30	15	3	6	6	4	1	6	9	0	6	1	2	3	1	2
	100.0%	50.0%	10.0%	20.0%	20.0%	13.3%	3.3%	20.0%	30.0%	0.0%	20.0%	3.3%	6.7%	10.0%	3.3%	6.7%
30歳代	64	28	10	9	10	12	7	18	22	4	11	5	2	7	4	2
	100.0%	43.8%	15.6%	14.1%	15.6%	18.8%	10.9%	28.1%	34.4%	6.3%	17.2%	7.8%	3.1%	10.9%	6.3%	3.1%
40歳代	92	44	17	17	21	15	14	21	31	9	8	4	5	15	2	3
	100.0%	47.8%	18.5%	18.5%	22.8%	16.3%	15.2%	22.8%	33.7%	9.8%	8.7%	4.3%	5.4%	16.3%	2.2%	3.3%
50歳代	109	60	21	33	18	22	11	17	34	11	9	8	4	9	4	2
	100.0%	55.0%	19.3%	30.3%	16.5%	20.2%	10.1%	15.6%	31.2%	10.1%	8.3%	7.3%	3.7%	8.3%	3.7%	1.8%
60歳代	130	71	17	28	15	32	23	8	49	22	4	9	10	16	1	11
	100.0%	54.6%	13.1%	21.5%	11.5%	24.6%	17.7%	6.2%	37.7%	16.9%	3.1%	6.9%	7.7%	12.3%	0.8%	8.5%
70歳代	128	63	9	30	15	35	27	4	29	28	2	5	9	14	0	17
	100.0%	49.2%	7.0%	23.4%	11.7%	27.3%	21.1%	3.1%	22.7%	21.9%	1.6%	3.9%	7.0%	10.9%	0.0%	13.3%
80歳以上	79	23	12	19	10	14	17	4	10	19	5	1	5	11	0	19
	100.0%	29.1%	15.2%	24.1%	12.7%	17.7%	21.5%	5.1%	12.7%	24.1%	6.3%	1.3%	6.3%	13.9%	0.0%	24.1%
無回答	2	1	0	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

設問内容	① 幅広く、新鮮な資料の充実	⑧ 趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催
	② テレビ通話やチャット、LINEなどの活用も含む、より利用しやすいリファレンス(調べ物相談)の実施	⑨ 高齢者や障がい者、外国人などの利用支援
	③ 調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介	⑩ HPやSNSなどでの情報発信
	④ 仕事や調べ物などに役立つ展示やイベント、講座などの開催	⑪ 市民の自主的な企画や活動の支援
	⑤ 健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関する展示やイベント、講座などの開催	⑫ 近隣地域や市内の最新情報の発信
	⑥ 歴史・文化・地域などに関する展示やイベント、講座などの開催	⑬ 公民館など身近な場所での本の貸出・返却
	⑦ 科学工作やプログラミングなどの体験型イベントの開催	⑭ その他

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしいサービスや機能															
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答
合計	647	314	92	147	95	136	103	80	190	97	47	33	37	76	12	56
	100.0%	48.5%	14.2%	22.7%	14.7%	21.0%	15.9%	12.4%	29.4%	15.0%	7.3%	5.1%	5.7%	11.7%	1.9%	8.7%
会社員・公務員	205	107	32	43	37	45	29	41	74	19	17	10	7	25	6	7
	100.0%	52.2%	15.6%	21.0%	18.0%	22.0%	14.1%	20.0%	36.1%	9.3%	8.3%	4.9%	3.4%	12.2%	2.9%	3.4%
農業・漁業	42	19	11	12	9	5	5	2	8	8	3	1	2	8	2	3
	100.0%	45.2%	26.2%	28.6%	21.4%	11.9%	11.9%	4.8%	19.0%	19.0%	7.1%	2.4%	4.8%	19.0%	4.8%	7.1%
自営・自由業	46	27	6	13	3	9	12	4	10	5	5	5	3	5	1	2
	100.0%	58.7%	13.0%	28.3%	6.5%	19.6%	26.1%	8.7%	21.7%	10.9%	10.9%	10.9%	6.5%	10.9%	2.2%	4.3%
主婦・主夫	98	51	8	22	12	25	11	15	31	13	8	2	6	8	2	13
	100.0%	52.0%	8.2%	22.4%	12.2%	25.5%	11.2%	15.3%	31.6%	13.3%	8.2%	2.0%	6.1%	8.2%	2.0%	13.3%
アルバイト・パート	77	31	17	20	14	17	11	11	27	11	8	10	7	9	1	4
	100.0%	40.3%	22.1%	26.0%	18.2%	22.1%	14.3%	14.3%	35.1%	14.3%	10.4%	13.0%	9.1%	11.7%	1.3%	5.2%
無職	159	69	15	31	18	32	32	5	35	36	4	4	12	20	0	25
	100.0%	43.4%	9.4%	19.5%	11.3%	20.1%	20.1%	3.1%	22.0%	22.6%	2.5%	2.5%	7.5%	12.6%	0.0%	15.7%
学生	11	8	2	4	0	1	2	1	3	2	2	0	0	1	0	0
	100.0%	72.7%	18.2%	36.4%	0.0%	9.1%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
無回答	9	2	1	2	2	2	1	1	2	3	0	1	0	0	0	2
	100.0%	22.2%	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%

設問内容	① 幅広く、新鮮な資料の充実 ② テレビ通話やチャット、LINE などの活用も含む、より利用しやすいリファレンス(調べ物相談)の実施 ③ 調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介 ④ 仕事や調べ物などに役立つ展示やイベント、講座などの開催 ⑤ 健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関する展示やイベント、講座などの開催 ⑥ 歴史・文化・地域などに関する展示やイベント、講座などの開催 ⑦ 科学工作やプログラミングなどの体験型イベントの開催	⑧ 趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催 ⑨ 高齢者や障がい者、外国人などの利用支援 ⑩ HP や SNS などでの情報発信 ⑪ 市民の自主的な企画や活動の支援 ⑫ 近隣地域や市内の最新情報の発信 ⑬ 公民館など身近な場所での本の貸出・返却 ⑭ その他
------	--	--

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしいサービスや機能															
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答
合計	647	314	92	147	95	136	103	80	190	97	47	33	37	76	12	56
	100.0%	48.5%	14.2%	22.7%	14.7%	21.0%	15.9%	12.4%	29.4%	15.0%	7.3%	5.1%	5.7%	11.7%	1.9%	8.7%
ひとり暮らし	67	28	13	19	4	22	11	5	10	10	2	4	3	9	0	10
	100.0%	41.8%	19.4%	28.4%	6.0%	32.8%	16.4%	7.5%	14.9%	14.9%	3.0%	6.0%	4.5%	13.4%	0.0%	14.9%
夫婦のみ	164	86	20	39	19	43	22	16	57	23	12	9	9	18	2	16
	100.0%	52.4%	12.2%	23.8%	11.6%	26.2%	13.4%	9.8%	34.8%	14.0%	7.3%	5.5%	5.5%	11.0%	1.2%	9.8%
親・子(成人)	203	98	29	51	35	34	42	19	61	40	17	8	18	22	1	14
	100.0%	48.3%	14.3%	25.1%	17.2%	16.7%	20.7%	9.4%	30.0%	19.7%	8.4%	3.9%	8.9%	10.8%	0.5%	6.9%
親・子(未成年)	127	58	20	22	20	23	16	31	40	10	13	5	3	14	8	5
	100.0%	45.7%	15.7%	17.3%	15.7%	18.1%	12.6%	24.4%	31.5%	7.9%	10.2%	3.9%	2.4%	11.0%	6.3%	3.9%
親・子・孫	60	31	9	11	12	9	10	7	13	8	3	5	4	11	1	7
	100.0%	51.7%	15.0%	18.3%	20.0%	15.0%	16.7%	11.7%	21.7%	13.3%	5.0%	8.3%	6.7%	18.3%	1.7%	11.7%
その他	18	9	0	3	4	3	2	0	6	4	0	2	0	2	0	3
	100.0%	50.0%	0.0%	16.7%	22.2%	16.7%	11.1%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	16.7%
無回答	8	4	1	2	1	2	0	2	3	2	0	0	0	0	0	1
	100.0%	50.0%	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%	25.0%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%

設問内容	① 幅広く、新鮮な資料の充実 ② テレビ通話やチャット、LINE などの活用も含む、より利用しやすいリファレンス(調べ物相談)の実施 ③ 調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介 ④ 仕事や調べ物などに役立つ展示やイベント、講座などの開催 ⑤ 健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関する展示やイベント、講座などの開催 ⑥ 歴史・文化・地域などに関する展示やイベント、講座などの開催 ⑦ 科学工作やプログラミングなどの体験型イベントの開催	⑧ 趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催 ⑨ 高齢者や障がい者、外国人などの利用支援 ⑩ HP や SNS などでの情報発信 ⑪ 市民の自主的な企画や活動の支援 ⑫ 近隣地域や市内の最新情報の発信 ⑬ 公民館など身近な場所での本の貸出・返却 ⑭ その他
------	--	--

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしいサービスや機能															
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答
合計	647	314	92	147	95	136	103	80	190	97	47	33	37	76	12	56
	100.0%	48.5%	14.2%	22.7%	14.7%	21.0%	15.9%	12.4%	29.4%	15.0%	7.3%	5.1%	5.7%	11.7%	1.9%	8.7%
富岡地区	118	59	16	24	13	22	22	17	36	17	10	8	4	11	4	10
	100.0%	50.0%	13.6%	20.3%	11.0%	18.6%	18.6%	14.4%	30.5%	14.4%	8.5%	6.8%	3.4%	9.3%	3.4%	8.5%
宝田地区	26	13	5	3	4	6	3	5	9	4	2	2	1	3	0	4
	100.0%	50.0%	19.2%	11.5%	15.4%	23.1%	11.5%	19.2%	34.6%	15.4%	7.7%	7.7%	3.8%	11.5%	0.0%	15.4%
中野島地区	32	21	3	7	6	4	7	2	13	6	1	0	2	4	3	1
	100.0%	65.6%	9.4%	21.9%	18.8%	12.5%	21.9%	6.3%	40.6%	18.8%	3.1%	0.0%	6.3%	12.5%	9.4%	3.1%
長生地区	20	4	3	9	5	5	4	2	4	4	0	0	1	5	0	1
	100.0%	20.0%	15.0%	45.0%	25.0%	25.0%	20.0%	10.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	5.0%	25.0%	0.0%	5.0%
大野地区	13	4	1	3	3	3	1	1	2	1	0	0	2	1	0	2
	100.0%	30.8%	7.7%	23.1%	23.1%	23.1%	7.7%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	15.4%
加茂谷地区	21	13	4	7	4	3	2	2	8	6	2	2	1	5	0	1
	100.0%	61.9%	19.0%	33.3%	19.0%	14.3%	9.5%	9.5%	38.1%	28.6%	9.5%	0.0%	4.8%	23.8%	0.0%	4.8%
桑野地区	38	21	6	7	6	8	6	6	10	3	4	0	3	9	1	0
	100.0%	55.3%	15.8%	18.4%	15.8%	21.1%	15.8%	15.8%	26.3%	7.9%	10.5%	0.0%	7.9%	23.7%	2.6%	0.0%
見能林地区	98	40	15	27	13	28	14	12	26	17	10	8	7	6	3	4
	100.0%	40.8%	15.3%	27.6%	13.3%	28.6%	14.3%	12.2%	26.5%	17.3%	10.2%	8.2%	7.1%	6.1%	3.1%	4.1%
新野地区	32	20	7	7	1	4	4	2	13	2	5	1	1	10	0	3
	100.0%	62.5%	21.9%	21.9%	3.1%	12.5%	12.5%	6.3%	40.6%	6.3%	15.6%	3.1%	3.1%	31.3%	0.0%	9.4%
福井地区	18	5	3	5	3	3	2	2	6	2	1	1	1	3	0	4
	100.0%	27.8%	16.7%	27.8%	16.7%	16.7%	11.1%	11.1%	33.3%	11.1%	5.6%	5.6%	5.6%	16.7%	0.0%	22.2%
椿地区	9	3	2	2	2	3	4	0	1	3	0	0	1	0	0	1
	100.0%	33.3%	22.2%	22.2%	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
伊島地区	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
橘地区	19	12	2	2	4	4	4	0	4	3	2	2	1	3	1	3
	100.0%	63.2%	10.5%	10.5%	21.1%	21.1%	21.1%	0.0%	21.1%	15.8%	10.5%	10.5%	5.3%	15.8%	5.3%	15.8%
那賀川地区	85	43	10	19	14	15	12	10	23	17	3	3	8	6	0	11
	100.0%	50.6%	11.8%	22.4%	16.5%	17.6%	14.1%	11.8%	27.1%	20.0%	3.5%	3.5%	9.4%	7.1%	0.0%	12.9%
羽ノ浦地区	85	42	13	17	12	19	13	16	26	9	4	7	3	8	0	6
	100.0%	49.4%	15.3%	20.0%	14.1%	22.4%	15.3%	18.8%	30.6%	10.6%	4.7%	8.2%	3.5%	9.4%	0.0%	7.1%
その他	24	11	1	7	4	7	3	3	6	2	2	1	1	1	0	3
	100.0%	45.8%	4.2%	29.2%	16.7%	29.2%	12.5%	12.5%	25.0%	8.3%	8.3%	4.2%	4.2%	4.2%	0.0%	12.5%
無回答	8	2	1	1	1	2	1	0	3	1	1	0	0	1	0	2
	100.0%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%

設問内容	① 幅広く、新鮮な資料の充実	⑧ 趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催
	② テレビ通話やチャット、LINEなどの活用も含む、より利用しやすいリファレンス(調べ物相談)の実施	⑨ 高齢者や障がい者、外国人などの利用支援
	③ 調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介	⑩ HPやSNSなどでの情報発信
	④ 仕事や調べ物などに役立つ展示やイベント、講座などの開催	⑪ 市民の自主的な企画や活動の支援
	⑤ 健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関する展示やイベント、講座などの開催	⑫ 近隣地域や市内の最新情報の発信
	⑥ 歴史・文化・地域などに関する展示やイベント、講座などの開催	⑬ 公民館など身近な場所での本の貸出・返却
	⑦ 科学工作やプログラミングなどの体験型イベントの開催	⑭ その他

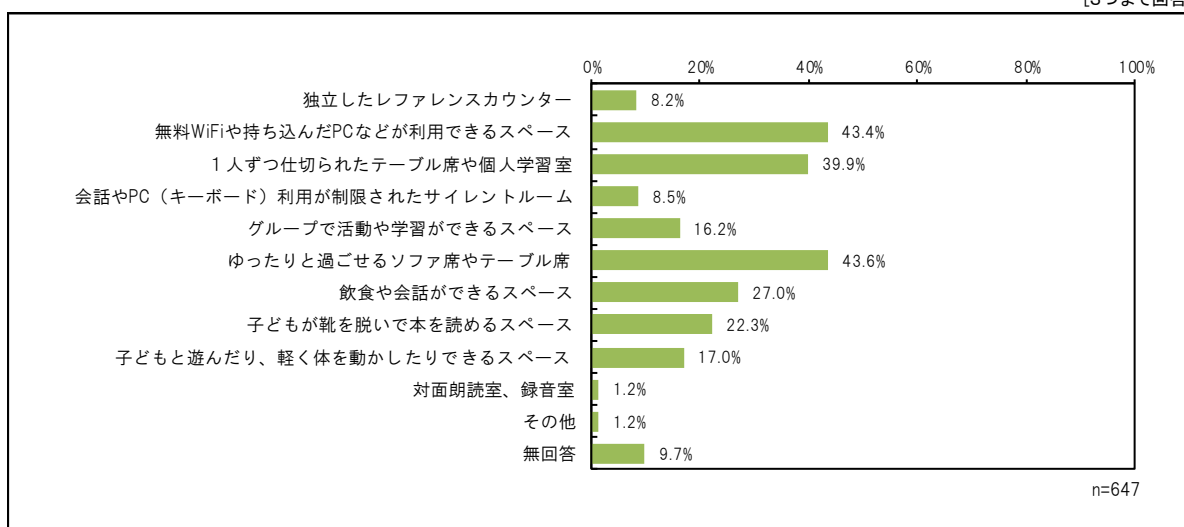
項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしいサービスや機能															
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答
合計	647	314	92	147	95	136	103	80	190	97	47	33	37	76	12	56
	100.0%	48.5%	14.2%	22.7%	14.7%	21.0%	15.9%	12.4%	29.4%	15.0%	7.3%	5.1%	5.7%	11.7%	1.9%	8.7%
5年未満	58	29	9	15	10	13	6	9	20	2	7	5	2	5	4	3
	100.0%	50.0%	15.5%	25.9%	17.2%	22.4%	10.3%	15.5%	34.5%	3.4%	12.1%	8.6%	3.4%	8.6%	6.9%	5.2%
5年以上	47	24	6	9	9	13	4	10	12	7	8	3	2	5	0	3
	100.0%	51.1%	12.8%	19.1%	19.1%	27.7%	8.5%	21.3%	25.5%	14.9%	17.0%	6.4%	4.3%	10.6%	0.0%	6.4%
10年以上	101	48	18	27	15	22	16	19	33	8	5	3	4	14	3	3
	100.0%	47.5%	17.8%	26.7%	14.9%	21.8%	15.8%	18.8%	32.7%	7.9%	5.0%	3.0%	4.0%	13.9%	3.0%	3.0%
20年以上	434	212	59	95	61	87	76	42	123	78	27	21	29	51	5	44
	100.0%	48.8%	13.6%	21.9%	14.1%	20.0%	17.5%	9.7%	28.3%	18.0%	6.2%	4.8%	6.7%	11.8%	1.2%	10.1%
無回答	7	1	0	1	0	1	1	0	2	2	0	1	0	1	0	3
	100.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	42.9%

設問内容	① 幅広く、新鮮な資料の充実	⑧ 趣味や余暇活動に関するイベントなどの開催
	② テレビ通話やチャット、LINEなどの活用も含む、より利用しやすいリファレンス(調べ物相談)の実施	⑨ 高齢者や障がい者、外国人などの利用支援
	③ 調べ物や困りごとに対する適切な専門機関などの紹介	⑩ HPやSNSなどでの情報発信
	④ 仕事や調べ物などに役立つ展示やイベント、講座などの開催	⑪ 市民の自主的な企画や活動の支援
	⑤ 健康・医療・法律・お金・リテラシーなどに関する展示やイベント、講座などの開催	⑫ 近隣地域や市内の最新情報の発信
	⑥ 歴史・文化・地域などに関する展示やイベント、講座などの開催	⑬ 公民館など身近な場所での本の貸出・返却
	⑦ 科学工作やプログラミングなどの体験型イベントの開催	⑭ その他

③ 特に充実を望む施設空間・設備

- 「ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席」(43.6%)、「無料WiFiや持ち込んだPCなどが利用できるスペース」(43.4%)、「1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室」(39.9%)の順に回答が多かった。
- 年代別では、18-22歳と30~50歳代で「無料WiFiや持ち込んだPCなどが利用できるスペース」が最も回答比率が高かった。特に18-22歳では92.3%と非常に高い割合で当該項目が選ばれている。他の23-29歳と60歳以上の年代では、「ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席」がいずれも最多であった。

[3つまで回答]



項目	人数	構成比
独立したレファレンスカウンター	53	8.2%
無料WiFiや持ち込んだPCなどが利用できるスペース	281	43.4%
1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室	258	39.9%
会話やPC(キーボード)利用が制限されたサイレントルーム	55	8.5%
グループで活動や学習ができるスペース	105	16.2%
ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席	282	43.6%
飲食や会話ができるスペース	175	27.0%
子どもが靴を脱いで本を読めるスペース	144	22.3%
子どもと遊んだり、軽く体を動かしたりできるスペース	110	17.0%
対面朗読室、録音室	8	1.2%
その他	8	1.2%
無回答	63	9.7%
合計	647	100.0%

「その他」の内容

項目	人数
静かであること	2
ギャラリーや展示室	2
仮眠が取れる場所	1
施設空間は人により異なる。何かを見つけ、生かせるかが重要	1
子供用トイレ、おむつかえコーナー	1
学童保育	1

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい施設空間や設備												
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
合計	647	53	281	258	55	105	282	175	144	110	8	8	63
	100.0%	8.2%	43.4%	39.9%	8.5%	16.2%	43.6%	27.0%	22.3%	17.0%	1.2%	1.2%	9.7%
男性	238	17	127	89	27	35	99	69	35	35	3	3	20
	100.0%	7.1%	53.4%	37.4%	11.3%	14.7%	41.6%	29.0%	14.7%	14.7%	1.3%	1.3%	8.4%
女性	404	36	151	167	28	70	181	102	109	74	5	5	43
	100.0%	8.9%	37.4%	41.3%	6.9%	17.3%	44.8%	25.2%	27.0%	18.3%	1.2%	1.2%	10.6%
答えたくない	3	0	2	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

設問内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 独立したレファレンスカウンター ② 無料 WiFi や持ち込んだ PC などが利用できるスペース ③ 1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室 ④ 会話や PC(キーボード)利用が制限されたサイレントルーム ⑤ グループで活動や学習ができるスペース ⑥ ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席 ⑦ 飲食や会話ができるスペース ⑧ 子どもが靴を脱いで本を読めるスペース ⑨ 子どもと遊んだり、軽く体を動かしたりできるスペース ⑩ 対面朗読室、録音室 ⑪ その他
------	---

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい施設空間や設備												
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
合計	647	53	281	258	55	105	282	175	144	110	8	8	63
	100.0%	8.2%	43.4%	39.9%	8.5%	16.2%	43.6%	27.0%	22.3%	17.0%	1.2%	1.2%	9.7%
18-22歳	13	0	12	7	1	1	5	6	2	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	92.3%	53.8%	7.7%	7.7%	38.5%	46.2%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
23-29歳	30	2	13	14	0	1	15	11	9	13	0	0	1
	100.0%	6.7%	43.3%	46.7%	0.0%	3.3%	50.0%	36.7%	30.0%	43.3%	0.0%	0.0%	3.3%
30歳代	64	6	35	31	9	6	19	17	27	22	0	1	1
	100.0%	9.4%	54.7%	48.4%	14.1%	9.4%	29.7%	26.6%	42.2%	34.4%	0.0%	1.6%	1.6%
40歳代	92	9	59	49	12	20	37	33	14	13	1	1	2
	100.0%	9.8%	64.1%	53.3%	13.0%	21.7%	40.2%	35.9%	15.2%	14.1%	1.1%	1.1%	2.2%
50歳代	109	9	67	49	12	16	47	23	26	18	1	1	3
	100.0%	8.3%	61.5%	45.0%	11.0%	14.7%	43.1%	21.1%	23.9%	16.5%	0.9%	0.9%	2.8%
60歳代	130	16	49	46	10	16	66	39	33	20	0	2	10
	100.0%	12.3%	37.7%	35.4%	7.7%	12.3%	50.8%	30.0%	25.4%	15.4%	0.0%	1.5%	7.7%
70歳代	128	6	31	37	7	30	62	34	20	12	3	3	22
	100.0%	4.7%	24.2%	28.9%	5.5%	23.4%	48.4%	26.6%	15.6%	9.4%	2.3%	2.3%	17.2%
80歳以上	79	5	14	24	4	15	29	10	13	10	3	0	24
	100.0%	6.3%	17.7%	30.4%	5.1%	19.0%	36.7%	12.7%	16.5%	12.7%	3.8%	0.0%	30.4%
無回答	2	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

設問内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 独立したレファレンスカウンター ② 無料 WiFi や持ち込んだ PC などが利用できるスペース ③ 1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室 ④ 会話や PC(キーボード)利用が制限されたサイレントルーム ⑤ グループで活動や学習ができるスペース ⑥ ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席 ⑦ 飲食や会話ができるスペース ⑧ 子どもが靴を脱いで本を読めるスペース ⑨ 子どもと遊んだり、軽く体を動かしたりできるスペース ⑩ 対面朗読室、録音室 ⑪ その他
------	---

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい施設空間や設備												
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
合計	647	53	281	258	55	105	282	175	144	110	8	8	63
	100.0%	8.2%	43.4%	39.9%	8.5%	16.2%	43.6%	27.0%	22.3%	17.0%	1.2%	1.2%	9.7%
会社員・ 公務員	205	16	117	97	20	27	91	68	48	41	2	0	7
	100.0%	7.8%	57.1%	47.3%	9.8%	13.2%	44.4%	33.2%	23.4%	20.0%	1.0%	0.0%	3.4%
農業・漁業	42	3	15	15	5	9	18	12	11	4	1	1	3
	100.0%	7.1%	35.7%	35.7%	11.9%	21.4%	42.9%	28.6%	26.2%	9.5%	2.4%	2.4%	7.1%
自営・自由業	46	7	26	24	5	7	16	15	10	5	0	1	2
	100.0%	15.2%	56.5%	52.2%	10.9%	15.2%	34.8%	32.6%	21.7%	10.9%	0.0%	2.2%	4.3%
主婦・主夫	98	6	23	31	7	16	45	23	30	24	2	2	17
	100.0%	6.1%	23.5%	31.6%	7.1%	16.3%	45.9%	23.5%	30.6%	24.5%	2.0%	2.0%	17.3%
アルバイト・ パート	77	11	45	28	10	12	34	20	15	13	0	2	3
	100.0%	14.3%	58.4%	36.4%	13.0%	15.6%	44.2%	26.0%	19.5%	16.9%	0.0%	2.6%	3.9%
無職	159	10	42	52	7	33	68	30	28	20	3	2	29
	100.0%	6.3%	26.4%	32.7%	4.4%	20.8%	42.8%	18.9%	17.6%	12.6%	1.9%	1.3%	18.2%
学生	11	0	10	7	1	1	4	4	2	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	90.9%	63.6%	9.1%	9.1%	36.4%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	9	0	3	4	0	0	6	3	0	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	33.3%	44.4%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%

設問 内容	① 独立したレファレンスカウンター ② 無料 WiFi や持ち込んだ PC などが利用できるスペース ③ 1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室 ④ 会話や PC(キーボード)利用が制限されたサイレントルーム ⑤ グループで活動や学習ができるスペース ⑥ ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席 ⑦ 飲食や会話ができるスペース ⑧ 子どもが靴を脱いで本を読めるスペース ⑨ 子どもと遊んだり、軽く体を動かしたりできるスペース ⑩ 対面朗読室、録音室 ⑪ その他
----------	---

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい施設空間や設備												
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
合計	647	53	281	258	55	105	282	175	144	110	8	8	63
	100.0%	8.2%	43.4%	39.9%	8.5%	16.2%	43.6%	27.0%	22.3%	17.0%	1.2%	1.2%	9.7%
ひとり暮らし	67	9	22	24	10	9	29	13	10	2	1	0	12
	100.0%	13.4%	32.8%	35.8%	14.9%	13.4%	43.3%	19.4%	14.9%	3.0%	1.5%	0.0%	17.9%
夫婦のみ	164	11	61	58	10	27	77	44	38	27	2	3	18
	100.0%	6.7%	37.2%	35.4%	6.1%	16.5%	47.0%	26.8%	23.2%	16.5%	1.2%	1.8%	11.0%
親・子 (成人)	203	21	95	81	17	36	90	63	37	29	3	3	16
	100.0%	10.3%	46.8%	39.9%	8.4%	17.7%	44.3%	31.0%	18.2%	14.3%	1.5%	1.5%	7.9%
親・子 (未成年)	127	9	69	60	11	19	51	29	37	36	1	1	4
	100.0%	7.1%	54.3%	47.2%	8.7%	15.0%	40.2%	22.8%	29.1%	28.3%	0.8%	0.8%	3.1%
親・子・孫	60	2	23	27	6	10	25	20	16	12	1	0	8
	100.0%	3.3%	38.3%	45.0%	10.0%	16.7%	41.7%	33.3%	26.7%	20.0%	1.7%	0.0%	13.3%
その他	18	0	7	5	1	3	6	3	5	2	0	1	4
	100.0%	0.0%	38.9%	27.8%	5.6%	16.7%	33.3%	16.7%	27.8%	11.1%	0.0%	5.6%	22.2%
無回答	8	1	4	3	0	1	4	3	1	2	0	0	1
	100.0%	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%

設問 内容	① 独立したレファレンスカウンター ② 無料 WiFi や持ち込んだ PC などが利用できるスペース ③ 1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室 ④ 会話や PC(キーボード)利用が制限されたサイレントルーム ⑤ グループで活動や学習ができるスペース ⑥ ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席 ⑦ 飲食や会話ができるスペース ⑧ 子どもが靴を脱いで本を読めるスペース ⑨ 子どもと遊んだり、軽く体を動かしたりできるスペース ⑩ 対面朗読室、録音室 ⑪ その他
----------	---

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい施設空間や設備												
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
合計	647	53	281	258	55	105	282	175	144	110	8	8	63
	100.0%	8.2%	43.4%	39.9%	8.5%	16.2%	43.6%	27.0%	22.3%	17.0%	1.2%	1.2%	9.7%
富岡地区	118	10	44	38	11	19	54	29	29	22	2	1	12
	100.0%	8.5%	37.3%	32.2%	9.3%	16.1%	45.8%	24.6%	24.6%	18.6%	1.7%	0.8%	10.2%
宝田地区	26	2	16	8	1	6	9	7	6	7	0	0	3
	100.0%	7.7%	61.5%	30.8%	3.8%	23.1%	34.6%	26.9%	23.1%	26.9%	0.0%	0.0%	11.5%
中野島地区	32	5	17	17	2	3	13	7	6	5	0	1	2
	100.0%	15.6%	53.1%	53.1%	6.3%	9.4%	40.6%	21.9%	18.8%	15.6%	0.0%	3.1%	6.3%
長生地区	20	2	7	6	2	5	10	5	3	3	0	0	3
	100.0%	10.0%	35.0%	30.0%	10.0%	25.0%	50.0%	25.0%	15.0%	15.0%	0.0%	0.0%	15.0%
大野地区	13	0	3	5	3	0	2	4	3	2	0	0	2
	100.0%	0.0%	23.1%	38.5%	23.1%	0.0%	15.4%	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%	0.0%	15.4%
加茂谷地区	21	2	9	7	4	6	14	7	5	5	0	0	1
	100.0%	9.5%	42.9%	33.3%	19.0%	28.6%	66.7%	33.3%	23.8%	23.8%	0.0%	0.0%	4.8%
桑野地区	38	5	18	21	2	6	17	9	7	4	0	1	1
	100.0%	13.2%	47.4%	55.3%	5.3%	15.8%	44.7%	23.7%	18.4%	10.5%	0.0%	2.6%	2.6%
見能林地区	98	9	47	46	5	16	51	26	20	15	3	1	6
	100.0%	9.2%	48.0%	46.9%	5.1%	16.3%	52.0%	26.5%	20.4%	15.3%	3.1%	1.0%	6.1%
新野地区	32	1	11	10	3	5	13	12	9	5	0	1	4
	100.0%	3.1%	34.4%	31.3%	9.4%	15.6%	40.6%	37.5%	28.1%	15.6%	0.0%	3.1%	12.5%
福井地区	18	2	6	5	1	2	5	8	4	3	0	0	4
	100.0%	11.1%	33.3%	27.8%	5.6%	11.1%	27.8%	44.4%	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%	22.2%
椿地区	9	2	5	4	0	2	4	1	1	1	0	0	1
	100.0%	22.2%	55.6%	44.4%	0.0%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
伊島地区	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
橘地区	19	3	8	11	4	3	4	3	5	2	0	0	3
	100.0%	15.8%	42.1%	57.9%	21.1%	15.8%	21.1%	15.8%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%	15.8%
那賀川地区	85	3	35	35	8	12	35	24	22	16	0	0	10
	100.0%	3.5%	41.2%	41.2%	9.4%	14.1%	41.2%	28.2%	25.9%	18.8%	0.0%	0.0%	11.8%
羽ノ浦地区	85	6	39	32	7	15	38	25	16	14	3	2	6
	100.0%	7.1%	45.9%	37.6%	8.2%	17.6%	44.7%	29.4%	18.8%	16.5%	3.5%	2.4%	7.1%
その他	24	1	12	9	2	3	8	5	7	6	0	1	3
	100.0%	4.2%	50.0%	37.5%	8.3%	12.5%	33.3%	20.8%	29.2%	25.0%	0.0%	4.2%	12.5%
無回答	8	0	4	3	0	2	5	3	1	0	0	0	2
	100.0%	0.0%	50.0%	37.5%	0.0%	25.0%	62.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

設問内容	① 独立したレファレンスカウンター ② 無料 WiFi や持ち込んだ PC などが利用できるスペース ③ 1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室 ④ 会話や PC(キーボード)利用が制限されたサイレントルーム ⑤ グループで活動や学習ができるスペース ⑥ ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席 ⑦ 飲食や会話ができるスペース ⑧ 子どもが靴を脱いで本を読めるスペース ⑨ 子どもと遊んだり、軽く体を動かしたりできるスペース ⑩ 対面朗読室、録音室 ⑪ その他
------	---

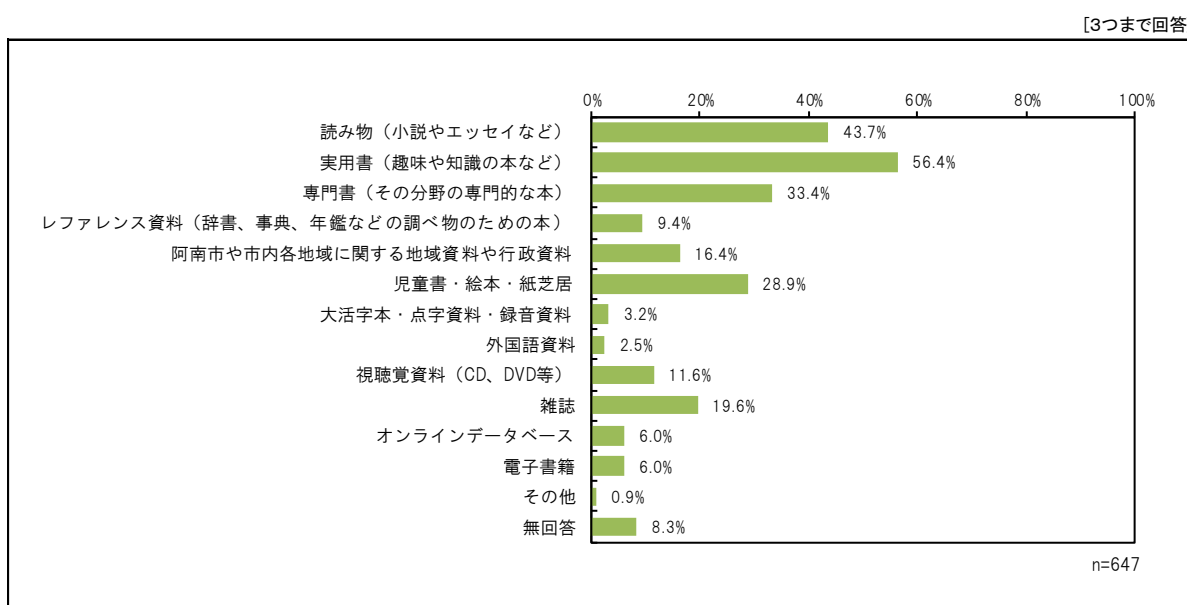
[3つまで回答]

項目 属性	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい施設空間や設備												
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
合計	647 100.0%	53 8.2%	281 43.4%	258 39.9%	55 8.5%	105 16.2%	282 43.6%	175 27.0%	144 22.3%	110 17.0%	8 1.2%	8 1.2%	63 9.7%
5年未満	58 100.0%	3 5.2%	34 58.6%	26 44.8%	6 10.3%	4 6.9%	25 43.1%	14 24.1%	21 36.2%	16 27.6%	1 1.7%	1 1.7%	2 3.4%
5年以上	47 100.0%	4 8.5%	17 36.2%	20 42.6%	6 12.8%	9 19.1%	17 36.2%	14 29.8%	14 29.8%	13 27.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%
10年未満	101 100.0%	8 7.9%	57 56.4%	48 47.5%	11 10.9%	12 11.9%	39 38.6%	32 31.7%	17 16.8%	18 17.8%	2 2.0%	1 1.0%	5 5.0%
10年以上	434 100.0%	38 8.8%	172 39.6%	162 37.3%	32 7.4%	80 18.4%	198 45.6%	113 26.0%	92 21.2%	62 14.3%	5 1.2%	6 1.4%	51 11.8%
20年未満	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%
20年以上													
無回答													

設問 内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 独立したレファレンスカウンター ② 無料 WiFi や持ち込んだ PC などが利用できるスペース ③ 1人ずつ仕切られたテーブル席や個人学習室 ④ 会話や PC(キーボード)利用が制限されたサイレントルーム ⑤ グループで活動や学習ができるスペース ⑥ ゆったりと過ごせるソファ席やテーブル席 ⑦ 飲食や会話ができるスペース ⑧ 子どもが靴を脱いで本を読めるスペース ⑨ 子どもと遊んだり、軽く体を動かしたりできるスペース ⑩ 対面朗読室、録音室 ⑪ その他
----------	---

④ 特に充実を望む資料

- 「実用書」(56.4%)、「読み物」(43.7%)、「専門書」(33.4%)、「児童書・絵本・紙芝居」(28.9%)の順に回答比率が高かった。
- 各年代の回答比率を見ると、「児童書・絵本・紙芝居」についてはやはり23-29歳および30歳代の子育て世代の回答比率が特に高く、「地域資料・行政資料」については70歳代以上の世代の回答比率が高い。また、「オンラインデータベース」「電子書籍」については40歳代の回答比率が他の世代より高く、一方で60歳代以上の世代になると大きく低下していた。
- 職業別の回答比率を見ると、農業・漁業従事者は他の層よりも「レファレンス資料」や「地域資料・行政資料」、「専門書」を多く選択している。「専門書」については他に、学生(72.7%)や会社員・公務員(42.9%)においても回答比率が高い。



項目	人数	構成比
読み物(小説やエッセイなど)	283	43.7%
実用書(趣味や知識の本など)	365	56.4%
専門書(その分野の専門的な本)	216	33.4%
レファレンス資料(辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本)	61	9.4%
阿南市や市内各地域に関する地域資料や行政資料	106	16.4%
児童書・絵本・紙芝居	187	28.9%
大活字本・点字資料・録音資料	21	3.2%
外国語資料	16	2.5%
視聴覚資料(CD、DVD等)	75	11.6%
雑誌	127	19.6%
オンラインデータベース	39	6.0%
電子書籍	39	6.0%
その他	6	0.9%
無回答	54	8.3%
合計	647	100.0%

「その他」の内容

項目	人数
マンガ本	5

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい資料														
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答
合計	647	283	365	216	61	106	187	21	16	75	127	39	39	6	54
	100.0%	43.7%	56.4%	33.4%	9.4%	16.4%	28.9%	3.2%	2.5%	11.6%	19.6%	6.0%	6.0%	0.9%	8.3%
男性	238	82	136	91	29	53	47	3	3	26	46	21	22	1	18
	100.0%	34.5%	57.1%	38.2%	12.2%	22.3%	19.7%	1.3%	1.3%	10.9%	19.3%	8.8%	9.2%	0.4%	7.6%
女性	404	197	226	123	31	53	140	17	13	49	81	18	15	5	36
	100.0%	48.8%	55.9%	30.4%	7.7%	13.1%	34.7%	4.2%	3.2%	12.1%	20.0%	4.5%	3.7%	1.2%	8.9%
答えたくない	3	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0
	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

設問 内容	① 読み物(小説やエッセイなど)	⑧ 外国語資料
	② 実用書(趣味や知識の本など)	⑨ 視聴覚資料(CD、DVD等)
	③ 専門書(その分野の専門的な本)	⑩ 雑誌
	④ レファレンス資料(辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本)	⑪ オンラインデータベース
	⑤ 阿南市や市内各地域に関する地域資料や行政資料	⑫ 電子書籍
	⑥ 児童書・絵本・紙芝居	⑬ その他
	⑦ 大活字本・点字資料・録音資料	

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい資料														
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答
合計	647	283	365	216	61	106	187	21	16	75	127	39	39	6	54
	100.0%	43.7%	56.4%	33.4%	9.4%	16.4%	28.9%	3.2%	2.5%	11.6%	19.6%	6.0%	6.0%	0.9%	8.3%
18-22歳	13	7	5	9	1	2	3	1	1	0	0	1	1	0	1
	100.0%	53.8%	38.5%	69.2%	7.7%	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%
23-29歳	30	19	12	6	2	3	15	0	2	5	8	1	2	1	1
	100.0%	63.3%	40.0%	20.0%	6.7%	10.0%	50.0%	0.0%	6.7%	16.7%	26.7%	3.3%	6.7%	3.3%	3.3%
30歳代	64	33	32	22	3	5	39	4	3	6	8	5	5	1	2
	100.0%	51.6%	50.0%	34.4%	4.7%	7.8%	60.9%	6.3%	4.7%	9.4%	12.5%	7.8%	7.8%	1.6%	3.1%
40歳代	92	39	58	39	7	8	27	0	2	9	19	13	10	1	4
	100.0%	42.4%	63.0%	42.4%	7.6%	8.7%	29.3%	0.0%	2.2%	9.8%	20.7%	14.1%	10.9%	1.1%	4.3%
50歳代	109	53	62	45	7	10	32	3	3	12	30	13	8	0	3
	100.0%	48.6%	56.9%	41.3%	6.4%	9.2%	29.4%	2.8%	2.8%	11.0%	27.5%	11.9%	7.3%	0.0%	2.8%
60歳代	130	59	73	34	13	22	38	4	2	25	30	1	6	2	12
	100.0%	45.4%	56.2%	26.2%	10.0%	16.9%	29.2%	3.1%	1.5%	19.2%	23.1%	0.8%	4.6%	1.5%	9.2%
70歳代	128	54	81	38	15	32	22	2	1	12	24	2	6	1	15
	100.0%	42.2%	63.3%	29.7%	11.7%	25.0%	17.2%	1.6%	0.8%	9.4%	18.8%	1.6%	4.7%	0.8%	11.7%
80歳以上	79	17	40	22	12	24	11	7	2	6	8	3	1	0	16
	100.0%	21.5%	50.6%	27.8%	15.2%	30.4%	13.9%	8.9%	2.5%	7.6%	10.1%	3.8%	1.3%	0.0%	20.3%
無回答	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

設問 内容	① 読み物(小説やエッセイなど)	⑧ 外国語資料
	② 実用書(趣味や知識の本など)	⑨ 視聴覚資料(CD、DVD等)
	③ 専門書(その分野の専門的な本)	⑩ 雑誌
	④ レファレンス資料(辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本)	⑪ オンラインデータベース
	⑤ 阿南市や市内各地域に関する地域資料や行政資料	⑫ 電子書籍
	⑥ 児童書・絵本・紙芝居	⑬ その他
	⑦ 大活字本・点字資料・録音資料	

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい資料														
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答
合計	647	283	365	216	61	106	187	21	16	75	127	39	39	6	54
	100.0%	43.7%	56.4%	33.4%	9.4%	16.4%	28.9%	3.2%	2.5%	11.6%	19.6%	6.0%	6.0%	0.9%	8.3%
会社員・ 公務員	205	99	122	88	11	21	69	3	5	22	49	22	22	1	8
	100.0%	48.3%	59.5%	42.9%	5.4%	10.2%	33.7%	1.5%	2.4%	10.7%	23.9%	10.7%	10.7%	0.5%	3.9%
農業・漁業	42	12	25	17	7	13	7	0	1	7	8	2	3	0	1
	100.0%	28.6%	59.5%	40.5%	16.7%	31.0%	16.7%	0.0%	2.4%	16.7%	19.0%	4.8%	7.1%	0.0%	2.4%
自営・自由業	46	19	30	15	5	10	12	0	1	6	7	5	3	0	2
	100.0%	41.3%	65.2%	32.6%	10.9%	21.7%	26.1%	0.0%	2.2%	13.0%	15.2%	10.9%	6.5%	0.0%	4.3%
主婦・主夫	98	52	55	17	8	14	37	5	2	10	20	0	1	3	11
	100.0%	53.1%	56.1%	17.3%	8.2%	14.3%	37.8%	5.1%	2.0%	10.2%	20.4%	0.0%	1.0%	3.1%	11.2%
アルバイト・ パート	77	30	45	24	9	9	28	3	1	14	19	6	5	1	2
	100.0%	39.0%	58.4%	31.2%	11.7%	11.7%	36.4%	3.9%	1.3%	18.2%	24.7%	7.8%	6.5%	1.3%	2.6%
無職	159	60	79	45	18	37	31	10	3	15	24	4	5	1	26
	100.0%	37.7%	49.7%	28.3%	11.3%	23.3%	19.5%	6.3%	1.9%	9.4%	15.1%	2.5%	3.1%	0.6%	16.4%
学生	11	7	4	8	1	2	3	0	1	0	0	0	0	0	1
	100.0%	63.6%	36.4%	72.7%	9.1%	18.2%	27.3%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
無回答	9	4	5	2	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
	100.0%	44.4%	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

設問 内容	① 読み物(小説やエッセイなど)	⑧ 外国語資料
	② 実用書(趣味や知識の本など)	⑨ 視聴覚資料(CD、DVD等)
	③ 専門書(その分野の専門的な本)	⑩ 雑誌
	④ レファレンス資料(辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本)	⑪ オンラインデータベース
	⑤ 阿南市や市内各地域に関する地域資料や行政資料	⑫ 電子書籍
	⑥ 児童書・絵本・紙芝居	⑬ その他
	⑦ 大活字本・点字資料・録音資料	

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい資料														
	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答
合計	647	283	365	216	61	106	187	21	16	75	127	39	39	6	54
	100.0%	43.7%	56.4%	33.4%	9.4%	16.4%	28.9%	3.2%	2.5%	11.6%	19.6%	6.0%	6.0%	0.9%	8.3%
ひとり暮らし	67	31	41	16	9	15	9	4	1	7	9	6	4	0	8
	100.0%	46.3%	61.2%	23.9%	13.4%	22.4%	13.4%	6.0%	1.5%	10.4%	13.4%	9.0%	6.0%	0.0%	11.9%
夫婦のみ	164	75	107	47	13	37	40	5	1	26	36	3	7	2	13
	100.0%	45.7%	65.2%	28.7%	7.9%	22.6%	24.4%	3.0%	0.6%	15.9%	22.0%	1.8%	4.3%	1.2%	7.9%
親・子 (成人)	203	90	115	77	20	35	45	8	9	16	37	12	14	0	20
	100.0%	44.3%	56.7%	37.9%	9.9%	17.2%	22.2%	3.9%	4.4%	7.9%	18.2%	5.9%	6.9%	0.0%	9.9%
親・子 (未成年)	127	51	66	46	8	9	63	2	4	12	26	12	4	3	4
	100.0%	40.2%	52.0%	36.2%	6.3%	7.1%	49.6%	1.6%	3.1%	9.4%	20.5%	9.4%	3.1%	2.4%	3.1%
親・子・孫	60	24	27	22	10	7	21	1	1	10	15	4	8	1	5
	100.0%	40.0%	45.0%	36.7%	16.7%	11.7%	35.0%	1.7%	1.7%	16.7%	25.0%	6.7%	13.3%	1.7%	8.3%
その他	18	8	6	6	0	2	6	0	0	3	3	1	1	0	3
	100.0%	44.4%	33.3%	33.3%	0.0%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	5.6%	5.6%	0.0%	16.7%
無回答	8	4	3	2	1	1	3	1	0	1	1	1	1	0	1
	100.0%	50.0%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%

設問 内容	① 読み物(小説やエッセイなど)	⑧ 外国語資料
	② 実用書(趣味や知識の本など)	⑨ 視聴覚資料(CD、DVD等)
	③ 専門書(その分野の専門的な本)	⑩ 雑誌
	④ レファレンス資料(辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本)	⑪ オンラインデータベース
	⑤ 阿南市や市内各地域に関する地域資料や行政資料	⑫ 電子書籍
	⑥ 児童書・絵本・紙芝居	⑬ その他
	⑦ 大活字本・点字資料・録音資料	

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい資料														
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
合計	647	283	365	216	61	106	187	21	16	75	127	39	39	6	54
	100.0%	43.7%	56.4%	33.4%	9.4%	16.4%	28.9%	3.2%	2.5%	11.6%	19.6%	6.0%	6.0%	0.9%	8.3%
富岡地区	118	54	63	37	10	28	32	2	3	16	22	3	6	0	11
	100.0%	45.8%	53.4%	31.4%	8.5%	23.7%	27.1%	1.7%	2.5%	13.6%	18.6%	2.5%	5.1%	0.0%	9.3%
宝田地区	26	12	11	12	0	3	5	1	1	5	7	2	3	0	3
	100.0%	46.2%	42.3%	46.2%	0.0%	11.5%	19.2%	3.8%	3.8%	19.2%	26.9%	7.7%	11.5%	0.0%	11.5%
中野島地区	32	15	18	9	1	6	8	3	0	5	10	2	2	1	1
	100.0%	46.9%	56.3%	28.1%	3.1%	18.8%	25.0%	9.4%	0.0%	15.6%	31.3%	6.3%	6.3%	3.1%	3.1%
長生地区	20	6	13	6	4	5	4	1	0	2	7	1	0	0	1
	100.0%	30.0%	65.0%	30.0%	20.0%	25.0%	20.0%	5.0%	0.0%	10.0%	35.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%
大野地区	13	3	8	4	0	1	5	0	0	2	2	0	1	0	2
	100.0%	23.1%	61.5%	30.8%	0.0%	7.7%	38.5%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	15.4%
加茂谷地区	21	13	15	10	3	3	4	1	1	0	4	1	3	0	1
	100.0%	61.9%	71.4%	47.6%	14.3%	14.3%	19.0%	4.8%	4.8%	0.0%	19.0%	4.8%	14.3%	0.0%	4.8%
桑野地区	38	17	23	13	3	4	11	1	1	6	8	6	2	0	2
	100.0%	44.7%	60.5%	34.2%	7.9%	10.5%	28.9%	2.6%	2.6%	15.8%	21.1%	15.8%	5.3%	0.0%	5.3%
見能林地区	98	42	54	35	7	21	36	3	3	9	18	9	4	0	5
	100.0%	42.9%	55.1%	35.7%	7.1%	21.4%	36.7%	3.1%	3.1%	9.2%	18.4%	9.2%	4.1%	0.0%	5.1%
新野地区	32	14	19	11	5	8	11	1	0	3	5	1	1	1	2
	100.0%	43.8%	59.4%	34.4%	15.6%	25.0%	34.4%	3.1%	0.0%	9.4%	15.6%	3.1%	3.1%	3.1%	6.3%
福井地区	18	3	9	4	4	5	4	0	0	4	2	1	2	0	4
	100.0%	16.7%	50.0%	22.2%	22.2%	27.8%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	5.6%	11.1%	0.0%	22.2%
椿地区	9	3	4	3	3	3	4	0	1	1	1	0	1	0	0
	100.0%	33.3%	44.4%	33.3%	33.3%	33.3%	44.4%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
伊島地区	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
橘地区	19	7	13	8	1	3	7	0	0	2	2	2	1	0	3
	100.0%	36.8%	68.4%	42.1%	5.3%	15.8%	36.8%	0.0%	0.0%	10.5%	10.5%	10.5%	5.3%	0.0%	15.8%
那賀川地区	85	43	45	26	12	7	23	3	2	7	17	4	6	1	7
	100.0%	50.6%	52.9%	30.6%	14.1%	8.2%	27.1%	3.5%	2.4%	8.2%	20.0%	4.7%	7.1%	1.2%	8.2%
羽ノ浦地区	85	38	49	28	6	7	26	3	2	12	12	7	6	2	6
	100.0%	44.7%	57.6%	32.9%	7.1%	8.2%	30.6%	3.5%	2.4%	14.1%	14.1%	8.2%	7.1%	2.4%	7.1%
その他	24	9	17	8	1	1	5	2	2	1	8	0	1	1	3
	100.0%	37.5%	70.8%	33.3%	4.2%	4.2%	20.8%	8.3%	8.3%	4.2%	33.3%	0.0%	4.2%	4.2%	12.5%
無回答	8	3	4	2	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	3
	100.0%	37.5%	50.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%

設問 内容	① 読み物(小説やエッセイなど)	⑧ 外国語資料
	② 実用書(趣味や知識の本など)	⑨ 視聴覚資料(CD、DVD等)
設問 内容	③ 専門書(その分野の専門的な本)	⑩ 雑誌
	④ レファレンス資料(辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本)	⑪ オンラインデータベース
設問 内容	⑤ 阿南市や市内各地域に関する地域資料や行政資料	⑫ 電子書籍
	⑥ 児童書・絵本・紙芝居	⑬ その他
設問 内容	⑦ 大活字本・点字資料・録音資料	

[3つまで回答]

項目	新図書館整備にあたって、今後特に充実してほしい資料														
	属性	合計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
合計	647	283	365	216	61	106	187	21	16	75	127	39	39	6	54
	100.0%	43.7%	56.4%	33.4%	9.4%	16.4%	28.9%	3.2%	2.5%	11.6%	19.6%	6.0%	6.0%	0.9%	8.3%
5年未満	58	33	28	22	1	7	29	2	0	11	11	4	4	2	1
	100.0%	56.9%	48.3%	37.9%	1.7%	12.1%	50.0%	3.4%	0.0%	19.0%	19.0%	6.9%	6.9%	3.4%	1.7%
5年以上	47	21	29	18	3	3	21	1	2	3	8	5	3	0	2
	100.0%	44.7%	61.7%	38.3%	6.4%	6.4%	44.7%	2.1%	4.3%	6.4%	17.0%	10.6%	6.4%	0.0%	4.3%
10年以上	101	48	59	43	7	9	30	3	2	9	24	9	3	1	2
	100.0%	47.5%	58.4%	42.6%	6.9%	8.9%	29.7%	3.0%	2.0%	8.9%	23.8%	8.9%	3.0%	1.0%	2.0%
20年以上	434	179	246	132	49	87	107	14	12	52	83	21	29	3	46
	100.0%	41.2%	56.7%	30.4%	11.3%	20.0%	24.7%	3.2%	2.8%	12.0%	19.1%	4.8%	6.7%	0.7%	10.6%
無回答	7	2	3	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	100.0%	28.6%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%

設問 内容	① 読み物(小説やエッセイなど)	⑧ 外国語資料
	② 実用書(趣味や知識の本など)	⑨ 視聴覚資料(CD、DVD等)
設問 内容	③ 専門書(その分野の専門的な本)	⑩ 雑誌
	④ レファレンス資料(辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本)	⑪ オンラインデータベース
設問 内容	⑤ 阿南市や市内各地域に関する地域資料や行政資料	⑫ 電子書籍
	⑥ 児童書・絵本・紙芝居	⑬ その他
設問 内容	⑦ 大活字本・点字資料・録音資料	

3) 今後の市立図書館に関する要望(自由記述)

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
1	18-22 歳	会社員・公務員	男性	飲食のスペースは必要
2	18-22 歳	学生	男性	もっと駐車場を広くしたらいいと思いました。
3	18-22 歳	学生	男性	インターネットで良いよね、って判断されない様に、地域図書館としての強みを出してほしい。教養のある司書等の拡充が必要。
4	18-22 歳	学生	男性	阿南市役所のようなデザインの建物だと 若者もSNSに発信すると思う。
5	18-22 歳	学生	女性	おしゃれな外観・内装が良い。
6	23-29 歳	会社員・公務員	男性	地域に合った、又は、他の図書館に自慢出来る様な、全年代層の方に心から楽しめる図書館を望みます。
7	23-29 歳	会社員・公務員	男性	自分の母がよく図書館を利用していたが、阿南が閉まってから足が遠のいている。月曜休みの仕事なので特に行けなくなってしまっている。閉館日をそれぞれの図書館でバラバラにしてほしい。HPで本の予約ができるのは便利で良いが、検索をもっとしやすくしてほしい。
8	23-29 歳	会社員・公務員	女性	阿南の中心に図書館は絶対に必要です。那賀川、羽ノ浦は遠いので本を貸りにくくなったという声もお年寄りから聞いたことが有ります。富岡東高校や光、西高等学校も多いのに学校以外の学習する場がないと困ると思います。
9	23-29 歳	会社員・公務員	女性	子どもが集まる場所があると自然と町全体が豊かになっていくと思う。大人も子どもも‘行きたい’と思うような場所を作ってほしい。
10	23-29 歳	会社員・公務員	女性	図書館内では本を楽しんで、併設施設として横に公園などがあれば身体も動かせていいなと思います。緑豊かで心もいやしてくれる場所になれば嬉しいです。
11	23-29 歳	アルバイト・パート	女性	イベントがある
12	30 歳代	会社員・公務員	男性	図書かんを1つの学校みたいな場所にとらえ、しゃべりもできるスペース、食べ物も自由にできるスペース。その中でどくじのルールをつくってあげればいいと思う。
13	30 歳代	会社員・公務員	男性	色んな人が楽しく使える施設を作って欲しい。使う人のことを第一に考えたもので、今、もしくは未来の時代に応じた施設となるように願います。 よろしく願います。
14	30 歳代	会社員・公務員	男性	阿南市の図書館にそれぞれ個性をつけて使い分けできるようにしてほしい。新図書館は交通の便も良い立地なので子供や高齢者に特に良いと思う。那賀川は車利用者も多いのでその年齢層をターゲットにした専門書を充実させ、足りない分は徳島県立図書館などからかりられるようにしたら良い。羽ノ浦は文化要素を強くし、絵画のかし出しなどに力を入れたら良い。すべて災害時の避難スペースとして十分活用できるようにしてほしい。
15	30 歳代	会社員・公務員	男性	利用しやすい図書館が出来ればいいなと思っております。
16	30 歳代	会社員・公務員	男性	・月に何回かの子どもと一緒に読み聞かせをしてほしい。 ・1人用の学習室を作ってほしい。 ・ゆっくりと読め

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
				て出来るスペースを作ってほしい。
17	30歳代	会社員・公務員	女性	小さい子供達に優しい図書館にしてほしい
18	30歳代	会社員・公務員	女性	子ども用のトイレの設置をお願いします。小さい子は和式はとても使いにくい。子ども複数のこともあるので、絵本コーナーのそばに子どもトイレがあると有難い。子育て支援センター 図書館or保健所 と一体化していると良いと思う。
19	30歳代	会社員・公務員	女性	居住地の近くの公園に、大人も使える運動器具を作って欲しい。(いしばし医院の外にある様な運動器具)
20	30歳代	会社員・公務員	女性	・停めやすい駐車場 ・子連れだと文句を言うお年寄りもいるので子育てスペースが分かれてあると安心 ・変な人はきちんと出禁など対応して欲しい
21	30歳代	会社員・公務員	女性	いろいろな種類の絵本が揃っている 季節や絵本キャラクターの製作活動を親子で楽しめる 絵本の読み聞かせ会 親子でゆったりと絵本を楽しめる 清潔感のある 大型絵本がある 図書館が増えれば良いと思う。
22	30歳代	主婦・主夫	女性	子供(5才未満)も楽しめる場所になるとうれしい
23	30歳代	主婦・主夫	女性	那賀川図書館のような子供が遊べる緑地(川とか)があると、いい。
24	30歳代	主婦・主夫	女性	図書館は小さくてもいいですし、蔵書数も多なくていいと思います。その代わりに、読みたい本はある、という風に利用者の分析をし、読みたくなるような工夫をしていただきたいです。市内にあと2つも図書館があるので、数の豊富さはそちらにまかせれば良いです。新しい図書館には、「目的地」になるような魅力と、一日中過ごしたくなるような「快適さ」を持つ場所として機能してくれたらと思っています。富岡地区にはあまり緑がなく、あるのは放置され手入れの足りない山だと感じています。阿南市のシンボルとなるような手入れされた心地よい緑のある図書館になれば、人工物のかたまりのような市役所との対比でメリハリがつき、どちらも素敵に見えそうです。市内には林業がさかんな町もあります。サステナブルであり、オシャレであり、緑豊かな場所になることを期待しています。公園と図書館を切り離して考えずに、緑を中心に一体感のある「まち」になるよう、ぜひご検討ください。
25	30歳代	主婦・主夫	女性	阿南図書館が閉まって、とても困っています。子供に絵本をたくさん読ませたいのに那賀川まで行かないといけない。遠い。図書館カウンターは、私には無意味です。本は少ないし、2Fまで返却する本(20冊位)と子供をつれては、大変すぎました。新図書館は、本当に期待しています!!今、月2~3回、那賀川へ通っています。場所が悪いです。今は工事中で車もろくにとめられません。1才の娘と8才の息子には、英語にもふれてほしいので、英語、絵本をたくさん入れてほしいです。いつも県立や徳島市立図書館からとりよせたりしていました。すんご

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
				く大変なんです。小松島図書館は英語の読みきかせ会があったりして、阿南よりすすんでいます。阿南おくらせていますよー！あと、ファミサポが、図書館周辺のわかりやすい所があれば良いなと思います。車がとめられることが大前提ですよ！雨の日じゅるくない駐車場お願いします。
26	30歳代	主婦・主夫	女性	・目的があって図書館に行くだけでなく、“図書館で過ごす”ことが目的にできる様な空間になると良いと思う。→日常生活の中に図書館が自然に入り込むことで、本に触れる機会を未来の子ども達には増やして欲しい。・アナナンや、スダチくんの様なキャラクターのPOPや、パネルがあると楽しめると思う。
27	30歳代	主婦・主夫	女性	子連れでも気軽に利用できるような(個室やキッズスペース等)工夫をお願いします
28	30歳代	アルバイト・パート	女性	よく図書館を利用するので、このようなアンケートにこたえることができよかったです。いつも子どもたちが絵本を楽しく読んでいます。子どもたちにとってよりよい場所になりますように。
29	30歳代	無職	男性	建てて終わりじゃなくて、その後、どう人があつまるかも含めて考えてほしいと思います。長期的に考えてほしい。
30	40歳代	会社員・公務員	男性	気軽に立ち寄ることのできる場になる事を願ってます
31	40歳代	会社員・公務員	男性	阿南市は子育てに重きを置いている割に公共交通機関が全くなっていない。みんながみんな車にのれるわけではない。そこへ行くまでが不便なんです。でも色んなものを組合わせて複合施設にしてもらえるとお出かけが1回ですむので助かります。夜に市役所でイベントすることがありますが、そんな時くらいバスの本数増やして下さい。
32	40歳代	会社員・公務員	男性	イベントを行ないながら集客をする。
33	40歳代	会社員・公務員	男性	阿南市に人が集まる様な取り組みを考えてほしい。高速道路はつながらないし、住みにくい町のまま、今更図書館アンケート？って感じでもっと真剣に考えないと阿南市は沈む。
34	40歳代	会社員・公務員	男性	行きたくなる図書館に
35	40歳代	会社員・公務員	男性	阿南市に後から編入した那賀川と羽ノ浦にしか図書館が無いのは多いに不満である。それらを閉鎖してでも立派なものを市の中心に作ってください。
36	40歳代	会社員・公務員	女性	今までもかなり時間がかかっているのでも、早く作ってほしいと思う。今の市役所中の図書館は本の種類が少なく、不満です。20年後は時間がかかりすぎです。
37	40歳代	会社員・公務員	女性	阿南高専や富東の中高一貫校があるほど学力の高さを求める学校が存在している。平均しても高くあることが可能ではないかと思っています。家庭内でゆっくり勉強と向き合うことができない子や家庭から離れてゆっくりと知識をはぐくみたい人々が、おしゃれにいいかんじに学び合える場所があって欲しいです。勉強＝かっこいい！！ってなったらいいなあと。☆鳥取の大山自然歴史館 おしゃれでキレイ おもしろいです。

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
38	40 歳代	会社員・公務員	女性	本を借りられる期間が今は2週間ですがもう少し延ばして欲しい。
39	40 歳代	会社員・公務員	女性	近くに図書館がないので、早くできて欲しいです。
40	40 歳代	会社員・公務員	女性	学習スペースの充実・拡大
41	40 歳代	会社員・公務員	女性	散歩できるような、コース(道・整備)をしてほしい。活気づいてほしいと思います。
42	40 歳代	会社員・公務員	女性	もっと家族で時間をすごせたり 子供だけでも長時間すごせる所
43	40 歳代	会社員・公務員	女性	駐車場を広くして欲しい。
44	40 歳代	会社員・公務員	女性	マナーのわるい利用者に注意できるスタッフをおねがいたい。
45	40 歳代	会社員・公務員	女性	勉強スペース、無料 Wi-Fi、充電サービス、雨の日でも遊べるキッズスペースなど人が集まりやすい環境を作って地域活性に繋げてほしい。
46	40 歳代	会社員・公務員	女性	自習するスペースは欲しいです。
47	40 歳代	会社員・公務員	女性	貸し出しの無人化もできたらいいですね
48	40 歳代	自営・自由業	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中は本を読んで学ぶお母さんも多く、絵本に子供をふれさせたい方も多いので、図書館と子育て機能の施設・遊び場は密接であってほしい。 ・多くの本・資料が揃う図書館では、自分が欲しい本・読むべき本、が分からなくなるので、キーワード検索やアンケートに答えていって「あなたにおすすめの本」がピックアップされる検索機能が充実すると楽しい。 ・自動車やバスの待ち時間に、気軽に読書を楽しんだり、勉強したりできる
49	40 歳代	自営・自由業	女性	静かに読書、テレワークなどができるスペースと、飲食や子供たちが遊べるスペースはきちんと分けて、互いに気持ちよく利用できる場になってほしい。
50	40 歳代	自営・自由業	女性	<p>静かに集中して勉強や仕事ができるスペースを自由に使えると、嬉しい。</p> <p>歴史なんかも、色んな種類の本を読みたい。</p> <p>自分ではなかなか探すことの出来ない専門誌などがあると嬉しい。</p> <p>途中で休憩したり一日中図書館にいても飽きないぐらいゆつくりと自分の時間を使える場所になってほしい</p>
51	40 歳代	主婦・主夫	女性	①併設 アイドル コンサート会場 snow manが来られるほどjonny ' sジャニーズ ②アニメイトが出きる ③ひらそ羽ノ浦店の充実マンガ本 店ぼ ④スーパーの充実生活用品 衣料品・布団 ⑤買い物難民がへる。 ⑥滝沢歌舞伎FiNALやけどジャニーズの歌舞伎きてほしい ⑦ジャニーズ jonny ' s事務所できてほしい
52	40 歳代	主婦・主夫	女性	おしゃれな内装、落ち着ける空間、「阿南」が感じられる場所 そんな図書館にしてほしいです。

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
53	40 歳代	主婦・主夫	女性	阿南市は農業が盛んなので、シードライブラリーのコーナーを作り、育成意見交換などをし、積極的に在来品種・伝統野菜の種の保管などもしていくと良いと思う。お隣、小松島市は有機野菜に力を入れているが種への着目はまだ行われていない。そこで、種は阿南市、育て方は小松島市で手を取り合うのはどうだろうか。よって、シードライブラリーが有ると良い
54	40 歳代	主婦・主夫	女性	蔵書についてはほぼ満足しています。新しい図書館を建てるなら茨城県の水戸市立西部図書館のような、行ってみたいような建物にしてほしいです。小さな子が少し位騒いでもいいように子ども室は別にしてもらいたいです。本好きな人になってほしいので、子どもが図書館に行きたくなるような空間があったらいいと思います。
55	40 歳代	アルバイト・パート	女性	図書館に、博物館、美術館を併設して欲しい。外には公園も。
56	40 歳代	アルバイト・パート	女性	コロナ禍と子供が成長してきたこともあり(小さな時は児童書をお借りしていました)あまり行けていませんでしたが、読書がすきなので、新図書館になったら行きたいです。あなん駅周辺のまちづくりにも、かぶってしまうかもしれませんが、汽車にのりおくれたりした時も、近くにゆったりした図書館があれば、子供たちも本を手にとる機会がふえ、有意義な時間がすごせると思います。
57	40 歳代	アルバイト・パート	女性	図書館は静かなので、トイレを離れたスペースに作ってほしいです。那賀川図書館のように外にベンチがあって休めるところがあるとよいと思います。子どもが小さい頃はよく絵本コーナーで絵本を読んだり外の庭で池や水の流れるところで遊び、すわってお茶を飲みホッとできる場所でした。平日、中高生にとっても1人で勉強できる部屋があってほしいです。何才になっても気軽に利用できるような施設であってほしいです。
58	40 歳代	アルバイト・パート	女性	子どもが小さい時に、よく、お話し会に参加させていただいていました。家でのよみ聞かせとは違って、人形劇や、音楽も使った演出や、お話をして下さる方との会話など、いつも親子で充実した時間を過ごしていました。私自身、今は、子育てや仕事などが忙しく、自分の時間がなかなか持てない状況ですが、子育てが落ち着いたら、図書館で読書などを広める活動に参加してみたいという気持ちがあります。読書や、本などに関する、ワークショップの開催などがあつたら良いと思います。
59	40 歳代	アルバイト・パート	女性	以前、司書の方に子供の自由研究で必要な情報を探すのを手伝っていただき非常に助かりました。今後も気軽に相談に行ける雰囲気図書館になることを期待しています。
60	40 歳代	アルバイト・パート	女性	新図書室の完成を楽しみにしています。
61	40 歳代	アルバイト・パート	女性	老若男女が気軽に入りやすい図書館が理想です。
62	40 歳代	アルバイト・パート	女性	立ち寄りやすい場所になるとよい。
63	40 歳代	アルバイト・パート	女性	早めに必要だと思う

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
		パート		
64	40 歳代	無職	男性	シアタールームを作ってみてはどうでしょうか？映画などの映像作品を週がわり、又は月がわりで上映
65	50 歳代	会社員・公務員	男性	調べたいものがすぐわかる様にしてもらいたいです。
66	50 歳代	会社員・公務員	男性	羽ノ浦地区が中心のため 阿南駅前周辺は別地区といった感じで興味なし。羽ノ浦駅周辺の整備を優先してほしい。駅周辺は車で行くのが不便。
67	50 歳代	会社員・公務員	男性	開館時間が短かすぎる。時間が少ない 仕事終わりでは、使いにくい
68	50 歳代	会社員・公務員	男性	図書館より体育館やスポーツ施設を作ったほうがいいと思う。サンアリーナは駅から遠いので使いにくい。体育館だけでなくコンサートができたりする複合施設にすれば、人がもっと利用すると思う。その体育館で中・高校の公式戦をすれば人がたくさん来て、周辺でお金を使うはず。そうすれば阿南市民だけでなく、市外の人もたくさん利用するはずだ。中学・高校の公式戦は基本現地集合です。駅から遠いと誘致しにくい。逆に図書館は市民しか利用しないから駅から遠くても自家用車で行くから駅周辺に建てる必要ない。
69	50 歳代	会社員・公務員	男性	今回のアンケートとは別ですが阿南市の人口が今月で7万人を割りました つい何年か前は7万人ちょっとだったんですが、さびしいですネ もっと魅力ある町づくりを！
70	50 歳代	会社員・公務員	男性	省エネの建物 花粉除去の換気
71	50 歳代	会社員・公務員	男性	図書館そのものよりも周辺環境の整備が重要 いかにか人が集まる空間をつくれるかがカギ
72	50 歳代	会社員・公務員	男性	人が集まるイベント ネットPC 飲食が出来る場所がほしい
73	50 歳代	会社員・公務員	男性	駐車場を広めにしてほしいです。(車幅)(監視カメラ)等
74	50 歳代	会社員・公務員	男性	子どもたちのために新図書館の早期整備を願います。その際 DX時代を先取りし、電子図書の充実に努めてください。
75	50 歳代	会社員・公務員	男性	図書館は暗いイメージがあるので、明るい開放的な雰囲気してほしい。
76	50 歳代	会社員・公務員	男性	図書館の建物内にコンビニ、カフェ、ファミレス等の機能を併設する事は図書館に市民が気軽に立ち寄ってもらうためには必ず必要。Free Wi-Fi の環境も必須。学生や資格試験を目指す人の自習室しかり。 図書館が単体として図書を借りたり読んだりするスポットとして存在するのではなく、休日に家族でも高齢者でも障害者も子どもも学生もゆったり一日過ごせる場所にするべきです。 そのためには上記のようなコンビニ、カフェ、ファミレスが必要になってくると思います。 その際、福祉施策として、カフェを障害者が運営する施設にするという案はあるかもしれない。しかし、市民を集めるためには、知名度のあるカフェがテナントに入るべき。障害者雇用を促進するなら図書館内で雇用した方が

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
				<p>良い。</p> <p>阿南市図書館は徳島県で一番、四国でも最高の居心地と言えるくらいのものであるべき。近隣の市町村の人が立ち寄りに来るような施設になることによって、新しい阿南市の自慢のスポットとなり、阿南市に人を呼び込む事が出来れば、費用対効果も上がり、図書館としての価値を超える存在になれると思います。</p> <p>複合施設の利点は災害対策の避難場所や備蓄倉庫や災害時の運営拠点になりかわる施設としても存在しようと思います。</p> <p>図書館が良いから阿南に住みたいというような施設にするなったら良いと思います。</p>
77	50歳代	会社員・公務員	男性	みんなが使いやすい図書館
78	50歳代	会社員・公務員	男性	阿南図書館を利用できなくなり不便なのでできるだけ早く開館してほしい。
79	50歳代	会社員・公務員	女性	スマホで全て見れる状況なので図書館でしかできないものがほしい。図書館に足を運んでまで行かなくては見つけられないもの、そこに行けばあるもの。
80	50歳代	会社員・公務員	女性	那賀川の図書館を利用しています。窓も大きく明るいのと、本棚も低いので圧迫感もなく、子どもと大人のスペースも分かれていますので、ゆったりと過ごせます。那賀川図書館のような、広くて明るい図書館ができると嬉しいです。
81	50歳代	会社員・公務員	女性	だいぶ前の事ですが、図書館の職員の方(女性)がカツカツと音を立てて移動されました。図書館なのにふさわしくないハキ物でおかしいなあと思いました。
82	50歳代	会社員・公務員	女性	阿南は、中途半端な施設が多すぎます。便利さもいまいち……です。外見を重視でなく、利用者しやすいものをつくってほしい。
83	50歳代	会社員・公務員	女性	明るくて広々としている、図書館を希望します。広いスペースがとれれば、キッズコーナーも広くとれ多少子供達にぎやかにしても親も気がねなく過ごすことができると思っています。学生達がゆっくり学習できるスペースも隅の方にたくさん設置してほしいです。
84	50歳代	会社員・公務員	女性	税金が有効に使ってもらえるよう、無駄なものは作らないようにしっかり見通しを立ててもらいたい。
85	50歳代	会社員・公務員	女性	(子どもだけが悪いとか子どもが嫌いな訳ではなく) 出来れば別棟にして頂きたい。(子どもスペースを) ・あまりにうすさく注意しても親の反撃にあう。(大人の利用者が我慢を強いられる) ・職員教育(一般的な)もきちんとして頂きたい。
86	50歳代	会社員・公務員	女性	是非、以前のように高校生が自習できるようなスペースを作してほしい。本来の図書館機能ではないとしても。
87	50歳代	会社員・公務員	女性	できるだけ早く、新図書館を開館してほしい。

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
88	50 歳代	会社員・公務員	女性	那賀川図書館はよく利用しました。広くて、司書さんの対応も良く、子供が小さい時から、大きくなってからも利用しています。ただ、自習室が狭く、使いにくそうだなと思ってました。2F に自習室がある、那賀川のような図書館があれば良いと思います。(プラス飲食スペースのある)飲食店までおかずとも、自販機、キッチンカーが来れる位の感じが良いのでは。飲食店があると、せっかくの図書館の静かな感じが損なわれる気が・・・自習室に関しては賛否両論あるのは承知していますが、本当に子供の教育にとっては良いことと思います。
89	50 歳代	会社員・公務員	女性	図書の種類を充実させて欲しい。コミックから雑誌、趣味、資格などジャンルに幅を広げて欲しい。内容によっては常に最新でなくてもイイが、古すぎるものは処分すべき。
90	50 歳代	会社員・公務員	女性	現在、図書館には看護師の娘がよく行っていますが、専門書を求めて行っているようだがなかったと言って帰って来ることも多かったです。集中して勉強をしに行きたいようです。近くにあればひじょうに助かる存在です。
91	50 歳代	農業・漁業	男性	ミッション系の大学(関学大、青学大)の様な建物と広場が調和した感じになればと思います。時間が経っても古くなった感じもしないので雰囲気とか景観をできれば重視してもらえればと思います。駐車場は少しはなれてもいいのではと思います。極端に言えば利便性を少し犠牲しても感性に訴える様ないいこの空間でお願いします。アスファルトやコンクリートはあまり見たくはないです。
92	50 歳代	自営・自由業	男性	個性的な建物とかであれば全員に興味を持ってもらえるのでは、よくある様な箱物を作るのであれば、余り感心は持ってもらえないと思います。まずは、興味を引くのが大事だと思います。
93	50 歳代	自営・自由業	男性	阿南駅と地下街でつながって行き来出来る様な街づくりを希望。
94	50 歳代	自営・自由業	男性	一般市民による研究発表が出来る場。誰でもが受けられる授業(サテライト・オンライン含む)。資格試験や技能試験の会場。自主的な学習威力を高めるための設備や人材の常設。新刊書も多くのジャンルで取りそろえ、ゾーンを分けてマンガ本なども揃えてもらえたら良。
95	50 歳代	自営・自由業	男性	有料のサブスクが広まっている現在において、一般的な書物は容易に取得、閲覧ができるので、図書館という場所の付加価値がどこまで高められるのかに期待しています。また、阿南市の地域の歴史、地理などが最も調べられるような場所にしてほしい。
96	50 歳代	自営・自由業	女性	小さい頃から本は好きで、今は、1人たくさんの本や、児童書も好きです。専門的な本も読み希望など書き込める用紙などがあり、すぐでは無理でも少しでも意見を聞いてもらって、専門書なども図書館で読めればうれしいです。これから、ずっと図書館には通うので那賀川図書館のように、外に緑があると、うれしいです。
97	50 歳代	自営・自由業	女性	アンケートさせて頂きありがとうございました。これからも益々光の町阿南の発展に少しでもご協力できればと思います。

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
98	50歳代	自営・自由業	女性	新図書館の整備を早急に望んでいます。那賀川図書館まで行くのは遠いので……。
99	50歳代	自営・自由業	女性	・学校図書館との連携、健やかな子供達を地域で育てる ・専門の図書館職員の増員と、図書館員による地域に密着したイベントやセミナーの開催 ・異年齢の交流ができる図書館
100	50歳代	主婦・主夫	女性	まんが本も人気なものとかは、おもしろいので昔のあしたのジョー ブラックジャック ガラスの仮面 ベルサイユのばらなどの名作品や最近のアニメなど、置いてあげたら…… 図書館利用する人が増えるのでは?? 図書館に来ることが増える。本を読むことが増えるようにしてほしいです。図書館楽しみにしています。がんばって下さい
101	50歳代	主婦・主夫	女性	誰もが(どの世代の人でも)、利用しやすいようにしてほしい。小さい子供や高齢者も、利用しやすい。バリアフリーに。
102	50歳代	主婦・主夫	女性	新図書館は、お年寄りから子どもまで、幅広い年齢層が、ただ利用するだけでなく楽しんで時間を過ごすことができる、余裕のある空間にしてほしいと思います。
103	50歳代	アルバイト・パート	女性	足を踏み入れ安い空間であって欲しい。誰もが気兼ねすることなく利用できる場所にして欲しい。バリアフリーなどすべての人々に対しての気配りがあって欲しい。
104	50歳代	アルバイト・パート	女性	幼児を連れた家族や高齢者が入りやすく少々の会話があっても大丈夫な絵本や一般書のエリア、調べものや専門書を多くしたエリア、静かに読書を楽しみたいエリアなどのエリアわけした広い図書館がいいなと思います。
105	50歳代	アルバイト・パート	女性	硬いイメージではなく、入りやすい、おしゃれで、コーヒーを飲みながら本を読めるようなスペースがあれば利用したいと思います。
106	50歳代	アルバイト・パート	女性	他県などでイベントをされているように阿南市も頑張っていて欲しい 徳島市内行かなくてもいいくらい楽しいと思えるように 一応徳島県の人口で2番目の市町村なので
107	50歳代	アルバイト・パート	女性	新しい時代に沿った図書館になる様、切に願います。(市民の皆様のおかげ)
108	50歳代	アルバイト・パート	女性	子供が小さい時に毎週図書館で本を借りていました。阿南図書館は子供用の本が何となく古く暗いイメージだったので、子供がのびのび本を楽しめる場所を作ってあげて欲しいです。駅から近い場所がいいと思います。
109	50歳代	アルバイト・パート	女性	・すわりごこちのいいソファをおいてほしい ・となりの人とはなれてすわれるように 前は図書館へよく行っていました。新しい図書館、たのしみにまっています。
110	50歳代	アルバイト・パート	女性	図書館より保護猫の公的施設やしくみにも支援してほしい!
111	50歳代	無職	女性	特に、子育て中の人が集まれる場所になったらいいと思います。本の好きな子供が増えるように希望します。
112	60歳代	会社員・公務員	男性	所蔵書籍の検索やリクエストが個人のモバイル端末で可能だと便利かな
113	60歳代	会社員・公務員	男性	蔵書検索システムの増設、聞く本などの導入
114	60歳代	会社員・	女性	新しい図書館ができれば、是非利用したいと思います。

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
		公務員		
115	60歳代	会社員・公務員	女性	自由に読書ができる場で興味や関心等呼び起こし、豊かな心になれる所であってほしいです。
116	60歳代	会社員・公務員	女性	誰もが気軽に出入りできる図書館にしてほしい。係の人が気安く何を聞いても快く調べたり、答えたりしてくれる人材を選んでほしい。ともすると、本の好きな人は物静かな人が多いので、少しとっつきにくい偏見な所もあると思うが・・・
117	60歳代	農業・漁業	男性	1、他の2ヶの図書館も統合して、より充実した蔵書により情報の収集と発言の機能を持つ県下一の図書館として欲しい(1つの市に3つも図書館は要らない)。2、閲覧コーナーで学校受験の勉強をしている学生もいるので別の部屋(自習室)を設ける(図書館の本来の機能を周知する)。
118	60歳代	農業・漁業	女性	だれもが利用しやすい図書館にしてほしい。
119	60歳代	自営・自由業	男性	インターネットで様々な検索ができる中、図書館はちがう形でなければいけない。たとえば、阿南市の歴史の資料とか昔の古道の表示している資料等阿南市独自の物。
120	60歳代	自営・自由業	男性	・公設民営を基本としつつ、民間資本をとり入れた、複合施設。運営は民営とし、内容によって、一部公金補助を考えては、どうでしょう！
121	60歳代	自営・自由業	男性	阿南市の中心街に図書館が何年も無いままでは、子どもたちの読書場がないということと同じだと思うので、早急に対処してほしい。和歌山市駅のほうな駅直結で利便性を考えて学生も勉強しやすいスペースを。
122	60歳代	自営・自由業	女性	災害時に利用できる図書館にしてほしく思います
123	60歳代	主婦・主夫	女性	高齢者にもやさしい、利便性の良い駅周辺エリアであってほしいと思います
124	60歳代	主婦・主夫	女性	気軽に入りたくなる様な玄関に！
125	60歳代	主婦・主夫	女性	市民会館も図書館もしめてから何年もたつので早くこわして建てかえてほしい。
126	60歳代	主婦・主夫	女性	阿南図書館の閉館で羽ノ浦まで仲々行けないので利用できてない 市民会館の利用ができない等市役所近辺の不便さ、市役所在の町とは思えない。羽ノ浦図書館、コスモホール等、旧那賀郡の方が便利、ひらけている。赤字と引き受けた旧阿南市のふがいさを感じる。最速に図書館、文化施設の新設を希望する
127	60歳代	主婦・主夫	女性	・先進的図書館や利用者の多い図書館など、全国からの情報を多く得ることが大切。・用がなくても「行ってみようかな」と思わせる工夫。
128	60歳代	主婦・主夫	女性	たとえば、空スペースで、簡単な日常会話(英語、韓国語など)の講座を開いたり、お勧めの一冊として、あらすじを紹介する(小説、マンガ本も)講座 何か図書館に行ったら、楽しい事があったり、ゆったりした時を過ごせたりまた行きたくなる図書館を望みます。
129	60歳代	主婦・主夫	女性	市民の税金を無駄使いせず、良い図書館にして下さい。

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
130	60歳代	主婦・主夫	女性	・本屋さんに行くと、雑誌とか趣味の本をよく見るので、気軽に立ち寄れるような図書館にしてほしい。・飲み物を飲みながら、リラックスしながら本を読める環境であればうれしいです。
131	60歳代	主婦・主夫	女性	旅行等でおとずれる町のおすすめスポット おいしい飲食、見るべきところなど テレビ画面でおしえてほしい
132	60歳代	主婦・主夫	女性	司馬遼太郎の(本)作品を多くいれてほしいです。
133	60歳代	アルバイト・パート	男性	阿南市には若杉山や加茂宮ノ前遺跡等古代遺跡が残されています その点をアピールできる拠点が必要と考えます 阿南市には、邪馬台国につながる物証が有りますから、邪馬台国阿波説等の書籍の充実や展示講演会があればうれしいなと思います
134	60歳代	アルバイト・パート	男性	広い駐車場と広い館内、リラックスできる図書館を希望します
135	60歳代	アルバイト・パート	女性	週1回は図書館を利用していたのですか？今は那賀川図書館に行っていますが少し遠くて不便です。早く図書館ができればいいなと思っています。
136	60歳代	アルバイト・パート	女性	落ちついて本が読める場所(今はコロナで自由にすわる場所が限られている)
137	60歳代	アルバイト・パート	女性	公園などがありカフェも少しでき子供達とゆっくりと行けるような所が良い。その間に本を読んだりできたらうれしいです。公園がもっとできれば良いと思う。(小さい子供から老人までいける所)山とかに広い所にドッグランもほしいです。
138	60歳代	アルバイト・パート	女性	・1つの大型施設の中に図書館、交流の場、学習室や貸スペース等多目的に利用できる施設(大型ホールは不要)とした方が良いと思います。
139	60歳代	アルバイト・パート	女性	図書館のイメージは読みたい本をさがす、静かにまわりに迷惑かけず・・・と、ルール、マナーがある感じで、少し入りにくかったです。本屋で好きな本に出会いゆったりした雰囲気の中で立ち読みさせてもらったり、さがせなければ店のスタッフがいてねいにフォローして好きな本をさがしてくれたり・・・好感を持って本屋に通ってます。リラックスでき人とも楽しく会話のできる明るい楽しい図書館を望みます。よろしくお願いします。
140	60歳代	アルバイト・パート	女性	蔵書を増やして下さい
141	60歳代	アルバイト・パート	女性	気兼ねなく、ゆっくりとくつろげる癒しの空間であってほしいと思います。
142	60歳代	無職	男性	山口県の周南市？(たしか元の徳山市だったかも?)の図書館みたいなものは絶対やめてほしい。ツタヤ(株)の委託だった思うのですが、見た目だけで本がまるでない。それと変な有名な設計屋にたのんで見た目だけの建物をたてないでほしい。何でも立派(良質、貴重)な本がある方がいい。司書さんの待遇改善もお願いします。
143	60歳代	無職	男性	恵まれた自然環境で誰もが暮らしやすい居住環境の中での利便性、多様性のサービス向上を目指した図書館にして行って欲しいと願っております。

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
144	60 歳代	無職	男性	インターネットの普及で、調べ物等、図書の必要性が少なくなった今、図書館のあり方について再検討が必要となっている。◎利用者数の推移、利用目的、等、の検討
145	60 歳代	無職	男性	月曜日も開館してほしいです。那賀川、羽ノ浦の3館の内1ヵ所だけでも(交代でも)
146	60 歳代	無職	男性	図書館で働く人のやさしさに期待します。
147	60 歳代	無職	男性	今は読む習慣が少なくなっている様に思えます。子供世代を含め大人、高齢者もスマホ、タブレットを見て情報を得ています。これは時代の流れでしかたないですが、小さい頃から読み聞かけて自分で文字を書いて声を出して読むと長々続いた習慣を続けなければ文字メディアばなれば進みます。日本人が勤勉なのは必要とされる資料を自分で探して応用しさらに改善し日々向上した事が有ると思います。本の魅力を伝えて行くのは図書館員の仕事ではないでしょうか？アンケートは必要ですが自分達が現場に足を運んで、実体を確認されてはどうですか？
148	60 歳代	無職	男性	日曜日(仕事がお休みの日)に家族と過ごせる施設があればいいのと思います。休日の過ごし方に困っている人っていっぱいいると思います。出かけたくなる気にさせるまちづくりを目指して取り組んで下さい。
149	60 歳代	無職	男性	早期の実現
150	60 歳代	無職	女性	カフェコーナーがあり、ソファにすわり、ゆったりとくつろげるスペースがほしい。窓を大きくとり緑が見える。ドリンクを買った人のみ利用できる。時間制にする。
151	60 歳代	無職	女性	近い所に図書館がないので、近くに返却できる所や、予約した本を取りにいけることができればうれしいです。
152	60 歳代	無職	女性	那賀川図書館を活用できるように考えていただきたい。ゆったり、広々とした、大変良い施設だと思いますが、現状はどうなっているのでしょうか？新しい建物をつくる前に今の施設を見直し使っていただきたいと思います。
153	60 歳代	無職	女性	図書館と公園などが同じ場所にあって親子で一日遊べる所があればいいなあと思います
154	60 歳代	無職	女性	ゆったりと落ち着ける空間と雰囲気をもった図書館にしてほしい
155	70 歳代	会社員・公務員	男性	駅周辺のまちづくりに、欠かせないのは、JR線による東西エリアの分断の解消が必要と思われます。ひまわり会館、(市民会館) 辺りより跨線橋又は地下道(地下街)の設置が可能でしたら人の往来は増え、阿南駅と一体となった市街地開発が、見えて来るのではないのでしょうか。
156	70 歳代	会社員・公務員	女性	図書館は重要な学習施設であり文化施設でもあると思うので、利用者数等の数字とは関係なく、地域の財産として残して欲しいです。
157	70 歳代	農業・漁業	男性	(※ 個人の特定につながる内容のため、未記載)
158	70 歳代	農業・漁業	男性	読み物については古本屋で安く手に入り好きな時に買って好きな時にいつでも読めるので図書館は行かなくなった。専門書や資料が充実していればもっと行きたい例えば農業や林業園芸などの専門書、釣やスポーツの本、大学や研究機関が出している本や資料の充実ができれば

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
				ば良い。人々の交流施設として考えることも必要。
159	70 歳代	農業・漁業	男性	・今、図書館の本が、どういう過程を経て選ばれ、購入されているのか判らないが、一般からのリクエストなどをとり入れるようなシステムは考えられないのでしょうか。・自然科学、社会科学、人文科学を問わず、教養書を読む必要性が軽んじられていると思う。中・高・大学の若人などは、特にネット情報での弊害が大きいと思う。図書館の「存在意義」は、もっとPRすべきだと思う。そして学校での本貸出しシステムに力を入れるべきと思う。・図書館で要らなくなった本を無償でもらえる日時を、もっと周知して欲しい。
160	70 歳代	農業・漁業	女性	シリーズ物の新刊 貸し出し期間を長く
161	70 歳代	農業・漁業	女性	本を読まないので図書館の利用をまったくした事はありません。
162	70 歳代	農業・漁業	女性	阿南で辰砂採掘遺跡の発見がありました。本当に、阿南って太古の時代より夢がありますね。日本一の阿南の夢を描きましょう。
163	70 歳代	農業・漁業	女性	皆様が、気もちよく、利用できる。
164	70 歳代	自営・自由業	男性	市立図書館の将来像を探る為のアンケートだろうと考えられますが、私が平成 29 年に読者の手紙に投稿しましたように、利用する人の期待に応えられる本がないという状態では、次も行こうと思えないのではないかと。高知のオーテピア高知図書館は、県と市が共同で作った図書館で開架は 30 万冊、書庫に 120 万冊の本があるそうです。文化の森図書館は、115 万冊です。果たして、阿南市の限られた予算で、どんな図書館を作るのでしょうか？ 私は、立派なデザイン、豪華な建物は必要ないし、アンケートにあるように、いろいろな機能もほどほどで良いのではないかと。例えば、県南一の規模で、海部、木頭からでも見に来るくらいの蔵書は必要です。市民参加で、広く県民に呼びかけ、本を寄付してもらい、150 万冊はどうか。運営もコストをおさえ、出来るだけ、新刊本が次々と買えるような、予算構造にしないと、文化の森図書館のように、役に立たない本ばかりでは、利用しなくなってしまいます。鮮度の保てる図書館にして欲しいのです。良い図書館が出来るよう、期待しております。
165	70 歳代	自営・自由業	女性	スペースが広く、ゆっくと学べる本があれば
166	70 歳代	自営・自由業	女性	・本以外のDVDの貸しかり(子供向け) ・子育てにかんする(育児ざっし) ・小さな子が体を動かすことのできる図書館のすぐそばに、子供～おとしよりまで楽しめる公園やカフェや大型スーパー(低価格)で、しんせんなお野菜(農家の人から直接いれる)や魚(魚屋さんから直接いれる)をかえれる買い物がきがるに楽しめるようにしてほしい。図書館→公園→スーパーで買い物する。☆阿南市うるおうと思います よろしくおねがいします。低しょとくでこまっている人の支えん(子供食堂) 毎週曜日決めて物質を(希望する人)にはいふしてほしい

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
167	70歳代	主婦・主夫	男性	親切で熱心な職員の配置を望みます。
168	70歳代	主婦・主夫	女性	・図書館と駐車場が近い ・館内の展示が分かりやすい ・キッサコーナーがある ・図書館員がやさしく、知識が豊か
169	70歳代	主婦・主夫	女性	今まで、あった図書館を、想ぞうして、広いのも良いが皆んなの利用者が、いままで、多かったか、少なかったことを考えてこれからは、よりよい図書館で、あればいいと思います。
170	70歳代	主婦・主夫	女性	色々計画もあろうかと思いますが、阿南に図書館がないのはともかく不便です。子供達(小さい子達も)にとってもよくないです。早く建てて下さると嬉しいです。(お年寄り達にとっても)
171	70歳代	主婦・主夫	女性	図書館での飲食は、無理なのでは??
172	70歳代	主婦・主夫	女性	理想的な図書館が出来たとして、そこを運営する資格を持った方で、市民の為に常に向上心のあるサービスを提供出来る人材の育成が大切。他の市町村に負けない優秀な人材を求む。
173	70歳代	主婦・主夫	女性	・南海トラフ地震の避難場所と出来る施設 ・駐車場に余裕がある ・誰もが気軽に利用出来る ・高令者、子供達にやさしい施設
174	70歳代	主婦・主夫	女性	図書館内の充実はもちろんですが、車社会の今、駐車場の問題は重要だと思います。適当に駐められないよう充実してほしいです。
175	70歳代	主婦・主夫	女性	図書館は自分に取ってあまり必要でない。
176	70歳代	主婦・主夫	女性	気軽に行けるようにしてほしい。(交通)
177	70歳代	無職	男性	どのような図書館であれば良いかへの要望は人の生き方のイメージによるところもあるので格調のある図書館、広い世代向けの明るく広流スペースを備えた図書館など色々様々だろう。好みによる面があるが、私自身は広い緑に囲まれたリラックスできる快地良い環境に囲まれた美しい図書館の外観であったら最高だ。モダンで近代的なデザインよりややクラシック調の雰囲気が好きです。
178	70歳代	無職	男性	広い年令層の利用場所。心身共に、健康を考えた場所。
179	70歳代	無職	男性	ぜひ、5つ星の新図書館を造っていただきたい。 なにも、星野リゾートのようなホテルではなく、質素な建物でも内部は「和」を基調にした、ゆったり時間が流れる内装を期待する。「日本に無い和の図書館」。話題性のある新図書館。琴の音を聞きながらコーヒーでも飲めたら最高！もちろん別室スペースで。特に、新図書館にはギャラリースペースを希望します。絵画・写真・茶会、いけばな展と創作に励む人に活動の喜びを提供してほしい。心の癒し、豊かさを市民に。
180	70歳代	無職	男性	図書館がまちの拠点になったり、みんなが居心地よく滞在できる図書館であったり、郷土の歴史と文化を継承す

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
				る施設、更には新たな利用者呼び込みまちを活性化 する施設になってほしい。
181	70 歳代	無職	男性	ベストセラー本や人気小説などを早めに入庫して欲しい。
182	70 歳代	無職	男性	書籍の充実はもちろんですが、図書館でいろんな年代を 対象として楽しめる催しをすることで人が集まり、利用者 も増えると思います。あなん広報で「図書館だより」が載っ ていますが、他の方法でももっとPRすればよいと思いま す。
183	70 歳代	無職	男性	郊外に住む者には市の図書館 無用 (※ 問2(4)への回答内容をこちらに移動)
184	70 歳代	無職	男性	新図書館は現在の場所が最適と思う。
185	70 歳代	無職	男性	図書館の本職を中心とし福祉とか交流とかは別途用意 出来ると思える。
186	70 歳代	無職	男性	子供と大人の区別がある読書部屋があること 幼雅と大 人が混雑しない所 静かにゆったり読書できる場所であ ること。
187	70 歳代	無職	男性	自然光のさす、明るい図書館。
188	70 歳代	無職	女性	徳島の図書館をよく利用しますが、ゆったりとした緑の多 い所にしてほしいです。1ヶ月に2～3回利用します。
189	70 歳代	無職	女性	私は老人なのでわざわざ出掛ける事がなくなりましたが 子供が小さいときはよく利用しました。今ではほとんどス マホで調べられます。読みたい本も目がよく見えないの で利用はしません。もし私が若ければ、中でコーヒーでも 飲みながらゆっくりしたいだろうと思います。
190	70 歳代	無職	女性	パソコン、スマホ、テレビの時代(AIが人間の知能を担う 時代 正確な答えが出る) 図書館の役割とは、非常に 難しい。新図書館ができて館内でのスマホいじりは禁 止であってほしい
191	70 歳代	無職	女性	早急に建てて欲しい。使用する期間が残り少ない(高齢 者)
192	70 歳代	無職	女性	借りた人は、責任をもって本を美しく保つなどの啓発活 動をして欲しいです。
193	70 歳代	無職	女性	阿南駅周辺はゴチャゴチャしないですっきりとして欲し い。新図書館も同じように静かで過ごしやすくして欲し い。
194	70 歳代	無職	女性	気軽に立寄れる場所。時間に制限なくおれる。年令的 にも理解しにくくなるので受付時わかりやすく説明してく れたら助かります
195	70 歳代	無職	女性	早く動き出してほしいです。
196	70 歳代	—	女性	阿南市は子育て策は大変、手厚い制度があるので、若 い人にとっては、住み良い街だと思って感謝していま す。阿南駅周辺の再開発ですが、良い好機だと思いま す。できれば、駅週辺で1日時間をかけてでも過ごせるよ うな、図書館、緑地、ショッピング、子供が遊べるよう な公園等、欲張りですが、兼ね備えて欲しいものだと思 います。
197	80 歳以上	会社員・ 公務員	男性	交通、道路、アクセスしやすい場所にするべき 文化館 等今ある施設は良くないと感じる。特に交通の面で市役

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
				所の場所は最悪(個人的に)
198	80歳以上	農業・漁業	男性	新しく入庫された本や資料の案内。
199	80歳以上	農業・漁業	男性	大病院の待合室はホテル並の設備となっている。ゆっくり読書できる事が必要又長い時間調べ物すれば食事も必要となる。
200	80歳以上	農業・漁業	女性	①併用の健物でないこと ②専門の知識が恵られること。③新しい知識が恵られ勉強出来る所。本を集めるだけではいけない。
201	80歳以上	農業・漁業	女性	居心地が良く交通に便利
202	80歳以上	自営・自由業	女性	高齢になってしまい満足なアンケートにお答え出来ずすみません。仕事していますので図書館へは時間が合わず利用しませんでした。
203	80歳以上	主婦・主夫	男性	・運転免許証を返却した、高齢者の交通の手段の充実をよろしくお願いします！！(なかちゃんバス)のルートを増やすとか各地域の通過時間をくわしく知りたいのですが……！！(知る機会がない)
204	80歳以上	主婦・主夫	女性	市のシンボルとして、整備されていく様子を思いうかべるだけでワクワクします。でも何年先になるでしょう！今の子ども世代が図書館という居場所を体験出来ないことの寂しさを痛感せざるを得ません。1日も早い実現を願うばかりです。
205	80歳以上	無職	男性	80才以上なので必用なし
206	80歳以上	無職	男性	年なのであまりありません。阿南まで30分かかるので行く事が大変になってくるので
207	80歳以上	無職	男性	売れてる本ばかり買わないで本を充実させてほしい
208	80歳以上	無職	男性	孫や娘夫婦は図書館をよく利用しているようですがさらなる書籍の充実(昔の古い書籍等)を希望しているようです
209	80歳以上	無職	男性	駅からの交通アクセス 列車、バスへの時間待ちに利用し図書館の立ちよるなど人が少しでも集まる工夫があっても良い
210	80歳以上	無職	男性	①阿南図書館が利用できなくなって大変不便を感じています。羽の浦や那賀川の各図書館へ行くのが高齢者のため車が運転できないためバスを利用していますが回数が少なく困っています。新図書館が出来るまでの間、いままでの阿南図書館を臨時に利用できませんか、図書館でゆっくり出来るのが唯一の楽しみでした。よろしくご推察の程お願い致します。
211	80歳以上	無職	男性	駐車スペースを広くしてほしい。
212	80歳以上	無職	女性	要介護の老人です 本をかりて来てもらっています 色々の本をおかりできるよう願っています
213	80歳以上	無職	女性	子供向けだけではなく大人が興味や調べ物が出来るような本やPCを置いてほしい。
214	80歳以上	無職	女性	親切にやさしく対応できる係員の配置が望まれます。
215	80歳以上	無職	女性	バス停を設置してほしい。静かな、談話室があればうれしい。
216	80歳以上	無職	女性	・駅から近い、アクセスがよい ・文化施設 ・ゆったりスペース ・交流拠点 ・飲食OK ・スポーツ施設 ・コンサー

No.	年齢	職業	性別	図書館に関わる要望
				トホール
217	80歳以上	無職	女性	私は高齢であるので何も思い出す事がないので皆様の若い人達が出来る事をかंगाえて下さいお願いします
218	80歳以上	無職	女性	インターネットでの本の検索システムが使いにくい。ジャンル別などにしてもらえるとよい。閉館後も予約した本が受けとれるロッカーなどがあるとうれしい。仕事をしていると受取がむずかしいので
219	80歳以上	無職	女性	年のせいで意味があまりないので、ごめんなさい
220	80歳以上	無職	女性	その地域にとって図書館は充実した生活を送るためになくってはならないものだと思います。お金がかかるかもしれませんが、いろんな分野の本をたくさんとりそろえてほしいと思いますが…図書館のスペースは必要になるしバックヤードも広くなるし、大変ですよね。すみません。とにかく充実した品ぞろえが一番だと思いますが…カフェやレストランも並設してればうれしいかな。
221	80歳以上	無職	女性	若い人が希望をもてる市になってほしいです。
222	80歳以上	無職	女性	道路(一般道路を含めて)をつくる場合、車道と歩道との段差、境界の立ち上がりブロックは(双方広くないので)ない方がよいと思う。非常に利用しにくい。その間は少しの傾斜又は埋め込みでの区別の方がよいのでは。
223	80歳以上	無職	女性	そこにいてだけで、やすらげる、空間。
224	80歳以上	無職	女性	奇抜な建物ではなく すべての人が仲よく集える 後世に残る素敵な図書館を作して下さい

※ 個人の特定につながる回答については、回答内容の該当箇所を未記載とした。

資料3 阿南市立図書館市民ワークショップ開催結果

1 第1回開催結果(令和4年11月19日開催)

Aチーム ご意見一覧

対象	良いところ・伸ばしたいところ	
市内全体	資料	1館1人100冊まで借りられる
		100冊〇
		3館相互利用できる
		3館探せばだいたいの絵本が見つかる
サービス	職員の対応がよい	
	借りたい本をたずねるとすぐ調べてくれる	
	レファレンス〇	
立地	南にも図書館がほしい	
那賀川図書館	ステキ	カートがある 前庭がステキ
羽ノ浦図書館	ステキ	職員が柔軟に対応してくれる おはなしの部屋がある 本を寄贈
阿南図書館	ステキ	買い物のついて〇 ジャンプやサンデーがあった

対象	足りないところ・改善したいところ	
市内全体	学校図書館	小・中学校の担当者にも研修をしてほしい
		小六の子以外にもアカウント発行を
		電子の予約にメールが必要なので、児童は利用できない(GIGA端末)
		団体貸出が利用しづらい。ブラウジング×
		ひまわり号だけでは全学校(小・中)をまわれない
	設備	雨のときの利用に困る
		WiFi環境を整備してほしい
		資料検索用のパソコンが少ない
	本棚	多くの本が見えるように
		子供の目線で本をならべる
	サービス	予約した本の予約解除がネットから出来ない
		検索するのに絞り込みが難しい
		返却日がわかりにくい(へき地の返す便の都合)
本	本の購入費の増額を！！	
	パソコンのハードの月刊誌もほしい	
	誌名で言えば「トランジスタ技術」「インターフェース」	
	新刊絵本がときどき蔵書していない	
	地域や各地の地図の充実	
	CDが少ない	
	阿南高専の本をもっとふやしてほしい。学校内の図書館はまだOBでも入室ができない	
那賀川図書館	施設・設備	駅から遠い
		玄関ホールをもっと広く
		トイレがみずばらしい
		新聞を読むためにはテーブルがせまい！ しきりがあるから半分になってしまう
		喫茶コーナーがほしい
羽ノ浦図書館	施設・設備	窓ぎわの日差しが気になる
		おはなしの部屋に換気設備がない
		イベントのとき駐車場が足りないことがある
阿南図書館	施設・設備	一日も早くたてて下さい

Bチーム ご意見一覧

区分	意見
39ゾーン感謝 ありがとう！	明るい 庭がひろい 落ち着く空間 市役所 いい空間 児童と一般が分かれているから子どもが過ごしやすい 個人にやさしい 職員はやさしい 職員の方がやさしい人が多い 職員は親切 国立図書館も使える 県外からも探してくれる ひまわり号便利 まんががわりとある 子供用を引き続き入れて 阿南市内に3ヶ所ある 100冊かりられる 100冊とは知らず 非一条校(フリースクール)の子どもたちもかりられる 市カウンターは使いやすい
みんなに等しく！！	もっと南部にも 図書カウンターを市南部の公民館にもつくってほしい 返却場所を増やして
本	最近のまんがもよみたい いたみすぎている本が割とある(まんが) 話題の本が手に入りにくい SFを拡充して！ 郷土史の保存など みんなにわかるように 障害者サポートを広げましょう リサイクル図書に立派な本が…！！ すごい本の放出
施設お願い	那賀川図書館のマンガ良いね！！ 徳新の読書欄の紹介マンガ見てみたい 広いがアクセントが少ない トイレの場所が奥すぎる (那賀川図書館) 外のトイレはどうなったのかな？ 道路をはさんで駐車場がある 貸出カウンターが少ない(せまい) 自習室を独立させて 子どもがづらい 暗い せまい せまい 通路がせまい イベントがかぶると車がとめづらい
もっと身近に HPを使おう	HPの改善 よくなったこと(多) もっと良くしてほしい リファレンスを電子予約させて 知らせて！！ LINE(市)に月1新刊情報がネットで届くといい…もうできている？
推しあい(愛)たい	読者の交流の場をつくろう① よんだ本の推しを書こう 交流 読者が集まって茶話会 イベントをしてほしい 大人のためのイベントがほしい イベントなどの広報 どんどんしてほしい
おしえて図書館	図書館の職員は多忙と思う 司書の方がわかりにくい 司書の利用 一部、受け答えがわかりにくい人がいる 本の消毒はどうなっている？ 自習コーナーは学生に席をうめられる

Cチーム ご意見一覧

対象	良いところ・伸ばしたいところ
市内全体	古い本をくれる
那賀川図書館	広い
	緑が多い
	廻りの環境が良い
	ギャラリーの有効活用
	ピアノ演奏など学生の参加がある
	児童書が棟で分かれている
	本のカゴ(カート)便利！
外のトイレを残してほしい	
図書館カウンター	ゆったりできる
	新図書館後も残してほしい

対象	足りないところ・改善したいところ	
市内全体	新図書館への要望(施設)	授乳室 おむつ替えの場所
		喫茶コーナーほしい
		屋外で読みたい
	施設運用ルール	朝9時～ 開館
		3館のうち1館は月曜開館してほしい
	企画	大人の文化教室
		読み聞かせ養成講座
		読書サークル作れないか
		読書会の開催
	本の運用ルール	何番目の予約？
		「まんが」の分類は芸術や文学でなく「まんが」にできないか
		図書館間での雑誌の回覧(回転)はできないか
	子ども支援	小・中の学校図書館の支援は？
小学生・中学生の利用をすすめてほしい		
電子図書	今後電子書籍の扱いはどうするのか	
	電子図書の冊数が少ない	
wifi	各館に1台PCを置いては？	
	WiFiがほしい(ない)	
	スマホアプリ(カードの代わり)	
(その他)	イベント時の駐車場困る	
	不要な(余った)本の寄贈	
那賀川図書館	読書できるイスが少ない	
	トイレが親の目の届く場所がない	
	学習スペースがほしい	
	室内に飲食できるスペースがない	
羽ノ浦図書館	ソファコーナーを復活させてほしい	
	博物館コーナーは常設でなく、入れ替えできないか	
	全体的に狭い	

対象	疑問
市内全体	新しい図書館ができると、羽ノ浦、那賀川図書館はどのようになるのか
	新しい図書館 いつ、できるの？

Dチーム ご意見一覧

対象	良いところ・伸ばしたいところ	
市内全体	施設	きれい
		明るい
		雰囲気すすき
		建物が広い
		フリーWiFiがある
		自習室
	サービス	スロープとかバリアフリーが充実してる
		一回で100冊借りれる
		たくさん本を借りれる
		3館ある 利用する場所が選べる
		どこで借りても、どこでも返せる
		貸出用バッグがある
検索	無料	
	インターネットでの延長	
	インターネットでの予約	
	サイト見やすい	
那賀川図書館	施設	子供用の検索PCがある
		自習室ができた
		居心地がいい
那賀川図書館	検索	照明が明るい
		ヤングアダルトの場所がちょうどいい
阿南図書館・図書館カウンター	施設	富東(自分の学校)に近い
		駅から近い

対象	足りないところ・改善したいところ	
市内全体	施設	場所がわかりにくい
		アクセスが不便
		図書館の数が少ない
		3館ある 維持コストがかかる
		ゆっくり本をよむスペースが少ない
		かたいイメージ
		図書館行き(経由)のバス増やす
		周辺の交通整備
		複合施設
		あいてる時間が短い 平日
		休みの日もあけてほしい
		自習室の席を増やしてほしい
	サービス	中高生向けのイベントが少ない
		最新刊はなかなか借りられない
		電子書籍もっと増やしては？
		電子図書館いろんなジャンル本増やしてほしい
		レファレンスでどんなことができるのか分かりにくい
		借りたい本を見つけにくい
		コード(ラベル?)順に並んでないことがある
		図書館以外にも返却ボックスほしい
		検索のときに本のカバーの写真とかほしい
		ホームページがスマホだと少し見づらい
		アプリで本をかりれたらいいな
		那賀川図書館
サービス	本が古い？	
羽ノ浦図書館	施設	暗く感じる
阿南図書館・図書館カウンター	施設	奥の方が少し暗い
		雰囲気暗い
		カウンターだけだと本を見て選べない
		特設コーナーもう少しほしい

2 第2回開催結果(令和5年1月21日開催)

新しい図書館で何をしたい		そのために何が必要
小学生(参加者提案)		
サービス	娯楽等	屋内の遊びスペース/公園
イベント	小学生向け等	イベントスペースほしい/読み聞かせ広場
女子中学生(図書館へは友達と自転車で行く/グループ研究に取り組むこともある)		
	学習等	-
サービス	グループ学習等	グループ研究用の広さのスペース/ミーティングスペース/気軽に利用できる会議室/ミーティング用タイマーなど
	交流・仲間づくり等	ラウンジ/カフェ
男子高校生(汽車通/毎日部活、本はあまり読まない/バンドもやっている/部活も趣味も頑張っている)		
	学習等	自習室がほしい(テスト勉強)
	交流・仲間づくり等	グループで話しあいのしやすい場所
サービス	音楽等	スタジオ/スタジオが欲しい 貸出機材/レンタル楽譜/グラウンドピアノ
資料	娯楽等	-
イベント	学習等	-
諸室等	若者向け	-
	飲食等	飲食コーナー/飲食スペースを完全に分けること
	民間施設	スターバックス/マクドナルドがほしい
施設全体	施設要望等	気軽に出入りできる雰囲気
女子高校生(本は好きでよく読む/受験生/自分の将来について考えている)		
	学習等	個室の学習スペース/自習室
サービス	読書支援等	本の おすすめ機能
	娯楽等	広いスペース/ワイファイ環境/フリータークできる場所 カフェほしい/話ができるカフェ
資料	休息等	自分の世界に入り込める環境
	若者向け	-
	若者向け	-
イベント	娯楽等	おしゃやれな空間/映える空間/そこからネットに発信/映えたい
ICT	検索・情報提供	-
施設全体	施設要望等	複合施設/フロアごとに機能を分ける/色や雰囲気統一/デザイン

20代 男性	農業(県外から移住/野菜を作って販売している/ビジネスの展開を思案中)		職員	レファレンス 司書
	農業関連情報等	農業経営について/ビジネスをしたい/地域での販売方法を知りたい/販売方法/農業etc.の情報誌/困りごとが解決できるような場や本		
サービス	資料等	やさしいやひろりの本、竹パウダーはどうか	-	-
	地域情報等	あなんを知りたい	-	-
	交流・仲間づくり等	仲間・グループをつくる	-	-
30代 男性	公務員(仕事が忙しく、平日はよく残業している/図書館は好きだが、利用は難しい)			
サービス	運動等	読書のついでに運動もしたい/体を動かしたい	-	-
	休息等	宿泊したい/熟睡したい	設備等	酸素カプセル
資料	電子書籍等	電子書籍を増やしてほしい/電子図書館を充実	-	-
	調べ機能等	図書館に行かなくても調べられる機能。	-	-
ICT化	貸出等手続さ	半自動化による時間延長	-	-
	ICタグシステム等	ICタグシステムはあるとありがたい(内部・外部)	-	-
運営	開館時間等	夜遅くでも利用したい	運営	開館時間の延長/本を借りられる場所を増やす(コンビニと連携)
30代 女性	初めての産を2か月後に控えている/子育て情報が知りたいし、ママ友も欲しい)			
サービス	子育て情報等	子育て情報を知りたい/出産など手続方法 手当 知りたい/地域の情報を知りたい/助産師さんとはなしたい	-	-
	児童サービス等	絵本を選び、読み合う/子どもと過ごす 遊ぶ	諸室等	
	休息等	ほっとしたい		
	交流・仲間づくり等	同じ立場の人と話したい/ママ友作りたい		
50代 男性	会社員(ネット予約/図書館では受け取るだけ/図書館で長居はしていない)			
サービス	読書等	コーヒーを飲みながら本を読みたい	-	-
	学習等	自分の持っている知識を広めたい	-	-
	読書支援等	読書(選書)アドバイザー	ICT化	他館と共働したりリモート司書さん 司書さんの働き方改革
	休息等	音楽を聞く/読みつかれたら寝たい/ゆっくり1日過ごす	-	-
サービス	交流・仲間づくり等	趣味の活動発表がしたい/画の個展がしたい/作品の展示などを観たい/写真のWeb展示	-	-
		知らない人同士の出会いの場は作れるか/婚活/伝言板 告知版	-	-
	娯楽等	映画館がほしい	諸室等	映画を見る部屋がほしい
運営	開館時間等	おそめの時間に利用したい	-	-
60代 女性	おはなしボランティア(図書館でおはなしボランティアとして活動中孫を連れてくることもある/ボランティア活動は精力的)			
サービス	児童コーナー	孫が安心して一人でも児童コーナーにいられる	諸室等	孫が自分で本を選べる/自分でよむために(階段式でいず兼用)
イベント	子ども向け	読み聞かせ活動を図書館で行ってほしい(孫のために)	-	-
	一般利用者向け	健康の相談	-	-

イベント	ボランティアの研修・情報交換会(学校とも)／ボランティアの紹介と実践(調理室など講演をさく部屋など)	ボランティアの研修・情報交換会(学校とも)／ボランティアの紹介と実践(調理室など講演をさく部屋など)	-	-	子どもと遊べるスペースがほしい／孫と遊ぶスペースがほしい
資料	子ども連れ向け 児童図書	孫と一緒に楽しめるイベントが欲しい 絵本をたくさん読みたい	-	-	-
ICT化	アプリ紹介	孫といっしょに遊べるスマホアプリを紹介	-	-	-
諸室等	多目的利用	一日過ごせる環境(食事、おやつ、女子会)	-	-	-
施設全体	公園併設	安全な公園が併設	-	-	-
70代 男性(毎日来館、新聞を読んでいる／図書館で友人に会うことも実は楽しみにしている)					
サービス	読書等	軽食を食べながら本を読みたい	-	-	-
	情報等	新しい情報を取りたい	-	-	-
	新聞等	紙面のデジタル化 画面で見たいな／新聞の字を大きく	-	-	-
	交流、仲間づくり等	おしゃべりしやすい場所で友人としゃべりたい／たまに会う友達も／図書館を出て話をしたい	-	-	-
	伝言板を作る／伝言板	伝言板を作る／伝言板	-	-	-
資料	新聞等	新聞切り抜き／新聞切って新聞の原形なし	-	-	-
運営	市民意向把握	住民投票 カルチャア・コンビニエンス・クラブ	諸室等	-	場所のルールをやわらかくする(空間によってかわる)
70代 女性(30年以上図書館を利用。図書館からは遠いところに住んでいる・車の運転に不安が出てきたことが気になる)					
サービス	交流、仲間づくり等	図書館にべんりに来館したい／待ち合わせ場所にした	-	-	-
	休息等	孫を連れてゆつくりしたい	-	-	-
	配本	配本 配達してほしい	-	-	-
イベント	本の購入等	アマゾンなどと共同して本が(購入 検索)できるサービス	-	-	-
	成人向け	生きたい講座受講したい／趣味のサークル活動／手づくり教室に参加したい ／茶道・日舞 着物の着付け／いろんな講座企画	-	-	-
	一般利用者向け	保健師 栄養士 相談日	-	-	-
施設全体	防災拠点	防災の拠点になれるような場所としても	-	-	-

「利用者層の記載がない」及び「各年代層の新しい図書館で何をしたいとは直接的に結びつかない」意見					
施設立地やアクセス条件	駅に直結している／駐輪場の確保／配本 配達サービス／月に一回小中生がバス利用できる予算取り／送迎バス				
空間・諸室等	石川図書館のようなホール／電話の出来るスペース／開かれたガラス壁の部屋／カンファレンス室／少人数でおしゃべりできる空間／発表・展示ができるスペース ボードなどの設置／自分で照明をコントロールできるスペース／スタジオ(音楽)／ピア練習室／恋の出来るスポット(図書館)／コーヒーキングススペース！(仕事ができる空間)／子どもが自由に動ける場所／子ども、親子連れ、70～80代の人が共に過ごす空間				
設備・備品等	プロジェクト／楽器の貸出しサービス／楽譜／3Dプリンタの購入／足湯／マッサージチェア				
ネット環境	ネット環境スペース／ネットでの図書館クエスト／ネット環境／フリーWiFi				

3 第3回開催結果(令和5年3月18日開催)

A チーム ワーク1結果

タネ①キーワード	タネ②やりたい活動・イベントなど	タネを育ててみよう！
地震 防災	消防車 救急車 地震体験車 講演会 防災	—
音楽	ブラスバンド結成 小学校、中高吹部 フラダンス、琴、長唄など 全世代で 長唄「勸進帳」 のどじまん 「おんち」を治そうの会 音楽祭	図書館に練習場所を ライブ
夜	夜の読書会(星・怪談など) 星を見る会 イルミネーション 科学センターとコラボ コーヒーショップ	広い屋外ステージでするのもおもしろい 作ったイルミネーションを飾って夜に星を見る 見た後、帰らず寝る ドライブの休憩所に
ものづくり	3Dプリンタ レーザーカッター イルミネーション 体験教室 ししゅう教室 プログラミング教室 ロボット教室 高専(アクトクラブ)	市民が講師に 出会うの場になるかも 高専のアクトクラブは地域でいろいろな活動 を助けてくれる(学校だけ?)
アニメ	コスプレ(図書館にある本に関係あるもので) かそうぎょうれつ まんがビブリアバトル あななん まち☆アソビ	コスプレのやり方を教えてくれる コスプレ作り方講座 ビブリアバトルで上位に入った本は、図書館 に入れてくれる 声優さんの朗読会 アニメ作る
気軽に	外に出たついでに寄れる	—
健康たいそう	—	—
バランスたいそう	—	—
法律	—	—
土地(平島村) 那賀川	—	—
(その他)	目指せ直木賞 ミステリー同好会 言語 ALTの先生などを呼ぶ 暗号解読を専門の人を呼んでほしい	図書館フェスティバルをする

A チーム ワーク2結果

企画名・ キャッチフレーズ	企画内容	アピールポイント	
あつまれ図書館の森	夜部	星を見る会 科学センターとコラボ 夜の読書会(星・怪談など) 作ったイルミネーションを飾って夜に星を見る 広い屋外ステージでするのもおもしろい ドライブの休憩所に 見た後、帰らず寝れる	日々の成果を発表できる いろいろな人と交流できる 共通の趣味の人と出会える 色々な部活を作れる 夜なら社会人も参加できる(しやすい) あなたはいつまで生きたいですか? 図書館フェスティバルをする
	音楽部	のどじまん 「おんち」を治そうの会 長唄「勸進帳」 図書館に練習場所を ブラスバンド結成 音楽祭 小学校、中高吹部 フラダンス、琴、長唄など 全世代で ライブ	
	ものづくり部	3Dプリンタ レーザーカッター イルミネーション 高専(アクトクラブ) 出会いの場になるかも 市民が講師に 高専のアクトクラブは地域でいろいろな活動を助けてくれる(学校だけ?) 体験教室 ししゅう教室 プログラミング教室 ロボット教室 目指せ直木賞 ミステリー同好会 本のしおり作り教室	
	アニメ部	まんがビブリアバトル コスプレ作り方講座 Eスポーツの大会 好きな本やマンガについて話し合う会 アニメ作る 声優さんの朗読会 コスプレのやり方を教えてくれる ビブリアバトルで上位に入った本は、図書館に入れてくれる 本やまんがの紹介ポップ作り大会 かそうぎょうれつ コスプレ(図書館にある本に関係あるもので) あななん まち☆アソビ	
	防災部	講演会 防災 消防車 救急車 地震体験車 キョーエイフードバンク(防災食)	
	言語部	ALTの先生などと呼ぶ 暗号解読を専門の人を呼んでほしい	
	健康部	バランスたいそう	
	料理部	コーヒーショップ 本に出てくる食べ物を出す(ジブリごはんとか)	

B チーム ワーク1結果

タネ①キーワード	タネ②やりたい活動・イベントなど	タネを育ててみよう！
歴史 古代史(神話) 源氏物語	地域の歴史	文学講座 阿南大学 阿波公方についての学びを初歩からゆっくりとする 阿波九城の研究会 ガイドさんによる講座毎月〇週の〇曜日に開催！
	歴史ウォーク	
	阿波公方さんと仲良しになろう！！	
にぎわい 交流 みんなで集まろう！ コミュニティづくり	年齢関係なく入れる絵本コーナー	大人や学生等の子ども以外の世代が楽しめる作品を集めたお話し会(絵本セラピー) (マルシェ)一般、小・中学校、福祉施設などからの出店 テントの中でランタンを灯して読書する 植える樹の選定！！ 阿南の何かが入った料理コンテスト ケーキ作りイベント 開催を手伝うボランティアの募集 図書館の新企画 古書の販売 コーヒーの専門家から入れ方を学ぶ 公式YouTubeチャンネル
	マルシェ	
	キャンプ読書	
	大きな樹の下で読書を！！(例 さくら、ケヤキ、しいの木など)	
	阿南市の料理	
	民話の継承	
	押し作品を語り合う会	
	まんがまつり	
	お花まつり	
	作家さんと呼んでトークセッション	
	ボランティア活動報告	
	作家さん 朗読会・サイン会	
	お茶会	
ホームページ講座		
市民主催のお話し会(大人向け)		
市民講座		
芸術 音楽と本の連携	演奏会+読書会	①阿南・徳島出身のアーティストを呼んで演奏を楽しみながら読書できる機会をつくる ②地元の中学高校の吹部・音楽部の演奏の機会にするのもアリ……？
	演劇 ミュージカルイベント	
	音楽を聴きながら食事(Bar)	
子育て支援の場を！！	—	—
健康/サイクリング	—	—

B チーム ワーク2結果

企画名・キャッチフレーズ	企画内容	アピールポイント
A.N.A大学 We Love ANAN♡	地域の歴史	年齢関係なく参加可能 興味のある講座だけでもOK 途中参加○ 博士号習得可能
	阿波公方についての学びを初歩からゆっくりとする	
	阿南市の料理	
	地質学	
	歴史ウォーク	
	作家さんの講演	
	阿南・徳島出身のアーティストを呼んで演奏を楽しみながら読書できる機会をつくる	
	民話の継承	
	まんがまつり 地域にまつわる 出身の 図書館の会議室を使う	
Bookマルシェ	図書館の庭で	家族でもおひとりでも 本を片手にいろいろ楽しむ 1日中楽しめる
	古書の販売	
	押し作品を語り合う会	
	図書のみもの市	
	子供の読み聞かせ	
	キャンプ読書	
	ホームページ講座	
	ケーキ作りイベント	
	自転車のワークショップ	
	YouTubeワークショップ	
コーヒーの専門家から入れ方を学ぶ		

C チーム ワーク1結果

タネ①キーワード	タネ②やりたい活動・イベントなど	タネを育ててみよう！
絵本	絵本の世界を体験するWS 絵本読みきかせする人を養成 絵本をつくってみよう(はじりさんとかのアドバイスをもらう) 絵本を読みきかせする	大人のための絵本読み聞かせイベント 絵本をよむことがつかれない方法をしれるWS 絵本ビブリオバトル開催
子ども	育児についての相談会開催 おすすめの育児書紹介 子育て支援スペースを図書館の中につくる 子供の遊び場 ☆安心安全無料の	
市民中心 市民参画	市民中心のイベント会場かしだし オススメの本を販売しあえるイベント 〇〇さんの推し10冊みたいに本を紹介するスペース この本のコレがやってみたいんやけど、1人じゃできへんからダレカやろうコーナー ポップ(本の紹介)づくりのワークショップ	ブックカバーデザインコンテスト 図書館をテーマにした自主制作映画作成 いろんな本屋さんがポップアップで出店している(個人、大型店関係なく) 本の修理を学ぶ講座 あなんにきて欲しい著名人をプレゼンしてよんでもらう 押し活 コスプレイベント 竹の本棚 新しい本棚をみんなでつくる フリースペースの貸し出し 市民企画かんげい
産官学れんけい デジタル LED 光のまち	高専 企業コラボイベント 本をオススメしてくれるAIコンシェルジュ 目的の本まで案内してくれるロボット 本をもってきてくれるロボット	—
本のフリーマーケット	市民からの寄贈図書のリサイクル	—
育てる 心のよりどころ	話を聴きあっていく場	—
音楽	生演奏をききながら本を読みたい	—
竹 阿南らしさ 地域を育てる	竹 音楽イベント 竹細工教室 竹細工販売 竹アートのオブジェを活用 竹あかり 竹をテーマとした朗読会 竹林お見合い 竹についての講演会開催	しおりの充実！ 竹のしおり 三館別 期間限定のしおり 青竹ふみしながら本をよむ 笹舟づくり教室
インスタ映え	—	図書館をイルミネーションでかざる
野球 野球のまち	スポーツ医学の講演会と本の紹介 ABO新メンバー募集 育成 ABO全国発信(ネット)	
勉強 歴史 文化の中心	無料の自習スペース設置 阿南出身の有名人について知る企画 博物館、美術館、古文書館 コンパクトにまとめた場所がほしい ネーミングもデザインもユニークなものを	
八十八ヶ所	あなんの川、海 SUPの上で読書会	
(その他)	カフェスペース	本にでてくるメニューがたべられるCafe

C チーム ワーク2結果

企画名・ キャッチフレーズ	企画内容		アピールポイント
竹の図書館	ハード面	フリースペースの貸し出し 市民企画かんげい	竹 阿南らしさ 地域を育てる 産官学れんけい LED 光のまち インスタ映え 市民参画
		市民中心のイベント会場かしだし	
		カフェスペース	
		話を聴きあっていく場	
		竹紙のブックカバー	
		しおりの充実!	
		竹のしおり	
		三館別 期間限定のしおり	
		竹の本棚	
		新しい本棚をみんなで作る	
		イスも竹 貸出のかばんも竹かご	
		足湯 青竹ふみしながら本をよむ	
		竹あかり	
	竹アートオブジェを活用		
	ソフト面	この本のコレがやってみたいんやけど、1人じゃできへんからダレカやろうコーナー	
		押し活	
		コスプレイベント	
		竹林お見合い	
		〇〇さんの推し10冊みたいに本を紹介するスペース	
		竹 音楽イベント	
		生演奏をききながら本を読みたい	
		竹細工教室	
		笹舟づくり教室	
竹細工販売			
竹をテーマとした朗読会			
絵本ビブリオバトル開催			
竹についての講演会開催			
企業コラボイベント			

D チーム ワーク1結果

タネ①キーワード	タネ②やりたい活動・イベントなど	タネを育ててみよう！
子供 子どもが…… 若者を主体に……	子供向け体験イベント	物を売ることを体験
	子供向け宝探し	
	エア遊具の遊園地	
	サッカー教室	
	子供向け 遊びの学びイベント	
	POPおすすめの一冊(中学生からの)	
健康 体に良い食品って？	阿波踊り教室	山歩き 散歩 健康相談室
	暮らし 健康 マイスター養成	
	地域医療サポーターの会	
	マッサージ リフレッシュ	
	誰もが活動できる図書館	
旅行	徳島の温泉めぐり	—
学び 講習会	消費生活	—
	アスリートの食物研究発表	
	室の良い睡眠教室	
俳句	教えていつきさん！大高翔さん！	—
読書の仕方	本の読み方の共有	—
	効果的な朗読会	
	足湯しながら読書	
	座敷で寝ながら読書	
趣味	Eスポーツ大会	LED→ディスプレイ→ゲームイベント お酒のみ比べ
	合唱	
	いきいき家庭菜園	
	タバコ 愛煙家向けコミュニティ	
ワークショップ/芸術	—	写真などのワークショップ
推し活	—	ライブ
哲学	—	—
(その他)	—	24時間個別教室(マンガ喫茶)等

D チーム ワーク2結果

企画名・キャッチフレーズ	企画内容	アピールポイント
作ってみよう自分の風景	教えていつきさん！大高翔さん！	阿南市内をめぐってたのしむ 大高翔・いつきさんに俳句を学べる 作品集作成、図書館資料へ 展示する
	阿南の風景を切り取って作品づくり	
	散歩	
	山歩き	
	吟行	
	マッサージ リフレッシュ	
遊びで学ぼう子どもマルシェ	エア遊具の遊園地	テーマを変えることで毎年できる 子どもが自分で企画できる 仕事体験ができる いろんな業種のサポート
	子供向け 遊びの学びイベント	
	マルシェ	
	子どもマルシェ	
	総合学習とのコラボ	

資料4 阿南市立図書館 高専生ワークショップ開催結果 (令和4年12月21日開催)

意見一覧

班	区分	意見
1班	TOOL	技術の本も電子書籍で見られたい
		どこにどの本があるか、どの図書館にあるかを把握するシステムがあればいい
		本の貸出や返却を無人で行うシステム
	VR	VRで図書館にはいって、本を手にとれる。自分の国の言語(英語、アラビア語など)で見れる。
		VRで話し合えるような空間を設ける。
	AI	年代や性別でおすすめした本を提案する
		子供や高齢者にわかりやすく説明するAI
		ベッター君的なやつを置く。
		本を擬人化させて、本としゃべる。
	その他	感情をこめて本を読んでくれるAI
		カップルのデートスポットになりえる図書館。
		障害者でも気軽に利用できる図書館
10冊くらいの小さな図書館をたくさん設置する		
交流ができる図書館		
2班	まちの特徴の活用	町の特徴を生かしてほしい、 工業が強味(ex.阿南市にとってLEDが強みならそれに関する特集コーナー、専門書の充実等)
	静かさ つなりの両立	落ち着ける場所、人の温かさとの両立(つながりのある図書館) 静かな場所、静かではない場所の両立(自由に話せるスペースが欲しい、イートインなど)
	子ども向けサービス	図書館の習慣
		小学校などでの周知
		幼少期から本に触れる機会を増やすための子供コーナーの充実
	資料	郷土資料の充実 電子書籍、資料の電子化
	その他	図書館に行かなくてもよいようにしたい。一方で図書館に来るメリットを出していきたい

資料5 関係団体ヒアリング結果

1 地域おこし協力隊(8名)ヒアリング結果概要(令和4年12月7日実施)

1. 自身の阿南市立図書館の利用について(利用頻度・目的等)		
選択肢	回答者数	利用目的または利用しない理由
月に数回	1	子どもの絵本を借りるため。まれに自習室も利用
年に数回	1	資格勉強のための静かな場所として利用
ほとんど利用しない	3	普段あまり本を読まず、図書館に行っても読みたい本を見つけきれない／自宅から遠く、また魅力的な本がなかった／(無回答)
全く利用したことがない	3	本を読まず、本の貸し借りだけの場に興味がなかった／元々本を読む習慣がないほか、図書館の殺風景な雰囲気は苦手／地元で幼い頃は利用していたが、阿南市立図書館にはなじみがなく利用する発想がなかった
2. 自身の業務を展開する上での問題点・課題について		
<ul style="list-style-type: none"> ● マルシェやお祭りの企画等を行っており、阿南市ではそうしたイベントに活気があるのだが、市民目線では開催情報等をどこで得られるのかわからない ● 観光に関連する SNS 関係の活動をしているが、アクセスを伸ばす方法がわからない ● 淡島エリアの観光地化の活動をしているが、コンテンツが少ないこともあり発信力がまだ低い。可能なら図書館とぜひ連携したい ● お遍路さん向けの民泊団体と連携したコンテンツ開発を行っているが、着任当初、建物の由来や寺社の歴史など土地のことがわからず苦労した。地域の人たち自身も知らず、公民館で市史や旧町史等を読んでようやく整理できた ● 地域住民が気軽に集まれる場所や、阿南産の土産や商品を買える場所が少ない ● 阿南の人々は新しいものへの意欲がありながら、特にマジョリティである 30 代以上は保守的な選択をしがちに感じる。一方で若い世代は発信力もあるのだが、母数が少ない。自分も Uターン組として新しいことをしたいのだが、常にバランスを考える必要がある 		
3. 新図書館に期待する空間・設備、サービス、機能等について		
① 自身の業務を展開する上で期待するもの	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館とキッチンカーのタイアップイベント等もありうるし、夜間だけ大人向けのイベントを行ったり、図書館を利用すると別の場所でサービスが受けられたり、といった企画ができるとうい ● 人口7万人の市だが、つながりが強く、人と人との距離感が近いまちという印象がある。そうした特徴を活かし、図書館に地域で活動している人を紹介したり、知りたいことを誰かに教えてもらう情報コーナーがあると、市民どうしの交流の場になるのではないか ● イベント企画でライブの開催等も行っているが、阿南は音楽等の事業が弱く、そういった活動のための場もない。若者が音楽活動等を始められるような環境があるとよい 	
② その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市部から移住して実感したが、学びの機会や場が圧倒的に少ない。本だけでなく、そういった学びに触れられる場になれば魅力を感じる ● 変化や刺激を求める人は市外に出てしまうことも多いが、住み続ける人にも変化への憧れはある。そこで、未知の新しい文化があること自体に触れられる窓口になるとよい。 ● 代官山 T-SITE (TSUTAYA) のような、本ではなく空間を提供するコンセプトのほうがよい。阿南市民はマルシェ等に非常に多く足を運ぶ印象があるので、図書館でも何か行くだけで楽しめるイベントを行い、そこから本につないでいくほうがよい 	

3. 新図書館に期待する空間・設備、サービス、機能等について	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方都市の弱点として高等教育に触れる機会が少ないため、社会人になった後も学び続けられる環境があるとよい ● リカレント教育の場として、学生や社会人がオンラインで学んだり、ともに学ぶ仲間を得られる場所になるとよい ● 事務作業が多いので、最近は朝早くから夜遅くまで使えるコメダ珈琲をもっぱら利用している。開館時間が長く、静かなスペースやWiFiや充電環境が備わっていれば図書館に足を運ぶし、コワーキングスペースからさらに進めて学びの場、街のインキュベーション施設のような役割を担ってほしい ● WiFiや電源が書籍と併用できるとより学びを進められる ● 机の仕切り等があり、勉強に集中できる空間があるとよい ● 子どもが行きたくなる、ワクワクしたり知的好奇心が満たされたりする場所にしてほしい ● 親子と一緒に絵本を読む畳スペースや遊具等を備えた、子どもが喜ぶ施設になるとよい ● カフェが併設されていたり、本のディスプレイにこだわっていたりする図書館だと行きたくなる ● 未利用層に向けて本を貸し借り以外の機能を発信できるとよい ● 新図書館は必要とは思いますが、投資しすぎて次世代に負の遺産として残らないようにしてほしい。 ● 整備後、那賀川・羽ノ浦の2館が蔑ろにならないよう連携してほしい
4. その他	
① 市の図書館サービス全般に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の読みたい本が上手く探せないのが、本との出会いのアドバイスをしてほしい ● カウンターの職員に気兼ねなく問合せができるよう、もっと愛想よく対応してもらえるとよい ● スマホ用の図書館アプリが使えるようになったことはよいが、見にくく使いづらい面がある ● 休校・廃校になった学校の記録（特に校歌の音声等の非活字記録）等を保存してほしい ● 図書館はさまざまな情報に触れられる窓口としての機能があればよく、資料はすべて電子でもよいかもしれない
② 移住者目線での阿南市の特徴、阿南らしさについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のコミュニティがあることは、子育てを考えたとき魅力的だった ● お遍路・お接待文化のもとで育まれた、阿南の人々の開かれた雰囲気は、他の地域にはない大きな魅力である ● 加茂谷に住んでいるが、空気が澄んでおり環境がよい ● 自然環境と暮らしやすさが調和していてどちらも選べるため、自分のスタイルで暮らしていける ● 人口の母数が少ないため、サービス業として成立するためには定番を揃えることが必要になる

2 ぴよちゃんくらぶ(9名)ヒアリング結果概要(令和4年12月22日実施)

1. 活動の現状について	
<p>③ 主な活動内容や場所、人数、活動頻度 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ぴよちゃんくらぶ」は、以前は旧阿南図書館、現在は市役所図書館カウンターでおはなし会を行っているボランティア団体「おはなしひろばひまわり」のメンバーのうち13名が参加するグループで、幼児向けのおはなし会を開催している。 ● 活動開始の経緯だが、「おはなしひろばひまわり」のメンバーはブックスタートでの読み聞かせを行っており、それをきっかけに幼児がおはなし会に参加するようになった。ただ、ふだん読み聞かせで扱う本は対象年齢が高く、また幼児は静かに参加することもまだ難しいことから、0～3歳だけを対象としたおはなし会を開催する「ぴよちゃんくらぶ」をスタートした ● 旧阿南図書館の一般利用休止後の現在、ひまわり会館1階すこやかルームを会場とし、毎月第1～4木曜日に開催している。13名を4班に分けて対応し、週替わりでテーマも変えている(第1週：若手メンバーによる新しい企画/第2週：英語の読み聞かせ/第3週：歌を交えた読み聞かせ/第4週：保育士資格のあるメンバーによる読み聞かせ) ● 市から依頼を受けて公民館等でも活動するほか、3才児検診の際にも読み聞かせを行っている
<p>④ 活動をよりよいものにするため取り組んでいること など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の読み聞かせボランティアグループの研修会などの開催時にはグループ内で周知しているが、ボランティアのため参加は個人の自由としている ● 本や読み聞かせが好きで活動をしており、図書館に対しては自分たちをうまく使ってほしいという思いがある
2. 活動する上での問題点・課題について	
<p>① 旧阿南図書館の一般利用休止の影響 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 那賀川図書館に本を取りに行き戻るだけで車で30分かかり、非常に不便である ● 持ってきた本が当日の参加者の年齢にそぐわないと思っても、本がすぐそばにないので、参加者にあわせて本を選び直すことができない ● 那賀川図書館も実際そう遠くないのだが、川一本隔てるだけで距離を感じ、利用者としても利用が億劫になる
<p>② その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市役所図書館カウンターでおはなし会をしていると、マルシェの時間と重なり、親御さんが子どもを連れて途中で抜けていってしまうことがある。周囲に影響されず子どもがおはなしに集中できる環境になるとよい
3. 新図書館に期待する空間・設備、サービス、機能等について	
<p>① 空間・設備(読み聞かせスペース)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 小さな子どもは寝かせたりハイハイさせたりということが多いため、親も一緒に裸足になって利用できることよい。畳だと劣化によるささくれなどが気になるので、クッション性のカーペットなどがよい ● ベビーカーに子どもを載せたままおはなし会に参加できるようなスペースの作り方がされているとよい ● 幼児向けのおはなし会では参加者との距離が近いので、スペースが広すぎないほうがよい ● 利用する図書の本の近くに配置してほしい ● 読み聞かせに関係するものがワンフロアですべて完結するかたちにしてほしい

<p>② 空間・設備（その他）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども用のおもちゃや子ども用トイレがあるとよい ● 手や子どもが口に入れたものを洗える洗い場があるとよい ● おはなし会のあと親同士で会話できるスペースがあるとよい ● 友人と集まって憩える場所があるとよい。そういった雰囲気づくりをしてほしい ● 憩いの場として地域おこし協力隊のキッチンカーが泊められるようなスペースがあるとよい ● 子どもが散策できるようなスペースがあれば子連れの親も来やすい。サンルーフなど、雨の日でも屋外を感じながら利用できる空間だとよい ● 子連れだと荷物が多くなるため、駐車場から雨に濡れずに入館できるようにしてほしい ● 複合施設の場合イベント時などに駐車場が混雑するため、十分な台数を確保してほしい
<p>③ サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国的に、発達障害の子どもたちなどに対応するため、集団ではなく1対1で、その子がどういう特性をもった子なのか事前に勉強したうえで行う読み聞かせが広がってきている。そういった取組みにも対応できる施設になるとよい ● 若い世代の親に届くよう、おはなし会の開催情報が SNS で確認できるとよい

4. その他のご意見・ご要望

- 今いる子どもたちのことを思うと、大きな図書館でなくてよいのでとにかく早く建ててほしい
- まちづくりの中で図書館だけ先行してつくるなどして、身近に図書館がない期間をできるだけ短くしてほしい
- 現在読み聞かせを行う場のすぐそばで本が選べず、また、図書館に1人で行けない子どもたちも利用が制限されている状態である。管理上の問題はあると思うが、商店街の空きスペースなどを活用して、ボランティアや子どもたちが本を選べるような場所がつかれないか